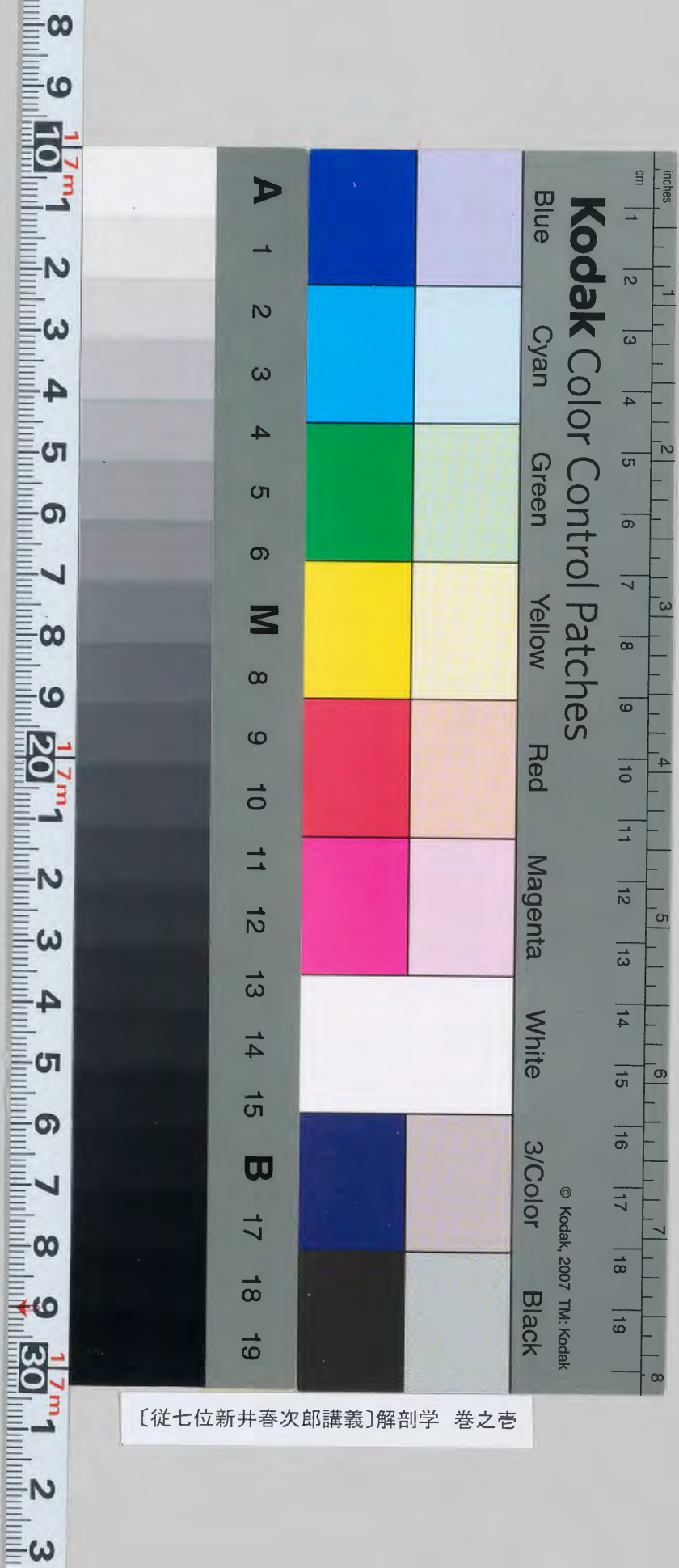


七位新井
春次郎講義

解剖學

卷之壹



〔從七位新井春次郎講義〕解剖學 卷之壹



解

月

流

各

野

香

真

破

孤

雅

任

骨

骨

骨

骨

骨

頭等之部

口部

身部

眼

頭等之部

頭等之部

頭等之部

頭等之部

頭等之部

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

Hand

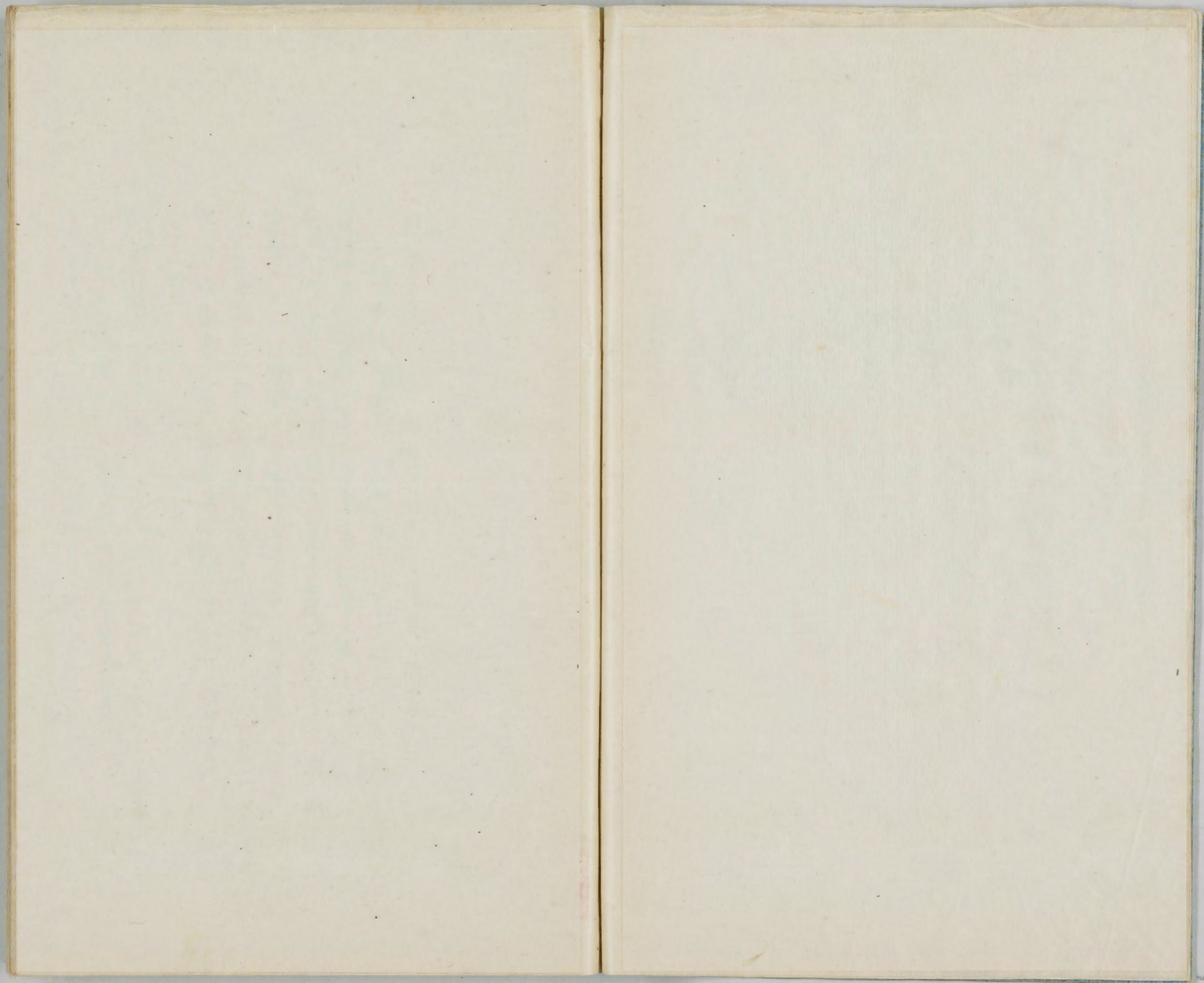
Hand

Hand

𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛

𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛

𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛
𡇛



解剖學



解剖學 *Anatomie* : 有機体形式及び構造の構造を以て研究する。解剖學の目的は、
一、凡ての生物の構造を以て研究する。二、凡ての生物の構造を以て研究する。
三、凡ての生物の構造を以て研究する。四、凡ての生物の構造を以て研究する。
五、凡ての生物の構造を以て研究する。六、凡ての生物の構造を以て研究する。
七、凡ての生物の構造を以て研究する。八、凡ての生物の構造を以て研究する。
九、凡ての生物の構造を以て研究する。十、凡ての生物の構造を以て研究する。

解剖學の目的は、
一、凡ての生物の構造を以て研究する。二、凡ての生物の構造を以て研究する。
三、凡ての生物の構造を以て研究する。四、凡ての生物の構造を以て研究する。
五、凡ての生物の構造を以て研究する。六、凡ての生物の構造を以て研究する。
七、凡ての生物の構造を以て研究する。八、凡ての生物の構造を以て研究する。
九、凡ての生物の構造を以て研究する。十、凡ての生物の構造を以て研究する。

解剖學の目的は、
一、凡ての生物の構造を以て研究する。二、凡ての生物の構造を以て研究する。
三、凡ての生物の構造を以て研究する。四、凡ての生物の構造を以て研究する。
五、凡ての生物の構造を以て研究する。六、凡ての生物の構造を以て研究する。
七、凡ての生物の構造を以て研究する。八、凡ての生物の構造を以て研究する。
九、凡ての生物の構造を以て研究する。十、凡ての生物の構造を以て研究する。

植物解剖學の目的は、植物の形態、生理、及び生活史の理解に在り。植物解剖學の目的は、植物の形態、生理、及び生活史の理解に在り。植物解剖學の目的は、植物の形態、生理、及び生活史の理解に在り。

人體解剖學の目的は、人體の構造、機能、及び生活史の理解に在り。人體解剖學の目的は、人體の構造、機能、及び生活史の理解に在り。人體解剖學の目的は、人體の構造、機能、及び生活史の理解に在り。

- 系統解剖學 Anatomia systematica
- 局部解剖學 Topographica
- 比較解剖學 Vergleichende
- 胎生學 Embryologie

(一) 系統解剖學 (Anatomia systematica) 動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。

動物解剖學 内臟系統學
植物解剖學 維管束系統學

(二) 局部解剖學 (Anatomia chirurgica) 外科醫の爲めに、動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。

(三) 比較解剖學 (Anatomia comparata) 動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。

(四) 胎生學 動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。動物界の各系統の解剖學を研究する。植物界の各系統の解剖學を研究する。

人類學 Anthropologie

人類學の目的は、人類の起源、進化、及び生活史の理解に在り。人類學の目的は、人類の起源、進化、及び生活史の理解に在り。人類學の目的は、人類の起源、進化、及び生活史の理解に在り。

解剖的用途 Anatomische Terminologie

解剖的用途: 解剖的: 身体之各部分之名称(术语)用于身体
解剖的用途: 解剖的: 身体之各部分之名称(术语)用于身体

骨 骨 (Knochen des Stamms)

胸 胸 (Kopf (Kopf))

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨 骨 (Kopf)

骨の白色は、骨髄の白色に由来する。骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。骨髄は、赤血球の産生を促進し、また、免疫細胞の産生にも関与している。

骨髄状 Form der Knochen

骨の形成は、骨髄の分化と骨の形成による。骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄 Erythrocyten

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

Medullares (Markhauf) 骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄 Os spongia (Knochen)

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄 Os mixta (Mischknochen)

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨髄は、骨の中心部にあり、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

骨の外相

骨の外相は、骨の表面を形成し、骨の成長と維持に重要な役割を果たす。

Handwritten notes in German at the top of the right page.

Die Wirbelsäule (Entwicklungsgraph von den Knochen)

Die Halswirbelsäule (Cervicalvertebrae) ... Die Brustwirbelsäule (Thoraxvertebrae) ... Die Lendenwirbelsäule (Lumbalvertebrae) ... Die Kreuz- und Schwanzwirbelsäule (Sacrocaudalvertebrae)

各節

Handwritten notes in German describing the vertebrae, including terms like Halswirbelsäule, Brustwirbelsäule, and Lendenwirbelsäule.

取骨 *Ossa sterni*

A 脊柱 *Columna vertebralis*

(一) 頸椎 *Vertebrae cervicis*

頸椎 *Vertebrae Colli*

胸椎 *Vertebrae thoracicae*

腰椎 *Vertebrae lumbales*

(二) 骶椎 *Vertebrae sacrae*

尾椎 *Ossa sacrum*

尾骨 *Ossa Coccygis*

B 胸骨

1 腕骨 *os carpi*
 2 手骨 *os metacarpi*
 3 指骨 *os digiti*
 B 下肢骨 *os extremitatum*
 1 腿骨 *os femoris*
 2 膝骨 *os patella*
 3 胫骨 *tibia*
 4 腓骨 *fibula*
 5 跗骨 *os tarsale*
 6 跖骨 *os metatarsi*
 7 趾骨 *os digiti*
 且 骨節の強弱は骨の硬軟と骨の厚薄と骨の長さの異なるに依る

1 軀幹骨 *os trunci*

1 脊柱 *Columna Vertebralis (Wirbelreihe)*
 脊柱の多くの相骨 *vertebrae vertebrales* 一成一列の骨管系統、後口位に
 脊髄の前の位の椎骨の間の真椎 *vertebrae verae* 仮椎
vertebrae spuriae 三種より成り、七箇の頸椎、七箇の胸椎、
 五箇の腰椎、*Coccygeae* の中部、十三箇の胸椎、*thoracicae*
 トシテ下部の五箇の腰椎、*Lumbales*、十三箇の内胸椎、十三箇の肋骨
 二骨ナリ

直椎の運動の自由は遊離椎の運動椎の *liberalis mobilia*
 トシテ然レ各所に於テ固キリト部ニ箇の回旋運動ヲナスルヲ
 回旋椎 *vertebrae vertebrae rotatae* トシテ其の下者ニ屈伸運動ヲナスルヲ之トシテ
 屈伸椎 *vertebrae vertebrae flexibiles* ト名ナシ
 仮椎ニ骨ヲ成リ一薦骨ニテ薦骨ニ五骨相連リ一骨ナリタルモノ
 ナリ 臑骨ニ連接シテ運動セルガ故ニ不骨椎 *vertebrae immutabiles* トシテ
 他ノ尾骨骨ナリ尾骨骨ニ四個乃至五個或ニ三個乃至六個より成レ
 シアリ之ニ多少運動ヲナス

尾伸椎普通狀態

尾伸椎：都々相俸 *Caryne Vertebral (Froide)* 椎弓 *Crura Vertebræ* (*Bogert*) 有り成り且、弓、兩端、俸、向側部、附着、之、而、之、且、弓、俸、ノ、間、ニ、一、孔、ヲ、現、ス、之、ヲ、椎孔 *Foramen Vertebrae* ト、テ、各、椎、互、ニ、疊、積、シ、テ、俸、ノ、重、疊、シ、タル、モ、ハ、脊、骨、ヲ、支、テ、之、中、重、疊、シ、タル、モ、ハ、椎、管 *Canalis V.* ヲ、テ、之、椎、管、中、ニ、脊、髓、ヲ、通、ス

椎俸：短円柱狀、之、上、下、及、前、面、向、前、ヲ、有、ス、上、下、二、面、ニ、平、恒、ニ、之、圓、前、面、ヲ、有、ス、椎、間、軟、骨 *Cartilago intervertebralis* 媒、カ、依、テ、隣、骨、ヲ、接、合、シ、前、面、ノ、方、凸、ニ、シ、テ、下、ニ、凹、リ、故、ニ、上、下、二、面、ニ、面、ニ、所、シ、テ、骨、ヲ、接、合、シ、テ、之、上、下、下、椎、骨、縁 *Spinulae Vertebrae* 特、ニ、向、前、向、凹、ニ、シ、且、ノ、部、多、ク、多、ク、椎、間、環、孔 *Foramina miltaria* ヲ、開、ク
椎、弓、ノ、扁、平、ニ、シ、且、ノ、兩、端、ニ、俸、向、側、ノ、上、部、ニ、附、着、シ、且、弓、ノ、中、ニ、多、ク、突起、現、ル、且、突起、ノ、一、圓、形、突起、ニ、*Processus oticuli lateralis* 一、筋、肉、突起 *Processus muscularis* ナリ
a 圓、形、突起、ノ、上、下、二、對、ニ、テ、椎、間、截、痕、官、ヲ、現、ル、而、テ、且、上、對、ノ、上、方、ニ、下、對、ノ、下、方、ニ、突、出、ス、之、ヲ、上、下、圓、形、突起、ト、テ、之、ヲ



尾、筋、肉、突起：多、ク、横、突起、及、棘、状、突起、ト、シ、テ、
ノ、横、突起 *Processus intervertebralis (Querfortsatz)*：右、左、兩、對、ニ、シ、テ、
之、俸、ニ、附、着、シ、テ、部、多、ク、且、右、左、突、出、ス
a 棘、状、突起 *Proe Spinosa (Dorsfortsatz)*：二、對、ニ、シ、テ、多、ク、
右、側、ヲ、突、出、ス

節、肉、突起、中、横、突起、或、部、分、(圓、形、突起)：一、圓、形、面、ヲ、有、ス、故、ニ、骨、ノ、
節、肉、突起、ト、テ、之、ヲ、得、ス
椎、弓、俸、ノ、癒、着、ス、ル、部、分、ヲ、テ、且、上、下、兩、縁、於、テ、截、痕、現、ル、之、ヲ、椎

間截痕 *Orcina intervertebrale* (*intervertebrale*)
 ト多ク椎間截痕之上縁下縁ノ合点内ニ孔ヲ形成ス之ヲ椎間孔
Foramen intervertebrale (*Spinalschmelzloch*) ト之ヲ脊神經
 管ニ通路ナリ

又弓部ヲ分クセカノ如ク區別ス

頸部 *Collum* (*Hals*) : 弓体ニ附着部即チ椎間截痕ノ理ニ

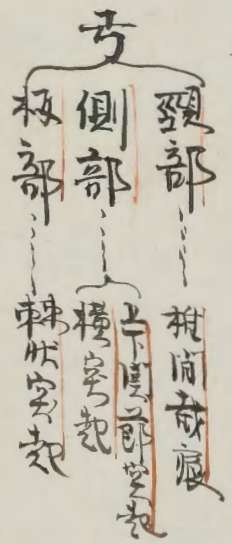
一ナリ

側部 *Paravertebralis* (*vertebrale*) : 上下圍節突起ニ

横突起現ルニ部ナリ

板部 *vertebrale plate of Schmorl'sche* ト之ヲ側

部ヲ板部ニシテ轉出突起現ル



胸椎

胸椎：数ニ筒ナク脊椎、中部ニ位ス

椎体ニ心臟形ニテ下部ニ前部ヲシテ高ク心臟形ノ先端ニ前方ニ
 相向シ最上部ニ頸椎体ニ最下部ニ腰椎体ニ類似ス第一椎ヲ
 四椎点ニ漸ク横径ナリ減シカニ五椎ヲカニニ椎ニ至ル点ニ漸ク
 ナリ増加ス而シテ胸椎ニ肋骨ニ附着ス之故ニ胸椎体ノ兩側ニアテハ
 肋骨ト圍節トニ凹高現ルニ之ヲ肋骨窩 *Spina Costalis of Thorical*
Costae (*Knorpelkammer*) ト之ヲ肋骨窩トシテ九箇ノ胸椎ニアテハ各椎ノ
 上下兩縁現ルニ上部ト下部トナリ之ニ上下肋骨窩 *Spina Costalis*
 ト多ク肋骨窩隣骨ノ同名窩ト相合シテ圍節面ヲナシ且面ニ凹ナリ之ヲ
 圍節窩 *Spina Oticularis* ト之ヲ十胸椎ノ上縁ニ半窩ヲ有スルニシ
 テカニ十一カニ二胸椎ニ全窩ヲ存ス保シカニ一胸椎ヲテハ且上肋骨窩ニ全窩
 ヲ有スナリカニ七胸椎ニ於テ半窩ヲ有スルニ於テ照リカニ七胸椎半窩ヲ有スル時ハ
 全窩ヲ有スルニ半窩即チ肋骨窩トシ

圍節突起 上下弓ニ沿直ニ位シ且ニ節圍面ニ前額面ニ跡ニ即チ
 上圍節面ニ前方ニ向シ下圍節面ニ前方ニ何ノ圍節面ニ在最高圍節

面頸椎ノ關節面ニ下關節面ニ腰椎ノ關節面ニ移ク
 横突起 上部八個ニ長且クニテ九胸椎以下ニ短シテ尖リ何シモ外
 布方側ニ向テ突クニテ一乃至五ニテハ其端膨大シテ乳棒状
 ナクニテ前側ニ於テ一ノ小凹隔ヲ有ス之ヲ横突起窩 *Transverse*
Processure ト云フ即骨柱節ノ關節ノ一ノ十ニ於テハ其端ニ種圓
 有ナル三箇ノ隆起 *Processure* 現ルル之ヲ内外及ビ下結ノ即ト云フ之
 於テハ横突起窩現ルレズ
 棘状突起 三面積柱形ニテ最モ下長ク斜クニ下方ニ突出シ屋
 瓦ノ形ニ状シテト云フ



腰椎或ハ腹椎

腰椎 数五箇ニシテ其椎中最大ナルモノナリ而シテ直椎ノ最下部ナリ

椎体ハ縦横兩徑共ニ胸椎より大ナリ形ハ腎臟形又ハ豆形ヲ帶ブ其
前向凸ニシテ後向凹ナリ

關節突起ハ短且殊ニ重クナリ上下共ニ円柱形ノ關節面ヲ有ス且下方
尖状而ニ殊ニ其面ハ凹凸ニ而テ有ス上關節突起ノ面ハ凹ニシテ下

關節突起ノ面ハ凸ナリ上關節突起ノ面ハ筋直ニシテ前方より布方隔
改メテシテ布内方ニ向テ下關節突起ノ面ハ前方より布方ニ突隆ス少シク

前外方ニ向テ上關節突起ノ外部ニ於テ一ノ隆起現ルル之ヲ乳頭突
起 *Proc. mammillaris* ト云フ胸椎下部横突起ニ於テハ内後節

ニ同シ
横突起ハ長ク扁平ニシテ上下ニ縁ニ正別之而シテ側方ニ突出ス根

部ニ於テ各ナル隆起現ルル之ヲ副突起 *Proc. accessory* ト云

フ胸椎下部横突起後節ノ同シ之横突起副突起比較解
剖上ヲ論スルハ副突起固有横突起ニテ腰椎ニ於テハ横突起

肋骨同好、根部分隆起、有之横突起、即横突起 *Processus Costiformis* *transversarii* ト之ヲ稱ス、亦一腰推ハ肋骨ノ連ナリ見ル又上縁於テ、溝ヲ見ル之ヲ助横突起 *Milano* *Processus transversarii* ト之ヲ最下部腰推ハ短ク、之ヲト方ニ湾曲ス
 棘状突起ハ扁平ニシテ地平、右方ニ突出ス
 椎孔ハ三角形或ハ菱形ナス



頸椎

頸椎ハ七箇ニシテ胸腹兩椎ニ比シテ小ナリ、亦一頸椎(頸域) *Cervicæ* 不三頸椎ノ椎 *Quadratocephalus* ト之ヲ一ノニ頸椎ヲ指シ、他ノ五椎ニ般ノ形状ヲ与エス故、亦三頸椎以下ニ就テ論ス

体ハ胸腹兩椎ニ比シテ楕円形ニシテ長軸ヲナシ、上關節面ハ左右ニ陷凹、下面ハ前介陷凹、体ハ重疊シ、内ニ棘状ラズ、極突起ハ上面溝ヲ見ル之ヲ横突起 *Milano transversarii* ト之ヲ溝ニ依リ、前介二脚ニ区分セル之、横突起ハ七骨共ニ孔ヲ有ス之ヲ横突起孔 *Foramen* ト之ヲ溝ハ孔トス、横突起ハ特徴ナリ

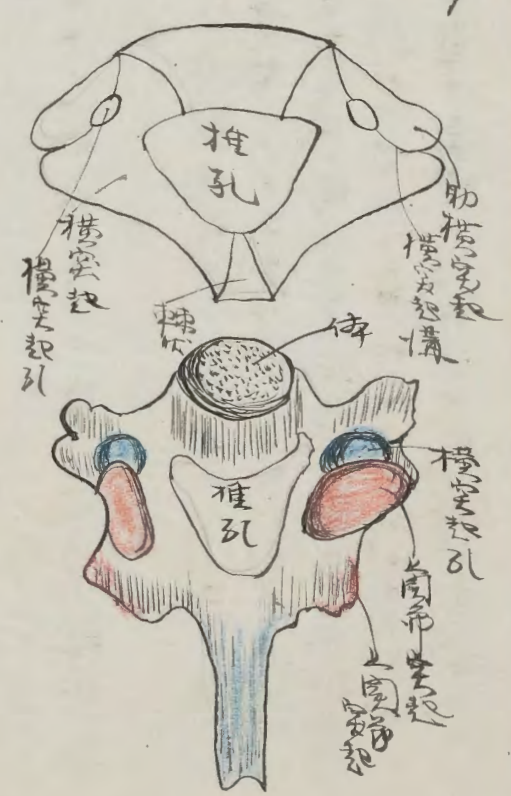
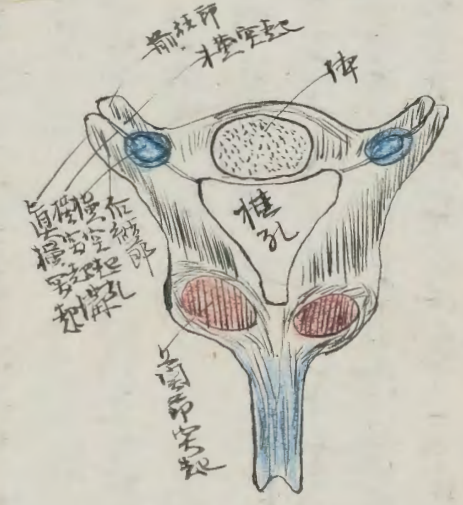
上記ノ如ク、前介ニ分セル、前部脚、体、側面ヲ有ス、右部(脚)ニ椎弓ノ側部ヲ有ス、比較解剖上、前部ヲ有スルハ、即骨突起

ト多ク之即骨ノ癒着ト見做レル、右部ト其ノ横突起ト見做レル、前介ニ部分横突起、即横突起 *Processus Costiformis* ト之ヲトス、且他横突起ノ先端ニ前

右三箇ノ結節理、且ノ結節ヲ前及右結節 *Subcostalum anterior et posterior*

關節突起、横突起、右方ニ位シ、且ノ關節面、内、上關節面、右方

方ニ下園部間ニ前下外方ニ向フ



棘突起地平ニ前方ニ尖出ニ具其端ハ内又伏ニ係ニ分岐ス第六椎ハ二箇ノ
 結節状ヲ去テ七椎ニ下方ニ斜ニ尖端多岐セズテ下方ニ向フ之ヲ零椎
 下 prominence トシク皮膚有テ明カニ解知ス

椎孔ハ三角形ナリ
 第七頸椎ノ下縁於テ軟骨ヲ覆ハ凹窩現ル之ハ肋骨窩トシテ而シテ之窩
 ハ第一頸椎ノ上側縁ノ高ト合テ肋骨窩トシテ第一肋骨ト關節ニ成リ頸椎ハ
 缺クテアリ然レモ第一胸椎ハ全窩ヲ現ス

迴旋椎

第一頸椎(寰椎) Atlas 其形輪狀ナリシ椎体ヲ缺クテ之ヲ前方ニニテ
 - Occipital part of part 二ツテ而シテニテ相合ル部多ク(寰椎)ヲ

側部 area lateralis トス

前云ニ前而中央ニ於テ結節現ル之ヲ前結節 Tuberculum anterum
 トス之ハ曲内突起ナリ之ノ部多ク椎体ノ一部分ト見做ル一處ナリ又之
 ナリ而シテ關節面ニシテ之ハ關節面 imperforate orific
 輪狀突起ト見做ル Transverse process トスカニ頸椎ハ齒狀突起ト關節
 節ニ

命云ニ中央ニ於テ一結節現ル之ヲ介節 Tuberculum part トシテ椎ノ
 棘状突起ト見做ル

側部 area lateralis 前而之聯合部ニシテ且ク肥厚

ハ側面ヲ有テトシ横突起リテ有テ其端ハ分岐セズト下部
 關節面現ル其ノ部關節面起ト見做ル且上關節面ハ且形長卵
 円形ニテ前而之陷凹ニテ向ハ前方ニ於テ其ノ向ハ有テ之面
 方向中線ニ於テ相集ル方向有テ上關節面ハ上關節面 area

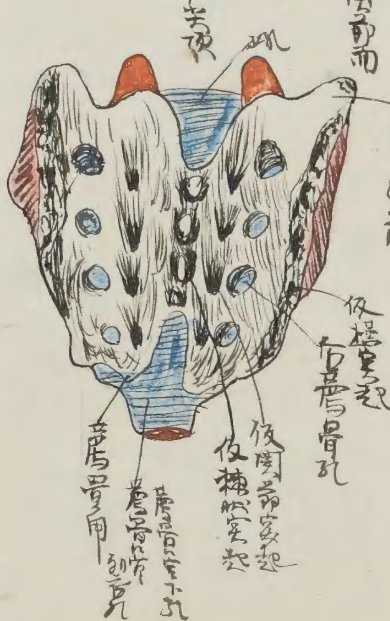
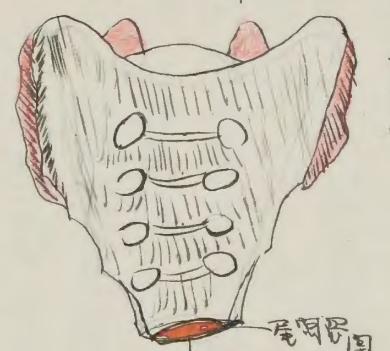
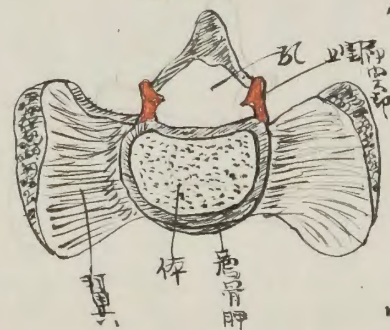
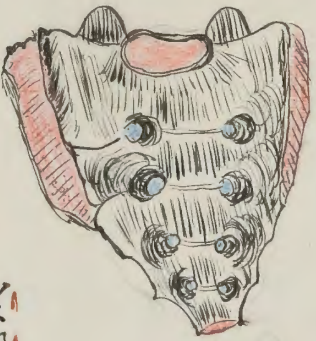
截瘻、圓節而ノ前方ニ位ス
 椎孔、他ノ者ト同ナリ

後椎薦骨 *os sacrum (Sacral spine)*

薦骨、脊椎中最大、モロシテ五箇ノ後椎相膠着シテ生成スルナリ
 其形、宛レ鋸頭ノ如シ、且、彎曲ノ部ハ、第ニ後椎ニ当リ、部ナリノ部ハ
 薦骨莖部 *Omphalo sacralis* ト多シ、其骨ハ、右左腹骨間ニ
 陷入シタルナリト上部ニ腰椎ヲ載テ下部ニ尾骨ヲ懸垂シ尾骨
 ト骨盤ノ右膝上ヲ支テ内部ハ、一ノ縦管現レ之ヲ薦骨管
Canalis sacralis トシ、管中ニ馬尾神ニ直ニ通シ管ノ上口ニ廣
 クシテ三角形下口ニ狭クシテ一ノ裂孔ニ終ル

薦骨ヲ分テ見ルニ *Barra* 尖頂 *Spinae* 前右二個 *superficiae*
ant et post 前右二個、側部 *marginis lateralis* ト

星底 *Basid* ト云、向ニ中央、横卵円形、圓節面現レ圓節
 面ニ隣接軟骨、依テ第五腰椎ト圓節ト圓節面ヲ前縁ニ有シク
 前ニ尖突ス之ヲ薦骨岬 *Promontorium* *pelvis* トシ、星底
 ト字ヲ見ルニ、圓節面、兩側ニヤシク外ニ擴張ス之ヲ薦骨



翼 *Alae* *Portae laterales* トシテ翼ノ一部分ニ腸骨窩、橋ス又
 圓節面ノ中ニ於テ三角形孔アリ之ニ薦骨管ノ上口ナリ、口ノ兩側ニ
 一高ク尖突スル尖突起アリ、最上後椎ノ上圓節即尖突起アリ之ニ第五
 腰椎ノ下圓節尖突起ト圓節ト

尖頂 *Spinae* 下方ニ向テ卵円形、少前ヲ有ス之ニ尾骨ト圓節ト
 前面ニ骨盤面 *Superficies ant* *Superficies posterior* 臨レ
 四對ノ孔現レ之ニ孔ヲ前薦骨孔 *Foramina sacralia ant*
 トシ、後椎孔、圓節隆起現レ之ヲ横線 *Linea transversal*
 トシ、横線、各後椎、薦骨ト着セシ痕跡ナリ、薦骨孔、外ニ肥

ス之ヲ側塊部トス

後面: *Apophyses post. sacrae* 四凸不呈ナリニ條、縦隆起線現ル之隆
線、穿テモ、後部狀、モ相運送ニ成リモナリ其中央、モ、後椎棘状突起見
做リ故ニ後棘状突起トス *Proc. spinosi spinosi* 中薦骨棘 *Cista*
vertebralis media トシテ其側方、隆線、後椎、關節突起、痛着見
做リ故ニ後關節突起 *Proc. orthocentrales spinosi* トシテ且、外方、於テ
同ノ縦隆線現ル之ニ後椎、横突起、見做リ故ニ後横突起 *Proc.*
transversi spinosi トス此、後横突起ト關節突起、間於テ四對、
孔ヲ見ル之ヲ、向薦骨棘 *Thoracinae sacralis post.* トシテ薦骨管、
交通ス薦骨神ニ通ス後棘状突起、下端、長形、裂孔現ル之ヲ薦骨
管裂孔 *Hiatus Canalis sacralis* トシテ之、口名管、下ナリテ四
薦骨神ニ尾關節神ニ有髓、手端ニ通テ且、向側ニ下方ニ管ニ布
シ且端、鈍端、終ル之ヲ薦骨角 *Cornua sacralia* トシテ後椎最下、下
關節突起ト具做リ

側塊部 *massae laterales*: S 字狀、背曲ニ横突起又、肋骨突
起、癒着部ナリ上部、肥厚シ且部、腎臟形或、耳形ニ粗皮ナリ

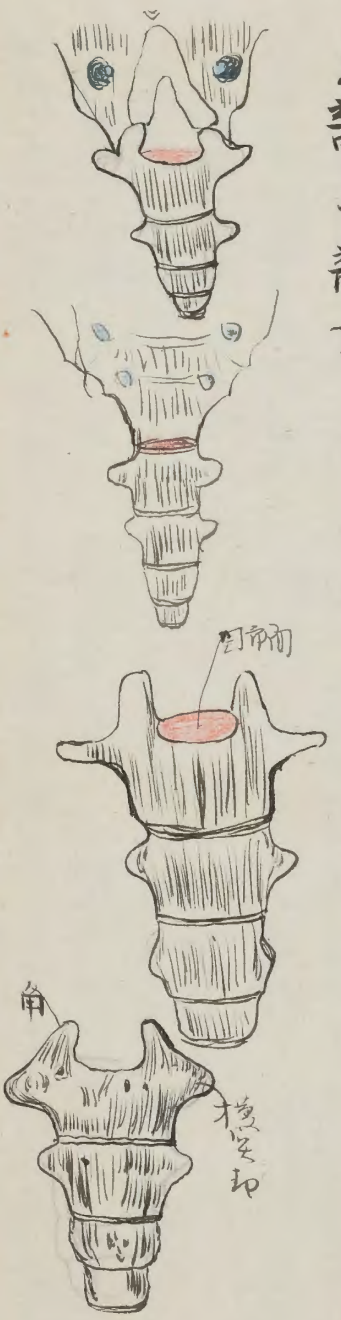
而アリモテ可状而

Amiculae トシテ之、腹骨、關節

面ナリ且、右方、凹凸不呈ニシテ肥厚ス之ニ又帶、附着部ニシテ薦骨
棘突起、隆起 *Apophyses ovae sacri* トシテ耳狀面ナリ下方ニ横
クニテ銳縁ヲナス尖端、至ニ後ニ左右縁、相近テ癒ナリ又頂、近テ部
ニ半月狀、痕線現ル之ヲ薦尾痕 *Anciana sacro coccygea*
トシテ

尾關節 *os Coccygei*

尾關節、脊柱、末端ニシテ四角、椎骨相聯、着シテ成ル四乃至五、或ニ
乃至六、乃至成ルモノアリ而シテ一カニ椎、棘、直椎、痕跡ヲ存ス自
身ノモノ、至シ有セズ尾關節、椎ニテ銳、故ニ管、孔、現ルニテ大ニ、
上部より下部ニシ



第一尾骨椎体は痛中にて上方に於て凹卵円、関節面現れ、之は骨節
 手端と関節との右側より上方に向て突出せし隆起現れ、之は薦骨角と
 前との尾骨節 (Cauda Occipitalis) 之の上関節突起は、
 其他の骨に向て突出せし、之は横突起と見做り、
 第二尾骨椎体は右より地中に突出せし、突起現れ、之は横突起
 痕跡あり、其他尾骨骨の骨節と連続する、之は薦骨角と見做り、
 深き溝之は、尾椎の椎間截痕と同一なり

全脊骨柱

脊柱は、直徑に椎及び椎間軟骨等より成り、其中、管腔は有る脊髄
 脊髄神経等より成り、而して脊柱は、
 行はれ、之は、
 部、又前方に、
 方、向に隆起し、口唇骨脚なり

脊



全管腔、向て一室、定則より、
 植物性管 Vegetativer Rohr

コ圓楯スル所ノ骨ニ附着スル部ハ右方ニ管腔ニ胸部ノ骨盤部如シ而シテ
 附着スル部ニ前方ニ管腔ニ前方ニ管腔ニ部ハ椎間軟骨 Band
 Scheiteニ右縁より前方より右方ニ管腔ニ部ハ椎体ハ前方
 より右部ニ右より高し
 脊柱ノ運動ハ椎間軟骨ノ弾力性ニ依リテ之ノ弾力ヲ有スルヲ以テ安臥セシ
 骨力ノ付マリハ又テ長し
 脊柱ノ節直ニヤルハ若シ節直ニヤル下部ニ動搖ノ憂セハ頭部ニ向テ運動甚
 シク且実質亦多シ故ニ骨曲シテ其度リ實感ニ脊柱ノ上部ニ頭蓋ヲ戴クハ
 身俸支柱ナリ

脊柱ノ前方より見ル

且椎体ノ極径ハ第一頸椎より第七頸椎ニ向テ漸シ第一胸椎より第四胸椎ニ至
 テ漸ク減少シ第五胸椎より薦骨ノ基底ニ至ル迄増大シ薦骨ノ基底より
 尾骨ノ骨ノ尖端ニ減劣ス

椎体ノ高ハ頸椎ノ椎トト同等ニシテ第七頸椎より最下腰椎ニ至ル迄漸ク
 其高ク増ス
 横突起ノ距離 第一頸椎ハ最ニ廣ク第二頸椎より第一胸椎迄

前、距離、傍を、二胸椎、三胸椎、至、迄、漸、減少、腹椎、至、
胸、其、長、多、厚、加、
脊、柱、の、側、方、より、見、る、
横、突、起、の、長、端、は、互、に、相、等、豊、く、見、え、胸、椎、も、推、体、弓、形、ヲ、之、頸、
椎、に、施、す、下、部、直、り、上、部、腰、椎、に、頸、椎、の、如、く、鉤、あり、上、
棘、状、突、起、其、中、部、胸、椎、に、つ、ら、六、斜、め、下、方、に、傾、き、尾、尾、状、ヲ、上、
下、二、部、頸、腰、に、向、方、に、突、出、し、地、平、ヲ、
脊、柱、に、向、方、より、見、る、

横、突、起、棘、状、突、起、側、方、より、見、る、又、棘、状、突、起、の、向、側、横、突、起、間、に、
溝、理、を、之、に、背、溝、*vertebrales dorsales* (*Ruechenspurchen*) ト云、
7、而、し、之、骨、質、の、頸、椎、に、胸、椎、の、二、部、を、於、て、横、突、起、の、外、境、ト、
腰、椎、に、於、て、乳、嘴、突、起、副、突、起、と、し、外、境、ト、
椎、弓、板、部、の、巨、小、を、一、頸、椎、后、頭、骨、間、一、二、頸、椎、間、最、
廣、し、之、の、次、に、廣、し、一、五、腰、椎、下、骨、骨、間、一、頸、椎、下、部、と、胸、椎、
上、部、と、最、く、狭、く、腰、椎、に、於、て、胸、部、より、廣、し、
腔、隙、の、相、同、空、隙、ト、*Spinnae intervertebrales* (*Wirbelsattel*)

Phacton ト、其、の、空、隙、に、新、鮮、を、以、て、脚、間、弓、帶、(彈、力、有、る、) 之、
係、り、閉、鎖、を、し、其、又、帶、中、最、上、頸、椎、の、閉、鎖、を、以、て、鎖、閉、膜、*membranae*
vertebrales ト、云、
脊、柱、管、の、廣、さ、頸、部、殆、ど、同、一、に、是、より、下、胸、椎、に、漸、々、狭、ク、シ、テ、
七、乃、至、一、九、胸、椎、間、最、く、狭、ク、見、え、下、部、に、漸、々、ち、り、腰、椎、に、殆、ど、
同、一、に、最、下、腰、椎、より、最、骨、管、下、孔、に、漸、々、狭、ク、シ、
胸、骨、*os sternum* (*Breustein*)

胸、骨、の、胸、廓、前、壁、中、心、位、に、骨、柱、ト、相、對、し、併、し、鉤、直、を、以、て、骨、道、ヲ、持、ッ、テ、
之、を、以、て、前、下、方、に、向、テ、斜、に、位、を、取、り、上、部、に、骨、柱、ヲ、離、れ、近、し、下、部、に、上、
部、に、比、し、こ、の、骨、柱、ヲ、離、れ、一、遠、し、
形、状、は、殆、ど、神、代、(西、羅、馬、時、代)、の、劍、*Gladius* 或、*xyphoides* 之、
之、を、以、て、骨、ヲ、分、テ、三、部、ト、ノ、把、柄、部、劍、柄、部、手、柄、*manubrium* *Hamulus*
isthmus 之、體、或、劍、身、*Corpus sterni* (*Boegeri*) 之、劍、尖、或、劍、狀、突、起、
Dors *xyphoideus* (*cechu* *isthmus*) ト、云、之、劍、狀、突、起、青、期、
発、動、時、*subcostalis* 之、骨、に、近、し、骨、管、に、止、り、而、し、之、部、中、劍、柄、
の、廣、さ、上、部、に、位、に、劍、狀、突、起、下、端、に、位、に、尖、端、に、上、部、に、劍、柄、劍、

之、を、以、て、骨、ヲ、分、テ、三、部、ト、ノ、把、柄、部、劍、柄、部、手、柄、*manubrium* *Hamulus*
isthmus 之、體、或、劍、身、*Corpus sterni* (*Boegeri*) 之、劍、尖、或、劍、狀、突、起、
Dors *xyphoideus* (*cechu* *isthmus*) ト、云、之、劍、狀、突、起、青、期、
発、動、時、*subcostalis* 之、骨、に、近、し、骨、管、に、止、り、而、し、之、部、中、劍、柄、
の、廣、さ、上、部、に、位、に、劍、狀、突、起、下、端、に、位、に、尖、端、に、上、部、に、劍、柄、劍、

等間之位に傳、刺柄より狭キモノアリ又傳自ヒナバ中央部最も廣シ
矢状径之前面、扁平シテ左右に廣シ縱径ニ長シ且、前面、前方に突隆シ
側縁、上七個、肋軟骨と鎖骨に連ナリ

1 把柄、上部、最モ寬ク背柱に相對シテ近ク前面に相當隆シテ向
前シテ陷凹滑澤シテ上縁、廣シテ三個、痕截現レ而シテ截痕中

中央、其形半月形ナリ之レヲ頸靜脈截痕 *Oscivora jugularis*
或ハ半月狀截痕 *Oscivora semilunaris* トシテ且、側方、現レニ截

痕ヲ鎖骨截痕 *Oscivora claviculavis* トシテ鎖骨、内端(胸骨端)
上圍部、側縁ニ頸骨截痕、直下部於テ粗造ナク截痕現レシテナリ

1 肋骨截痕 *Oscivora Costale pinnata* トシテ一肋軟骨ノ連ナリ
且下方、於テ半截痕現レシテナリ肋骨半截痕トシテ且、截痕、傳、

側縁、上縁、現レ、半截痕、合シテ全寬ヲナシテ肋軟骨上連接ス
下縁、平頂シテ傳、上縁ト接シテ下縁、上縁、比シテ狭ク傳、上縁ト

連接ス、織維軟骨、婦女、由テ一時トシテ、接合部、空洞ヲ現シテ
アリ或ハ膠着シタルモノアリ其他病的、アトシテ、各部、突出シ或ハ種々形

狀、*Oscivora* 特殊、*Thirion's gutturosum* (肺病) 患者、如キモノ、於テ

等、如此場合ニ於テ、連接部若干、角度ヲナス之、角度、*angulus*
Rudovicia 長、偏角トスリ

又傳 *Corymb*、其長、他ニ部より長シ、刺柄より長ク一筋トシ倍ナリ
刺柄より傳、之ヲ被シ傳自ヒナバ、中央部、廣クシテ上下、中央より狭シ

前而、或ハ胸面、*facies thoracica* 一トシ
前而、三條、橫線現レシテ四個、骨高相視、看多ク痕跡、側縁

ニ現レ、上部、半高現レ、以下、七個、全高ヲ示シ、之ヲ示シテ肋
軟骨、連接部ナリ、之ヲ肋骨截痕 *Oscivora thoracica Costale* トシ

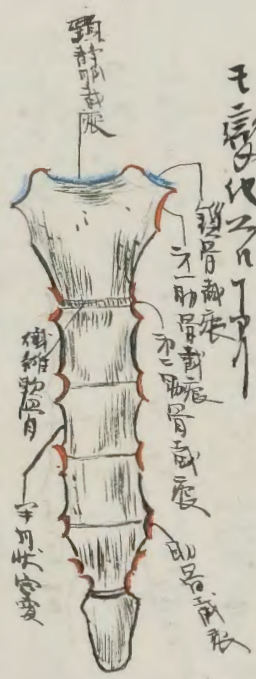
之、肋骨截痕、下部、二個、相近接ス、之ニ接スルモノ、ヒナバ七肋軟
骨、接スルモノ、之ヲ同血ナリ、各肋骨截痕、間ニ於テ半月形窩

ヲ示ス、之ヲ半月形窩、*pima lunata* トシテ、最モ肋骨截痕、刺
狀突起、近接ス、之ニ傳、半高ナリ、刺状、半高ナリ、之ヲ全截

痕ヲ *Oscivora* トス
刺狀突起 *Trac rhyrboidens*、二傳、且狭ク、下端、尖ナリ、保形

狀、種々ナル變化アリ、之ヲ一定セズ、或ハ齒形ナリ、或ハ口前部、交通スル孔
ヲ呈シ、或ハ肉狀、多岐シ、其他、前部、或ハ命、之ヲ形、ナシモノアリ、始メ

脊骨系肋前、軟骨にて老年に達する硬骨に化スモリ、或軟骨シテ
 永久に存スルアリ、故ニ之ノ別狀軟骨 *Cartilago hyaline* 云々
 婦人ニテハ、把柄部最モ廣ク、体部狭ク、長シ、劍狀突起、母ヲ長ク
 シテ、アリア、或ハ前ニ向テ字層ヲ突出スモアリ、係シ劍狀突起、用ニ於テ
 モ、厚クシテ、アリ



助骨

助骨數ニ、**對**ニシテ、形狀ニ、高キニ長ク、弓形、湾曲ス、位置ニ、肋骨胸骨
 間ニ位ス、而シテ、胸廓、側壁ヲ構成ス、今、助骨ヲ分テ、骨部 *Ossa*
Costae 或ハ助骨部 (os costae) 及、軟骨部 或ハ助軟骨部 *Cartilago*
Costae (*Cartilago costae*)、二部トシテ、助骨ニ、助軟
 骨、**骨**ニ、依テ、胸骨ニ、連接ス、助軟骨、直ニ、胸骨ノ、側縁ニ、連リ、骨
 質助骨 *Costae verae* 或ハ胸助骨 *Costae sternales* 云々

之トシテ、對ノ、助骨ヲ、成シ、トシ、一ニ、之ニ、及テ、助骨直ニ、胸骨ノ、側縁
 連リ、并ニ、モリ、**件**助骨 *Costae spinosae* 或ハ胸助骨 *Costae costales*
 トシ、下五對ノ、モノヨリ、成ル、モノナリ、且、件助骨中、ハ、乃至、十二、ニ、至、**點**、**數**
 前端ニ、附着シ、終ニ、第七助軟骨ニ、連リ、之ニ、及テ、十一、ニ、至、**骨**、**質**
 身ノ、前端地ニ、附着ス、モ、之ニ、テ、**腹**筋中、突出ス、故ニ、**骨**、**質**、**助**、**骨**、**質**
 質助骨 *Costae fluctuantes* 云々
 今、各助骨ヲ、分テ、**骨**部 (助骨部) *Corpus Costae* 及、**軟**部 *Extremitas*
Costae 前部 *Extremitas anterior* 云々
 右端ニ、各椎骨端 *Extremitas vertebralis* トシ、テ、而シテ、右端部ヲ、左
 一ニ、部ニ、區別ス

1. 小頭 *Capitulum costae* (*Primerkopfchen*)

2. 助骨頭 *Collum costae* (*Primerhals*)

3. 助骨体部 *Tuberculum costae* (*Primerhöcker*)、二部トシ、

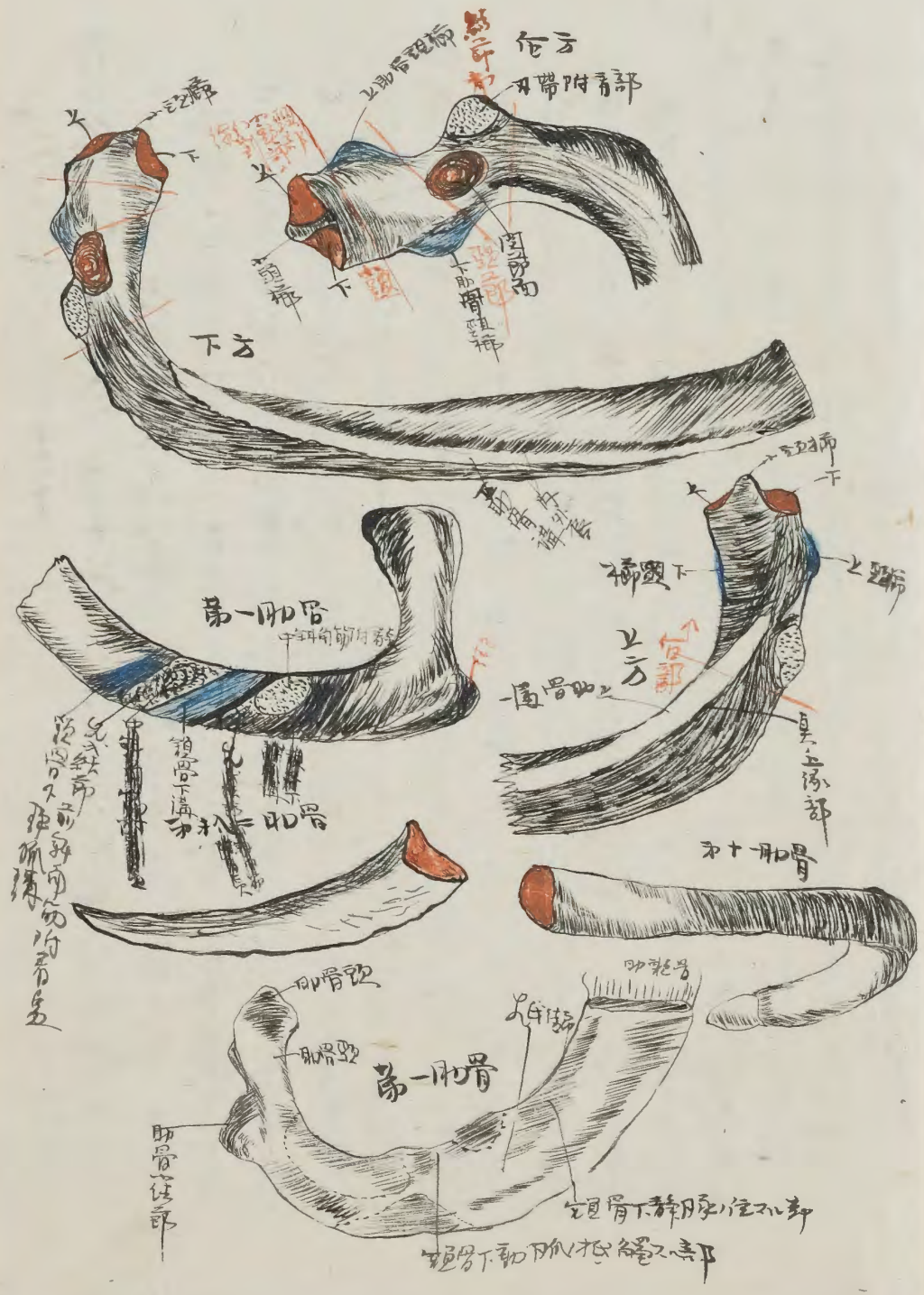
小頭、先端、帯内、高キ、膨隆部、ニ、シテ、軟骨ヲ、覆ル、圍節、而シテ、呈

ス、之、圍節、而シテ、胸骨、俾、助骨、窩ト、圍節、ト、帶、二、ノ、至、才、十、
 モ、ア、ツ、ハ、横隆線、依テ、上下、ニ、面、ニ、分ツ、之、横隆線、ハ、小頭、極

Costa Capitulata

頭部は頸部と肋骨の間、位置は狭い部分より中央部、肋骨(中肋骨)より頭部、上縁より下方隆起し下縁より下へ隆起し且上縁隆起より肋骨頭極 *Costa Colli* *Costae superioris* 下縁隆起より肋骨動極 *Costa Colli Costae inferioris* 自己頭部より体上縁内部に波し浅溝をロエス之より肋骨溝 *sulcus Costae superioris* と肋骨動脈 *arteria* と通ずる。肋骨頭、外部より体移行部より下部に於ては下方空出之より肋骨頭見、肋骨頭より肋骨頭 *capitulum Costae* となす。且外より粗粒を隆起現れ之より肋骨隆起 *sulcus* となす *Costa* とす之より肋骨頭より下部より肋骨頭より

△体部は扁平より直す、前方両端に移行す而して体は第一肋骨隆起より前方より下二縁に區別す。前面(外面)より後面(内面)に陥凹滑沢より上縁は鈍円に之より下縁は鋭利より下縁、内側より全長形に波見溝現る。



肋骨
の内
外
部
筋
の
筋
部
り

之より下肋間溝 *sulcus costae inferioris* 之より下肋間筋

肋間筋は神志の通路なり且溝は境にして内外の息縁なり 肋骨各の *Costae* 下方の内方に内骨外方に外骨あり

又俾ふ端は近き部より着しく屈曲し其の状態は右より左より前より後より肋骨偶 *Angulus Costae (Angulus inflexus)*

前より後より胸骨端に向ふ末に三角筋の着く見よ末端は前より

肋軟骨に接し粗雑の凹窩あり

第一肋骨より屈曲して右に錐状如し之を肋骨は他と異なり

上下二面前方は縁に區別ス

上面は稍平にして内縁は近き部より後部頭へは斜角筋

筋 *Tuberculum* *Scapulae* *Processus* *scapulae* 前斜角筋

に附着する部より或はリストの筋に接す *Tuberculum* *Scapulae* *Processus* *scapulae*

ト多し其筋は滑り易く溝に落ちる之より鎖骨下溝 *Sulcus*

Tuberculum *Scapulae* 鎖骨下動脈の通路なり且介は右より左より

粗雑部より之を中斜角筋に附着する部より且他よりスラック

状筋は前方に於て極く幽微な溝に落ち之より鎖骨下静脈溝

Sulcus *venae* *subclaviae* あり

右端は頭筋より肩より肩節面より有ス

頸部は肋骨に比して帯肉にして細し又擗身より肩より肩節より

結節は直に偶なり

第一肋骨は形状位直に第一肋骨は類して第二肋骨は右より左より見外面に肋骨

結節より生し中央粗雑部より下縁に至る線あり

第二肋骨は之より骨より下縁に溝に接し結節は細く横に欠けり而

して関節面より偶なり第一肋骨は区別して第二肋骨は区別ス

肋骨は右より第一肋骨より第七肋骨より第八肋骨迄漸く長かり薄し次

下より至る迄長かり減ス

肋骨は位置 肋骨自然の位置直に坐平に位なり之より下より上端に

高き胸骨端に接し故に頭部より前部正中線に向て漸く斜に下

方へ傾く細きものは斜に肋骨は上方より前下より向て傾斜し

度は上方より下方に至るに従って増ス

肋骨は曲 肋骨は湾曲して之を三種に區別ス

第一面湾

Flachentwömmung (第一肋骨より第三肋骨)

肋骨の第一肋骨は坐平に位なり之より下より上端に高き胸骨端に接し故に頭部より前部正中線に向て漸く斜に下方へ傾く細きものは斜に肋骨は上方より前下より向て傾斜し度は上方より下方に至るに従って増ス肋骨は曲 肋骨は湾曲して之を三種に區別ス

Thoracic or pectoris 胸廓 同形之而之内 胸腔の内臓

今胸廓の前方を前壁 右壁 左壁 上口 下口 及び 下口 (下口) とす

前壁 *Anterior* 前壁 右壁 左壁 上口 下口 及び 下口 (下口) とす

胸骨も 肋骨も 肋骨骨も 肋骨骨も 肋骨骨も 肋骨骨も 肋骨骨も 肋骨骨も 肋骨骨も 肋骨骨も

右壁 *Right side* 右壁 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

胸椎 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

側壁 *Left side* 側壁 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

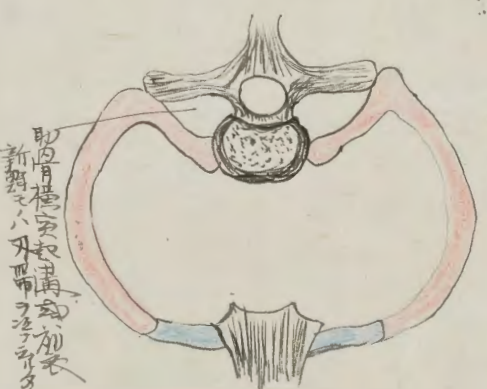
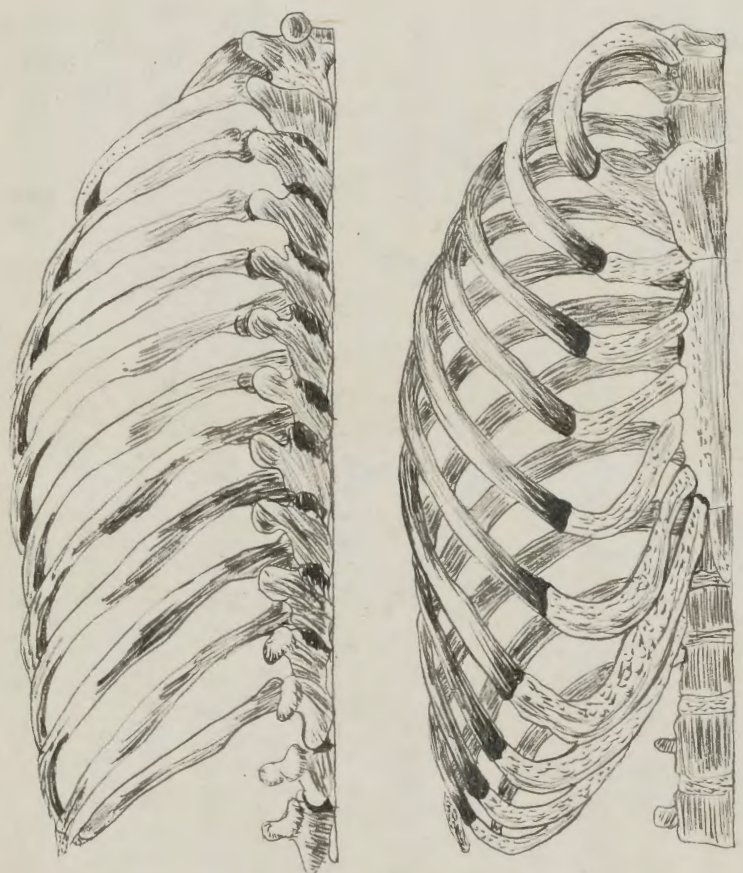
肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨 肋骨

胸廓上口 *Superior thoracic aperture* (Obere Oeffnung)



口ノ境界 市方一胸椎俾ノ上縁前方 胸骨把柄ノ上縁側方
 一肋骨ノ上縁ナリ 口ノ地平ニ位ス 市方ノ高ク 前方ノ低ク 故ニ
 前方ニ斜ク呈ル形 楕圓形ニシテ 長径 左右ニ在リ 且 前後ニハ 凹セシメテ
 短ク 鼻孔ノ呼吸運動ノ為メニ 変化セズ

肋骨横突と溝と 肋骨
 新骨ノハ 肋骨ノ上ニ在リ

胸廓下口 *apertura thoracica inferior (untere Thoraxapertur)*

胸廓下口境界 前方に剣状突起の側部より第七助肋骨を以て其より漸く側方に至ると後には僅く肋骨の下縁より第十助肋骨の下縁を経り第十ニ助肋骨に至ると後には尖端より過り尚右方に経り第十ニ助肋骨に達する線より下方境トス故に下口の境界は前方に斜線より斜より畫不線ノ前方大に右方に小なり是ニ斜線より第十ニ助肋骨ノ尖端より前方に斜角より先端に下方に向り下口にアツテモ前方に最も高ク腋下部深(概)ク其より右方に亦少しく高し角度(前より)は六十一度乃至七十度ヲ至ス(病的ニアツクハ五十度以下にアツリ候し又之。圖カハアツク之再悪し)其角度は呼吸ノ際ニ亦少ク變化ス即ち吸氣ノ時ニ銳角増ス呼氣ノ時ニ鈍角トス

胸廓 男女之比は女より男より狭ク殆ど同一形ヲ帶ブ故に西洋種人如し
肋 肋は肋骨ノ間ニ空隙ヲ呈ス之ニ由り外部ト相通ス之より胸間空隙 *spatia intercostalia* といふ。空隙は前方に後より廣ク

男より前より後より至るに後より至るに最も廣ク部は助肋骨ノ助肋骨ニ連接スル部ニテ之より漸く狭クナリ胸骨ニ連なり助肋骨端部ノ最狭クは胸腔内ニ胸腔内ノ内臓ヲ容ル者ニ其ニ由り植物性管は故に内臓ヲ包ム空洞、植物性管 *vegetative Rohr* といふ。對して脊椎管中ニ動物性管管より成る。脊椎管 *Spinale Rohr* といふ

II 頭骨 *Os Capitis*

頭骨は直線口四個にシテ骨中下頭骨ヲ除ク外ニ其々密ニ接着シテ其モ動揺スルナレバ此許多ク骨相符合シテ此之洞ヲ形成ス而シテ内ニ脈及び種々ノ器管ヲ含ム今頭骨ヲ分クニ
 1 脳頭蓋骨 *Knochen des Gehirnschädels*
 2 顔面頭蓋骨 *Knochen des Gesichtschädels*
 3 頭蓋骨 *Knochen der Schädelkapsel* 又額面
 4 額蓋骨 *Vierereckeltheil*
 5 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 6 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 7 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 8 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 9 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 10 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 11 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 12 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 13 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 14 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 15 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 16 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 17 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 18 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 19 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 20 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 21 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 22 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 23 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 24 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 25 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 26 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 27 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 28 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 29 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 30 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 31 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 32 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 33 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 34 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 35 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 36 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 37 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 38 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 39 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 40 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 41 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 42 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 43 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 44 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 45 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 46 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 47 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 48 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 49 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 50 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 51 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 52 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 53 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 54 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 55 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 56 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 57 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 58 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 59 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 60 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 61 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 62 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 63 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 64 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 65 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 66 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 67 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 68 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 69 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 70 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 71 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 72 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 73 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 74 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 75 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 76 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 77 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 78 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 79 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 80 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 81 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 82 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 83 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 84 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 85 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 86 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 87 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 88 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 89 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 90 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 91 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 92 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 93 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 94 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 95 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 96 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 97 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 98 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 99 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨
 100 額蓋骨 *額蓋骨* 又植物性ノ骨

頭蓋骨の發生上の論

a 第一骨 Primor diale knochen

初頭蓋骨或は第一骨 Belegknochen

初頭蓋骨の第一骨 Primor diale knochen der schodelkapsel

骨の最初軟骨ニシテ軟骨骨化骨セシ部ニシテ第一骨ノ一部

初頭骨 Hinterhauptstein (鱗状部ニ附ク)

蝶形骨 Keilbein (頭蓋骨突起ノ内板ニ附ク)

甲小骨 meichelbein

初頭骨 蝶形骨 蝶形骨 蝶形骨

初頭骨 Siebbein

初頭骨 Belegknochen der schadelkapsel

初頭骨 蝶形骨 蝶形骨

初頭骨 Scheitelbein

初頭骨 蝶形骨 蝶形骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

第一骨の軟骨
初頭蓋骨の軟骨
初頭蓋骨の軟骨

初頭骨の軟骨

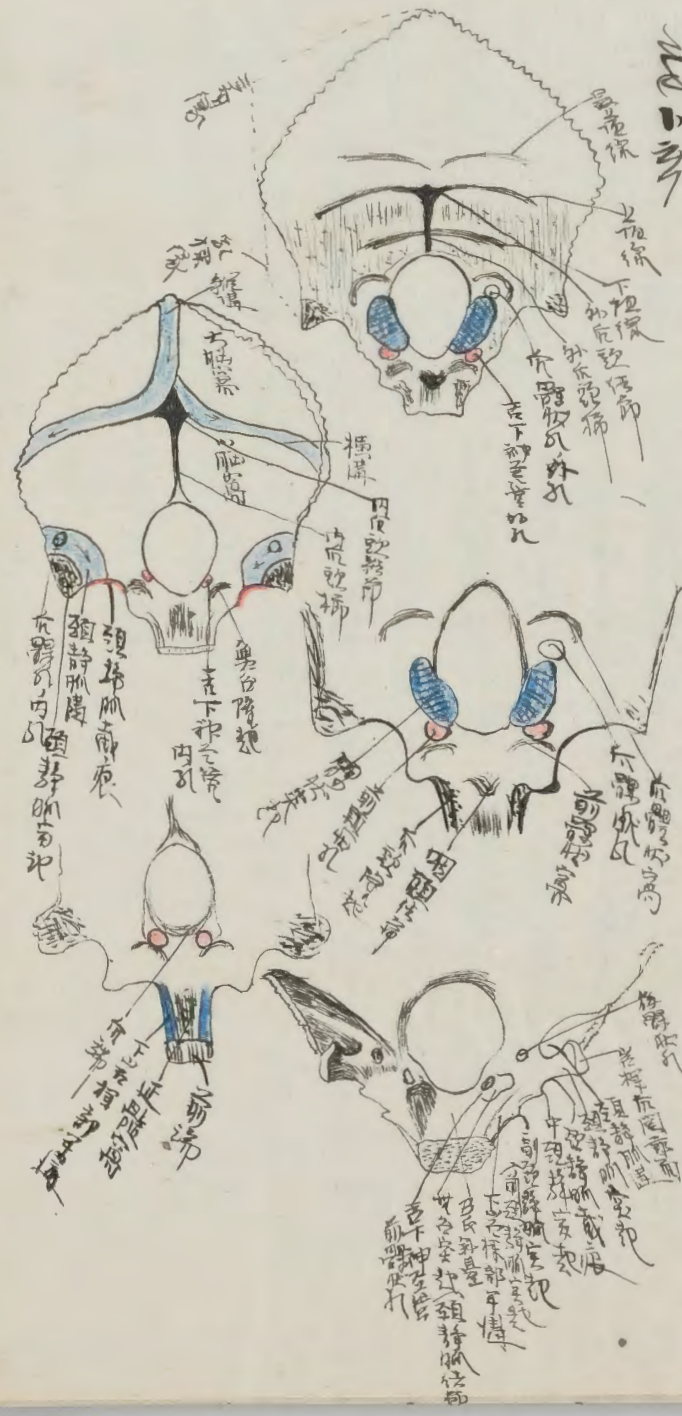
初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

初頭骨 蝶形骨

側縁は上下二半部に分れ、後角は隅角より上より側隅 *Angu*
lino lateralis トラテ上半部は鋸歯状にして顛頂骨の臼縁下漸
 合の具形之角形より故に三角縁 *Angu* *lankeoides* 等
 顛頂縁 *Manga parietalis* トラテ下半部は鋸歯状にして
 顛頂骨の乳根部ト吻合故に乳根縁 *Manga mastoid*
 等トシテ



側部 (或は左側部) *Parter* *lateralis* (頭部側部)

側部は右側頭孔の左右両側之位に伸び、轉掃部の中間之位に
 形状は不等之形にして右方より廣クシテ左方より狭クシテ高クシ
 上面は一隆起ヲロモエ之を舌下神管ノトシテ跨ル之ヲ無毛隆
 起 *Proc anonymin* トシテ下降、舌下神管之通路ナリ
 下面楕円形隆起ヲ現ス之ヲ髁狀突起 *Proc Candyloideus*
 トシテ突起、関節面ヲ呈ス之を齒城、上面即面ト関節之髁
 狀突起は前内方より右外方へ傾轉之故に右側頭孔の前部は少
 少狭クシテ又突起右端に右側頭孔の中央部に於テ横線ヲ引クハ
 横線は左側頭孔の前面より右方より左方へ向テ強ク突隆ス横線はハ
 弱ク突隆ス又其ノ顛狀突起より右方より左方へ向テ弱ク突隆ス
 此 *Grova Candyloidea* part 目の中は右側頭孔 *Stomaxon*
Candyloidea part 用之を右側頭孔ト規則孔ニシテ或ハ一方は缺クシテ
 之孔は通管(頭蓋内、齒城、外側頭孔) *Gmioda imm* 等ト
 又若シテ前より左方より右方へ向テ弱ク突隆ス *Stomaxon Candy*
loidea part 一トシテ十二對神經ノ舌下神管ヲ通ス之を舌下神

経管 Canalic. Hyd. p. 102. 1. 1.

内縁の滑沢に七布頭孔の側縁が形成す
外縁の右方にアテ、百多クミテ粗糲ナリ。前云に於テ、一、截痕ヲ呈之シ
テ頸靜脈截痕 *Incidentia jugularis* トシテ其截痕の頸靜脈
の若狭部ニ表レ同各截痕ト合テ頸靜脈孔ヲ形成ス。且、右方に於テ
三角形ノ突起ヲ呈之シテ頸靜脈突起 *Proc. jugularis* トシテ且
右内側ノ邊ヲテ頸靜脈截痕控ルル處ノ廣深溝ナリ。之ヲ頸靜脈溝
Sulcus jugularis トシテ其溝ニ右體狀孔内孔ヲ見ル。其溝ニ横
溝連續ナリ。

體狀突起、側云に於テ、一、突起ヲ呈之シテ横溝突起トシテ且横溝
起ノ部より下方ニテ突起アリ。之ニ下頸靜脈突起トシテ下頸靜
突起ハ前溝動物ニテハ副氣管突起ト同一ナリ。之レニ對シテ上頸
靜脈突起ハ上頸靜脈突起ナリ。
又、體色隆起、外云に於テ、少シク突起ヲ有シ頸靜脈骨花
層部ニ接ス。之レヲ ^{中溝} ~~中溝~~ *Proc. costae jugularis* トシテ

蜘蛛骨 *Sphenoidalis*

蜘蛛骨の頭蓋底ノ中部ヲ構成スル骨ニシテ頭蓋面頭蓋
モ構成ス形状ハ飛蝶ノ如シテ其骨ヲ分ケテ骨ニ突起トシテ
且突起中骨ノ側ニシテ現ルモノヲ大翼 *Alae majores* トシテ *Alae*
minores トシテ小翼ニナシテ骨ノ前トス。後ト大翼ハ骨ノ右トス。後ト
他ノ二骨ノ下ニ現ルニシテ *Alae minores* 一名 *Alae anteriores*
parvinae トシテ且他ノ小兩翼ノ間ニ於テ隙隙ヲ有ス。之ヲ上眼窩切
裂 *Fissura Orbitatis superior* トシテ

骨ノ散る形ニシテ其骨ノ中史ノ右ノ部ナリ。又、其形状ハ後ニテ前ニ區別
ス。且、後ニ薄クシテ中ニ空洞ヲ有ス。之レヲ蜘蛛骨窩 *Sinus sphenoidalis*
ovoidalis トシテ其窩ニ且中ニ鋸直ニシテ中隔ト申テ左右ニ分セ
之レヲ蜘蛛骨中隔 *Septum sphenoidale* トシテ其面中上ニ倒面
ニ頭蓋腔内前ニシテ下面ノ鼻腔ニ現ル。右面ハ右頸骨ノ体ノ前
トシテ着ク。

上面ノ頭蓋腔ニ向テ中史部ニ於テ骨ノ陷凹シ恰ニ鞍窩形ナ
ク故ニ之ヲ鞍窩 *Trochæa sellæ (sella)* 或ハ土有古鞍ニ類

此骨由テの各ニ腔ニ
多クテアリ

ト多クノ骨孔。鼻腔ノ開口ニ新舞モ多ク。鼻腔粘膜ノ連続
ヲシテ前後孔。且他處中階ニ突骨ニ長而前ヲ線状突出之
ヲ蝴蝶骨棒(中階ニ在リ)トシテ其下部ニ蝴蝶骨(Bast
rum, sphenoidale)トシテ節骨棒ニ移行シ其他前側ニ粗面
粗面ニ在リ。且ニ節骨隆起(節骨) tuberositas sphenoidalis
トシテ節骨ノ連結(節骨)ニ移行ス

下面ニ鼻腔ノ向。且中線(鼻)ノ部。前階線アリ。故ニ前方ニ著

シク突出ス。之ヲ蝴蝶骨棒(Bastrium, sphenoidale)トシテ下面

兩側ニ在リ。内方ニ開口ニ通(内方ニ在リ。前階線ノ一部ニ

有リ。状突起ノ内方ニ突出ス。靴状突起ニ係リ。助成セルニ在リ。溝

ニ基礎溝(Bulvae Omero faciliaris)トシテ下面ノ側部前

ニ在リ。バシシク骨ノ一部延長ス

小翼(一)名眼窩骨(Clae parvae) & (Clae Orbitales) (Klinen (Klinel)

小翼ニ伴。側面ノ前部ヲ二根ヲシテ斜ニ地平。外方ニ突出ス。其

兩根ノ間ニ在リ。円形ノ孔ヲ呈ス。之ヲ視神之溝(視溝)トシテ

其形状ニ扁平三角形。シテ其三角ノ尖端。外方ニ向テ

小翼ヲ分テ上下二面。前中ニ縁ニ區別ス

上面ニ滑沢。シテ前頭蓋窩ノ一部ヲ形成ス

下面ニ前部眼窩ノ向。中頭蓋窩ノ向。前部大翼ノ

向ニ在リ。且眼窩環裂(Spirama Orbitalis superior)トシテ

前縁ニ直ニシテ骨ヲ踞進シ有ニ其部。前頭骨ノ眼窩部ニ接

合ス

前後ニ滑沢。シテ彎曲シ。以テ頭蓋窩中ニ突出シ。其後ニ前

中頭蓋窩ノ境界ヲ又作縁ノ内端。於テ不正ノ突起ヲ呈ス

之ヲ前部状突起(Proc clinoidus anterior)トシテ

大翼ニ在リ。且前部状突起(Clae magnae) & (Clae temporales) (graece Klingen)

大翼ニ伴。兩側ニ在リ。斜ニ積地。外方ニ在リ。且前部状突起

上方ニ朝シ。形状ニ不正ニ用形。故ニ大翼ノヨリテ二面ニ在リ。區別

ス。外面ニ内前。外ニ前

内面ニ外面 Superficies cerebrialis

外面ニ隔凹滑沢。シテ中頭蓋窩ノ向ニ構成ス。而シテ其面指

状壓痕。眶隆起。硬腦膜動脈溝ヲ見ル。其溝中

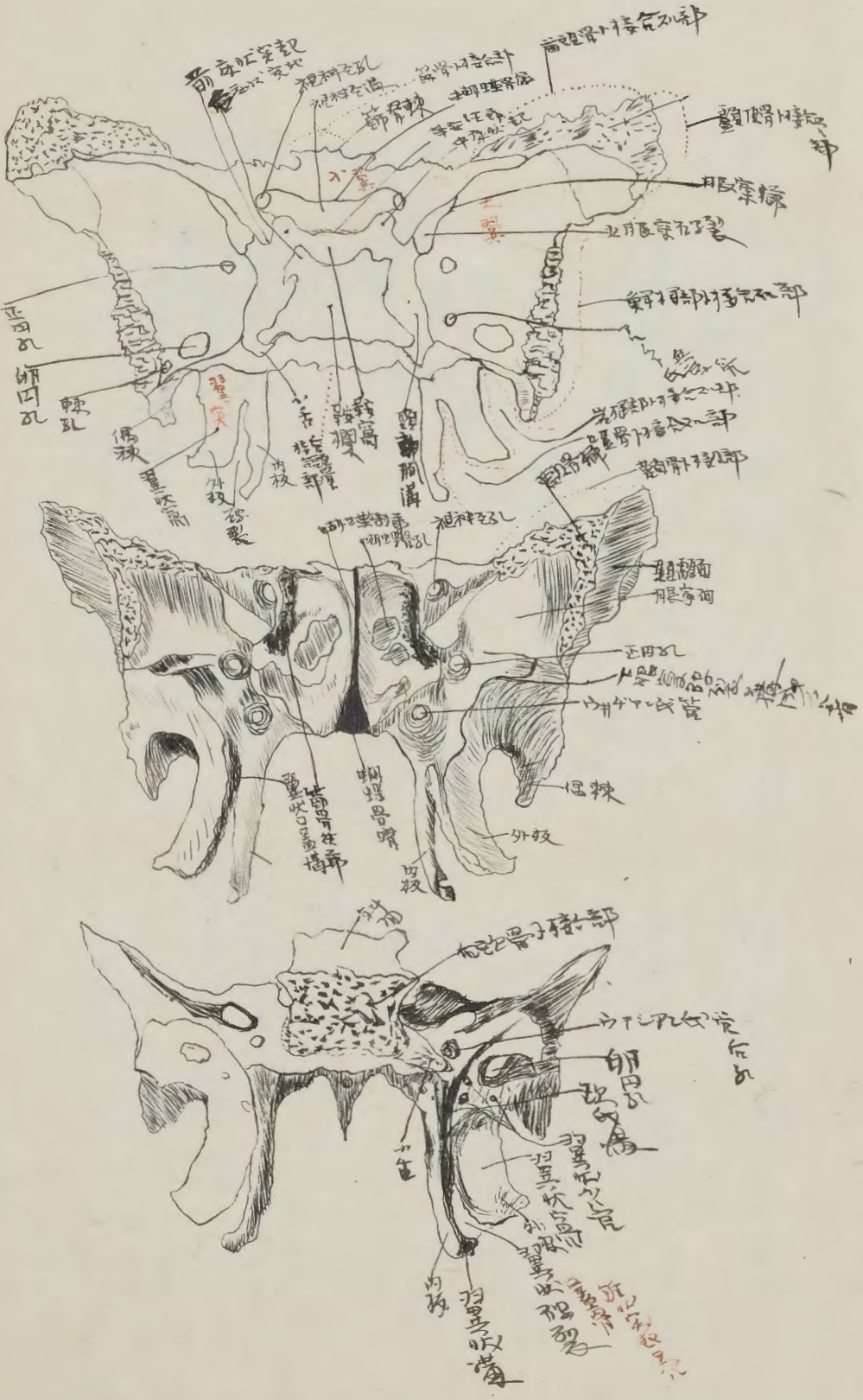
硬膜動脈之通路より前面に於ては眼窩破裂の内端に於て一内形
 孔アリ之より正内孔 *Foramen rotundum* 及び正内孔の卵円
 形孔アリ之より卵円孔 *Foramen Ovale* 一之より正内孔卵円孔
 の強大骨片より根を起して楕圓形部分より現る卵円孔の右抄ス
 一之より一孔ヲロキス之より棘孔 *Foramen spinosum* 一之より身他卵
 円孔の内方一孔ヲ存ス一ヤリ之より一孔ト成、血を夜小
 孔 *Canaliculus minor* *Canaliculus major*

前面一名眼窩面 *superficies orbitalis*

多面、海峽ニシテ形状、箱形ヲナス各、如ク眼窩に向テ眼窩外
 壁ノ右部ヲ形成ス

外面一名額面 *superficies temporalis*

之面ニ三角半最モ大ニシテ形状、楕圓形ヲ成シ之面ニ中央に於テ
 現る二横線、依テ上ト下トノ二部ニスルニ横線ヲ下額窩
Crista infra-temporalis 或ハ大額窩 *Crista alae*
magna トシテ目ノ極ノ前端ニ下方ニ突出ス之より棘状突起トシテ
 是中ト大ニ額窩一部分ヲ形成シ下部ニ蜘蛛脚頭骨トシテ



(頭部骨格) 下部(ラ)ノ記(イ)部
各部の切取(ハ)と(イ)とを記



一部ヲ形成ス

縁の上、前を、右ノミトク、之縁ハ谷ニ部分ヲ成ル故ニ部
分ニ區別ス

上縁ハ上眼窩ノ起眼部ヲ系シ上縁ノ上外隅ニ存在ス外下部ハ
廣クシテ粗指ノ形ヲ三角形ヲ帯ブ一部ハ鋸歯状一部ハ
銳利ナリ其一部ハ前部ハ前頭骨ト接シ一部ハ前部ハ額頂骨ト
前下部ト接シ其外下部ハ前頭額頂縁 *margo fronto-*
*parietalis*ト云フ

内下部ハ銳利ニシテ滑走ナリ而シテ眼窩ノ下部ニ向テシテ眼窩骨
列ノ一側ヲ支ス之ヲ眼窩極 *Carina orbitalis* ト云フ

前縁ハ眼窩骨面ノ前下ヲ用ヒテ眼窩骨列ノ前下部ト下部ト區別ス

前下部ハ鋸歯状ニシテ額骨ト接シ其縁ハ額骨縁 *Carina*
frontalis *Zygomachia* 或 *Jugalis* ト云フ

下部部ハ滑走ニシテ遊離シテ上眼窩骨眼窩面ノ前縁ハ相對シ
下眼窩骨列ノ形成ス之ノ後ヲ下眼窩後 *margo infra-*
orbitalis ト云フ

右縁ハ六習考の右ト左トナリ同ハ故ハ外羊部ト右羊部ト區別ス

外羊部ハ一形ヲ日廻リ前部ハ内方ヨリ外方ニ向テハ後部ハ前部ト區別ス

ハ概シテ振込ヲ有スル縁ハ顛顛骨ノ棘部ト接合スル故

外羊部ハ顛顛縁或ハ棘縁 *Margo temporalis* 也

Margo squamosa 也

右羊部ハ内外三部ト區別ス

内羊部ハ滑沢シテ卵形孔ノ境界トナリ其ノ別名孔ハ顛顛骨

岩根部ト同シ前部卵形孔或ハ上岩根部別名孔 *Foramen*

lacerum anterius 或 *Ghiemta petrosa superiure* 也

外羊部ハ粗粒シテ岩根部ト接合スル之ヲ上岩根縁 *margo*

petrosa 也

其他右縁ハ外羊部ト左羊部ト相會スル所ニ著シク其ノ具部顛

顛骨ノ岩根部ト棘縁部ト同シ陥入スル之ノ部分ヲ隅棘或ハ

蝶骨隅棘 *spine angularis* 或 *spina pharyngolabialis*

トナリ其棘ノ貫通スル所ハ孔トナリ其孔ナリ

而シテ棘孔ハ中種眼腔動靜脈ヲ通ス

習性狀突起 *Proe pterygoidei*

或 *Proe palatina*

或 *Proe palatina* 也

或 *Proe palatina* 也

習性狀突起ハ体ハ七習性ノ根部ヨリ榮ト下テ向テ右鼻孔ノ左

側ニ下降ス而シテ下降スルニ後テ少シク外下ニ垂開ス其突起ハ

左右各内外ニ枚ヨリ成ル其内外ニ枚ハ上部於テハ五ニ瘡ニ有

シ且右側於テハ一ノ窩ニ在リ之ヲ習性狀窩 *Proe pterygoi-*

dei トナリ保テ下部ニ瘡ニ有スルニ故ニ五ノ間ニ保列ナリ生レ内

外ニ枚ハ多ク有スルニ保列ナリ習性狀保列 *Ghiemta pterygoi-*

dei トナリ之ニ保列ナリ口蓋骨ノ鎖狀突起トナリ

外板ハ内板ヨリ短シク外方ニ向テ

内板ハ細長シテ下端ハ外方ニ彎曲スルニ部ヲ習性狀筋 *Ham-*

ulus pterygoideus

トナリ其内側於テハ微細溝多ク有テ

鉤狀溝 *Dulcus hamuli* トナリ溝中ニ口蓋筋ノ筋腹ノ掛ナリ

又内板ハ於テハ口蓋筋部ヨリ内方ニ向テ蝴蝶骨体ノ下面ニ坐スルニ

薄ハ骨片トナリ之ヲ習性狀突起 *Proe pterygoidei* トナリ其筋

鋸直板

鋸直板は鋸板の下面に於て雞冠に相對する所より起り下は直
骨に而して薄片の骨に之を自鼻中骨に接し自鼻中骨の上端に形成ス
る板に鋸直板と名ありト是れ之を板何しか偏倚の下後鋸骨に
連り鋸骨の上端に骨自鼻中骨に形成スる板に於ては下部に多ク
ノ溝あり管を現スる溝に神を溝 *suberi alactem*
ト云ふ是れ右の側部に向
前上縁は前頭骨と鼻棘と自鼻骨と連接ス
前下縁は鼻中隔軟骨と連り
右後鋸骨と骨棘と連り
右下縁は鋸骨と連接ス

側部

側部は星形にト四角形にシテ篩骨板の両側より鋸直板の
右に下重し且中多ク、蜂窩質に造ラシテ篩骨板の篩骨孔
Cellulae ethmoidales 之目、周圍に薄骨片ヲ以テス而シテ且
蜂窩質の薄骨片自鼻骨より形成スルより且内部に互ニ交通ス

此は蝶形迴廊と名あり而シテ此の間に自鼻腔ト交通ス新鮮ニシテ
自鼻腔は蝶形迴廊に連続シ此に接ス

外之に薄骨片の方形鋸直板ト云フ、此は之を紙板 *Lamina papy*
macea ト云フ而シテ紙板は眼窩内壁上の一部に形成ス

前縁は蝶形迴廊に接ス

下後上頭骨(眼窩内)の口蓋骨(眼窩後部)に接ス

右縁は鋸骨と骨棘と接ス

上縁は前頭骨、眼窩部と接シ且上縁に接シ於ては前頭骨の骨棘と

骨棘と口蓋骨に接シ升方の骨の全ク固マシテ之を表面ニシテ蜂
窩質の口蓋骨の部は淡骨の部は前頭骨に接ス

内方は自鼻腔に接シ骨の骨棘と骨棘と接シ且骨の骨棘と骨棘と接シ

下部は下部の甲甲外 *Cantha media* と名ス

上甲外は上部の篩骨に連リ且上部に多ク、小溝の管を以テス、
之は嗅神を織維の通シテ又是れ上甲外の間を以テテ
此の道は *Canthi* と名ス *meatus nasum superior*

上甲外は上部の篩骨に連リ且上部に多ク、小溝の管を以テス、
之は嗅神を織維の通シテ又是れ上甲外の間を以テテ
此の道は *Canthi* と名ス *meatus nasum superior*

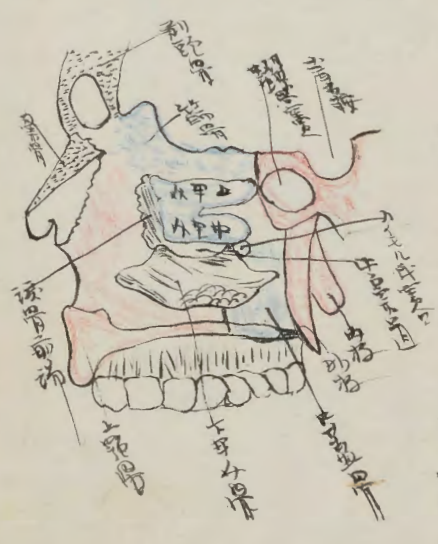
ト多ク直ニ内面ノ前半部ニ現ルモノナリ中甲ノ骨
 中鼻道 *metu maxillare media* 初ル中鼻道即チ
 中甲ノ前部ノ蜂窩開口ニ由リテ蜂窩ヨリ前額骨ニ連
 接スルコトヲ漏斗 *funus alabundus* 之ク見代前部ノ蜂窩
 ヲ外側方ニ向テ突き出ス狭小ノ突起ト云フコトヲ約状突起
proe uncinatus 或ハ師骨ノ多ク突起ト下甲ノ骨ニ
 接シ呈ル突起ト看ス而シテ此突起ノ一部ヲ狭ク見代
 細骨ノ前下部ノ部ニ於テ屢々小ノ突起ヲ口ニ見ルコトアリ之ヲ小
 突起ト云フ

此師骨蜂窩ノ前述如ク眼窩ノ方ヨリ紙板ヲ以テ被シ鼻腔ノ
 コリニ上ル中甲ノ骨ヲ被ル見代側部ニ至ク被シテ外側ニ紙板
 ニ由テ至ク被シテ口鼻部ヲ被ク見代開放部他師骨ノ部
 分ヲ被テ被シテ鼻ノ諸骨ニ見代中ノ蜂窩ヲ口ニ見代鼻腔ニ至テ連
 大骨ニ依テ正別ニ即チ前部ノ蜂窩ノ後部ノ蜂窩ニ至テ連
 口蓋骨高、蝴蝶骨高ト云フ
 具化蝴蝶甲ノ屢々師骨ニ連続セテ下リ然ル時、蝴蝶骨ニ至テ孔ヲ

夫是ニ照ル場合於テ、哺乳動物現ル中障板 *Lamina terminative*
 同構造ナリ且哺乳動物中障板ト云フモノハ、蝴蝶骨俾ト鼻ノ
 中障板ノ鼻腔ノ側壁ニ現ル骨片ナリ

下甲ノ骨 *Concha inferior (Untermaxillare)*

下甲ノ骨ニ薄弱海綿様ノ骨ヲ成シ其殼状ニテ上顎骨ノ鼻腔ニ面
 ヲ内下方ニ向テ鼻腔内ニ懸垂ス而シテ其骨ノ上縁ヲ以テ鼻腔ノ側壁ニ
 連接スルコト多ク凹凸ニ面上下ニ縁ニ正別ニ
 凸面ニ在リ内上ニ向テ遊離ス而シテ其骨ノ中甲ノ骨ノ鼻腔中障板ニ
 向テ



凹面 (二面) 下方に向つて遊離してと顎骨体と口蓋骨、部直部、初級

上縁の遊離して前部、先端、鏡の前部 (二面) 下方に向つて遊離してと顎骨、鼻骨、連甲骨、連口蓋骨、部直部、甲骨、連、其他部、元、個、突起、移行、尖、中、前、方、モ、少、突、起、前、上、方、向、涙、骨、下、端、連、其、鼻、涙、管、内、壁、構、成、ス、テ、涙、管、起、Proc lacrymalis ト、甲、部、モ、最、大、シ、下、外、方、突、出、ス、テ、上、顎、骨、起、Proc maxillaris ト、之、上、顎、骨、ハ、モ、此、骨、一、部、蓋、封、ス、布、部、多、ハ、シ、上、方、向、テ、突、出、ス、而、シ、師、骨、ノ、筋、状、突、起、連、ス、テ、骨、節、骨、突、起、Proc ethmoidalis ト、之、内、突、起、ト、ハ、モ、此、骨、ノ、狭、ク、下、縁、遊、離、し、初、外、方、向、テ、且、膨、大、ス

顛 顛骨 os temporum

顛顛骨 顛蓋骨一部ト顛蓋側壁ノ一部トヲ形成スル骨ニシテ、骨、颞、骨、颞、骨、顛、頂、骨、間、位、骨、内、聽、器、ノ、最、要、部、分、ヲ、含、ム、今

骨、分、テ、誰、体、状、部、鱗、板、部、ニ、ト、之、體、体、状、部、左、ノ、部、分、ヲ、屬、ス、ノ、乳、楯、部、Marsupial 及、鼓、膜、部、Tympanic 及、岩、楯、部、the Tentorial 及、骨、ノ、中、面、ヲ、具、ス、骨、ノ、Pars acustica externa 及、一、孔、ノ、之、依、テ、各、部、分、ヲ、解、ス、テ、得、即、チ、耳、門、内、方、於、テ、骨、楯、部、位、ニ、而、テ、テ、ハ、乳、楯、部、ト、云、テ、岩、楯、部、Schympanic 位、ニ、ト、前、方、ニ、鼓、膜、部、位、ニ

岩楯部 Pars petrosa

岩楯部 長、短、骨、部、分、テ、顛、蓋、骨、一、部、分、ヲ、之、具、ノ、形、状、四、側、鏡、体、状、ニ、シ、テ、其、底、外、方、向、テ、上、乳、楯、部、附、着、ス、其、頂、内、前、方、向、テ、遊、離、シ、骨、体、接、ス、故、長、軸、外、方、向、傾、斜、ス、岩、楯、部、其、形、長、テ、四、邊、四、面、正、則、ス、而、シ、テ、分、テ、上、面、右、面、前、面、下、面、ト、ス

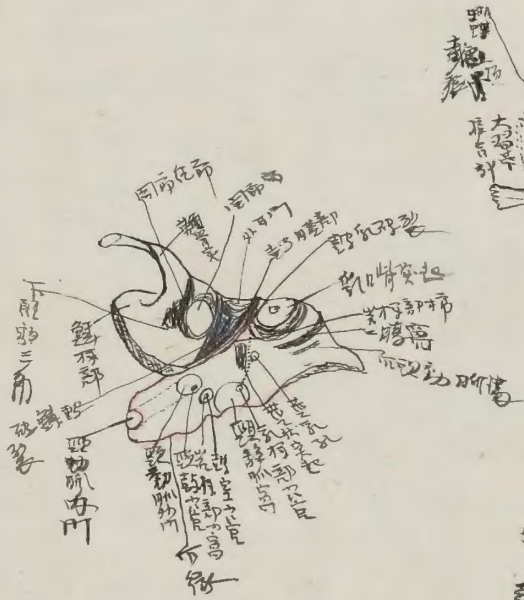
上、面、ハ、テ、傾、斜、ス、而、シ、中、顛、蓋、骨、一、部、分、ヲ、之、其、面、切、キ、テ、

ニ、ア、テ、岩、楯、後、障、Anterior petro-squamosa ニ、テ、大、人、モ、一、ア、テ、ハ、岩、楯、破、裂、Disjunctura petro-squamosa ニ、テ、骨、楯、部、ト、境、ス、而、シ、テ、上、後、止、テ、骨、中、央、(骨、外) ニ、テ、骨、形、隆、起、ス、

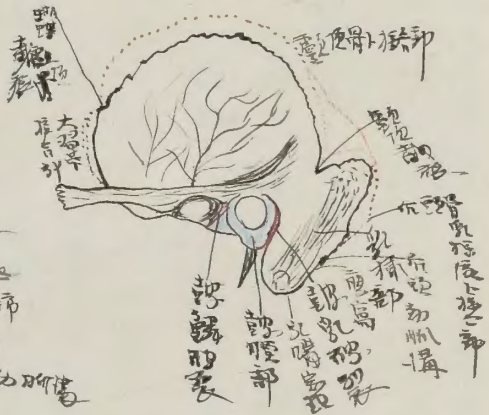
又之ハコリ形隆起 *Emmentia occulta* トシテ之内耳ノハ平
 規管ニ着キテ又之隆起ト岩鱗破裂ノ中間ノ溝ト部分
 鼓室ヲ蓋 *tegmen tympanica* トシテ内耳鼓室ノ蓋トシテ又
 虫胆ノ近キ部トシテ後高トシテ之ノ又神ニ壓痕 *Impressio*
tugemine 或ハカセリ一氏ノ神ニ部壓痕 *Impressio ganglio*
gracis トシテ其部ニ又神ニ部月狀部 *ganglion semieu-*
rate tugemine トシテ形隆起ノ前内方ニ於テ破裂状ノ内孔ニ
 之ヲ親面神ニ部裂孔 *Hiatus Canalis facialis* 或ハ此ノ裂孔
 ニ末端ノ部ニ之ハ減溝トシテ之ヲ大減溝 *sulcus petrosus*
superficialis major トシテ之ヲ裂孔トシテ一氏管
Hallarysche Canalis 或ハ此ノ大減溝部神ニ部溝トシテ又裂孔ノ下
 方ニ於テ一ハ破裂状ノ孔トシテ之ヲ岩鱗部ニ部管トシテ其管ヲ
 其頂ノ上ニハ減溝アリ之ヲ一ハ減溝部溝トシテ鼓室ノ開口ニ而
 之ハ減溝部神ニ部溝トシテ通ス
 市面ノ始ト部直トシテ(其ノ中ニ内耳ノ向テ)市頭ニ高ニ屬スレシク
 狀管 *Traea digmische* 或ハ橋溝ニ後ヲ乳桿部ニ其ノ精中

中部ニ於テ卵円形ノ孔ニテ内耳門 *Forus acusticus int*
 トシテ之内聽道 *Meatus acusticus int* 通ス而シテ其ノ具道
 ニ於テ顔面神ニ部ニ通ス孔ト前庭ノ蝸牛殼ニ通ス孔アリ
 又内聽道ノ外方ニ於テ且後ノ近ノ一ハ裂孔トシテ之ヲ蝸牛
 (卵) 裂孔 *Hiatus subarcuatus* トシテ初生更ニ一ハ高トシテ之
 ヲ卵下窩 *fovea subarcuata* トシテ硬膜腔トシテ初メ又内聽
 道ト橋溝ノ中間ノ部トシテ一ハ卵下窩トシテ前庭通ノ水管
 外孔 *apertura externa aqueductus Vestibuli* トシテ且内聽道ノ
 下方ニ於テ一ハ孔トシテ之ヲ蝸牛殼管外孔 *apertura*
externa aqueductus Cochleae トシテ形狀ニ漏斗狀トシテ
 市縁ニ移行ス(第2)
 下面ニ粗粒トシテ頭蓋骨ノ一部ト形成ス且中央部ニ孔トシテ
 之ヲ頭蓋骨外孔 *forus Caroticum externum* トシテ内
 部ニ於テ其部理トシテ内方ト外方ト連通スル管トシテ
 頸動脈管 *Caroticum* トシテ岩鱗部ノ骨質中ニ穿
 通ス又外方ノ血管ノ於テ鼓室ノ開口ニ於テ管トシテ之ヲ頸鼓

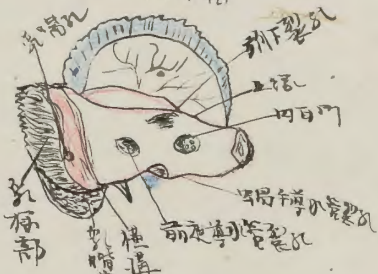
(前下顎頭丸)



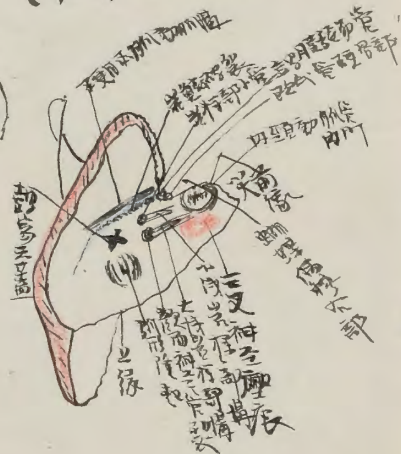
(前外顎頭丸)



(前内顎頭丸)
(前頂骨)



(前上顎頭丸)



耳管 (Canaliculus Caelica Tympanica) 又下前部に於ては、
 一長方形の管に於て (耳管) 此管は Proc. stylaris 一管
 具前部より一孔を Ductum として、
 Audum となる。前部神を、
 此孔部から、
 以て外部部を、
 gularis となる。
 耳管は、
 合して、
 耳管は、
 耳管は、
 aliculus mastoideus となる。又、
 一管より、
 部より、
 前部、
 縁の、
 上縁、

(元腹外面)



(内面)



ニ浅溝ヲロメス之トシテ上若標部溝

sinicus petraeus pupa

右端ハ凹凸不勻ニシテ右頭骨俾ト相對之而シテ平溝ヲス之シテ下

若標部平溝 *sinicus petraeus* inf トシテ之ハ頭骨俾ノ

側部ノ白名溝ト相合ニシテ下若標部溝 *sinicus petraeus* inf

ヲ支而シテ尖構ノ外端ニ近キ部ニ一截痕ヲ呈ス之ニテ頭骨俾截痕

トシテ右頭骨ノ白名截痕ト合ニテ頭骨俾孔ヲ示ス

前後ハ長短クシテ鮮紅部ト相合ニシテ厚ク截痕俾ノ偶而テ是ノ

蜘蛛骨偶而テ箱入ニ且他ノ前後ハ外端ニ二管ヲロメス之ニ成

上方ニシテ頭骨張動管 *Sinicus petraeus* pupa

下方ニシテ頭骨管 *Sinicus petraeus* pupa

其ノ動管ニ交ニ通ス

下縁ハ若標部溝 *Sinicus petraeus* pupa

乳鰓列長クテ並列状突起ノ前内方ニ達ス之ハ並列状突起ノ前方ニ

被ク之ノ部多ク突起状突起 *Sinicus petraeus* pupa

後ハ若標部ノ下遊離像多クテ若標部ノ至クニ達ス

鰓膜部

鰓膜部は、海骨板より外轉通しと前方より下方より後方より
向の上より下より隔四より凸出之前より隔四より且より部、鱗様
部、附着し、而して、部、二塊、初より尾より之より、鰓、鰓、鰓、鰓、鰓、鰓、
sorra tympanicus - squamacea - ...
Glyceris ... 乳様部、附着し、部、一、塊、初より尾より之より、鰓、
乳様部、Shisura tympanica - mastoideus ... 内方、若様部、
目より初より尾より之より、鰓、鰓、鰓、鰓、鰓、鰓、
カミク下、若様部、Cista tympanica ... 鰓、
乳様部、Pars mastoidea

乳様部は、海骨板より、下部、位、二、部、より、
外側、膨隆し、殆ど、咽乳、如き、突起、ラロ、之より、乳、嘴、突、起、
Pars mastoidea ... 且、突起、外側、粗、粒、より、隆、起、ナリ、内側、
滑、沢、より、海、溝、より、之より、乳、嘴、突、起、
或、二、腹、窩、Pars ... 之より、二、腹、頭、公、起、始、之、前、
ナリ、或、或、痕、内、側、より、之より、浅、溝、より、之より、乳、頭、動、脈、溝、

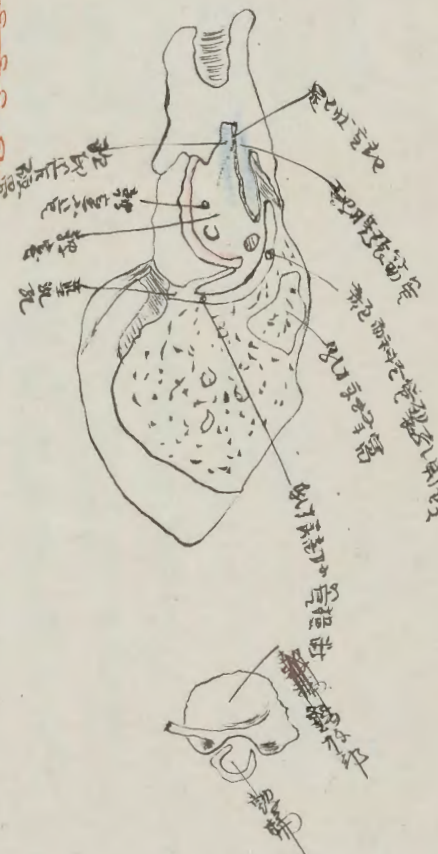
Antena occipitae occipitalis ... 而して、乳、様、部、鰓、乳、初より尾より、
鰓、部、より、界、ス

内側、隔四、滑、沢、より、横、室、之、溝、より、之より、状、窩、係、り、若、様、部、より、界、之、
且、横、溝、より、下、端、より、頭、骨、鰓、様、脈、溝、移行し、上、端、より、鰓、骨、
現、し、鰓、様、脈、溝、移行し、且、化、溝、中、より、通、例、一、乳、より、尾、より、之より、乳、
嘴、乳、内、乳、Foramen mastoideum ... 通、り、血、管、より、通、之、
縁、市、方、より、頭、骨、乳、様、縁、より、接、合、し、且、上、部、より、鰓、骨、
亦、下、隅、より、接、合、し、之より、部、より、一、或、痕、ラロ、之より、鰓、骨、
痕、より、又、亦、頭、骨、乳、様、縁、より、接、合、し、接、隆、より、尾、より、一、
乳、ラロ、之より、乳、嘴、乳、外、乳、より、之より、接、隆、血、管、存、之、而、之、
通、り、血、管、より、通、之、乳、嘴、突、起、中、より、鰓、窩、より、之より、乳、嘴、
窩、Cellulae mastoideae ... 之より、鰓、室、通、之、之より、大、
乳、より、分、之、

鱗様部 Pars squamacea

此部は、形状より、内方、より、鱗、片、之、類、似、之、而、之より、乳、部、より、特、細、之、且、
内、部、直、部、より、地、平、部、より、成、り、且、乳、直、部、より、頭、蓋、側、壁、より

乳孔ニ終ルシテ具孔經過ニ膝狀ニ弯曲ス



顚顚骨の発生

顚顚骨は胎生第3月ニ於テ化骨点始メ錘骨部最モ早ク
 次ニ若原部次ニ乳様部次ニ外聽道、顚顚骨亦ニ胎生第3月ニ
 生シ第6月ニ至リテ若乳ニ部ニ癒着ス夫ツ初生兒ニ於テハ骨
 即チ若乳(錘)顚顚骨ニ成リ生市ニ年間ニシテ諸部癒着ス其癒
 着間ハ乳孔ヲ貫キ其狀完結シ三カノ市ニ至テ化骨始メ
 十五乃至十七カ月即チ若原部癒着ニ至テ化骨ス

顚顚 *Annulus tympanicus*

顚顚初ニ環狀ニシテ若原部、錘骨ニ位ニシテ環ニ錘骨部ニ連
 リ漸ク擴張シテ管状ノ骨片ナリ外聽道ノ圍ニシテ顚顚部ニ
 成リ而シテ具孔ニ乳様部ニ癒着ス夫ツ附着ニシテ接隆ニ顚孔破
 裂ニ乳様部ニ癒着ス

顚顚骨 *os parietale*

顚顚骨は箱形ニシテ前頭骨ト後頭骨ト間ニ於テ頭蓋頂
 中部ト側頭骨中部トヲ形成ス夫骨ニ於テハ内外ニ面多シ四縁四隅ニ区別

外ニ凸隆ニシテ概ニ中部ニ内形ノ結節ヲ呈ス之ヲ顚顚頂結節

taber parietale トシテ具孔ニ結節、下降ニ於テハト平行ニシテ其形
 形ノ粗澁ニ線アリ之ヲ顚顚線 *linea tympanica* 或ハ羊環狀線
 トシテ而シテ其線ノ凸側ニ上方ニ向ク又此線ノ結節立部ニ環ル
 一アリ或ハ上方下部ニ環ルルアリ也此線ノ上部ニ羊環狀線
 下部ニシテ下方環狀線トシテ線ノ前部ニ前頭骨、顚顚骨
 ニ移行シ而シテ顚顚骨、錘骨部ニ環ル顚顚骨完結ノ後根

右頰骨ノ三角縁ト結合ス

前上隅 至前頭隅 *Angulus frontalis*

前頭骨ト接合ス

右隅 一各右頰隅 *Ang. occipitalis*

右頰骨ト接合ス

前下隅 一各蝴蝶隅 *Ang. arhenoidalis*

蝴蝶骨ト接合ス

右下隅 一各乳橋隅 *Ang. mastoideus*

乳橋骨ノ乳橋部ト接合ス

前頭骨 *os frontalis*

頭蓋ノ前部ニ位シ形状ニ異ニ類シ其骨ニ頭蓋腔 眼窩及ヒ鼻腔
ヲ構成ス其骨ヲ分テ前額部ニ膨隆シテ想ハラフ前額部 *paria*
frontalis 乳橋部 *pars sphenoidalis* 地平ニ位シ前頭骨ノ
一部及ヒ眼窩ノ上蓋ニ位ス部ヲ眼窩部 *Partes Orbitales* ト名付
掌部ノ前部ヲ蹄後形ノ齒痕ヲ有ス部ヲ鼻部 *Partes nasalis*

ト名アリ

前額部主部ノ形状見説ニ類シ而シテ右頰骨ノ右頰部ニ類シ之故ニ前

頭骨 *Sphenoida frontalis* トシテ其部ヲ分テ前上隅ニ而テ形ノ

縁トニ区別ス

前上隅 (前額部) シテ其部ト側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前額部 *superfici*

os temporalis ニシテ

前額面ニ膨隆シテ其部ト側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

部 *Superficia frontalis* 側方ニ部トニ区別ス前上隅部ト前額

トク之擗題頭後ノ首部より之ノ梅ニ由リ前部ハ前部
 助頰ニ面ニ多ク

ト眼窩後ノ上内ニ於テ半月状ノ隆線ニ呈ス之ヲ眉牙
Arcus superciliaris ヲ云フ其ノ左右眉ヲト前頭結節
 前ニ於テ三角形ノ滑液を部ヲ眉間 *Glabella* ト云フ

額部 *frontalis* 前部ニシテ隆線高ノ前部ヲ形成ス
 布面 (内面) (外面) 陥凹ニシテ指状隆起 眶隆起 眶眼筋動脈溝

等ニ呈ス而シテ中央部ニ於テ縱形ニ走ルニ似タリ之ニ前頭筋
Crusta frontalis ト云フ之ニ由リ眼面ハ左右ニ四半部ニ分ツ又左
 筋ハ初メ一條ノ隆線トシテ上行ス之ニ後ニ二脚ニ分リ其間ニ淺溝
 ナリ之ニシテ半月状隆起ニ終溝ニ至リ前頭筋ト云フ其溝ニ上
 經管ヲハカシ眼筋骨ノ同名溝ニ移行ス其地前頭筋
 ノ下部ニ二脚即チ半月状ニ分リ其部ハ眼筋骨ノ半月状ニ分リ
 ト云フ之ヲ孔ヲナシ之ヲ半月孔ト云フテ右ノ孔ニアラハシテ鼻腺ノ直ニ
縁 冠状縁 *margo coronarius* ト云フ之形ニテ縁蓋ヲ有ス而シテ
 上部ハ眼筋骨ノ前縁接合ニ下部ハ粗粒ニ三角形ニシテ

蝴蝶骨上面ニシテ縁ト接スルニ



眼窩部 *orbita orbitales* 形状三角ニシテ地平位ニ故ニ前額部
 トハ強ト下面角ニシテ其部眼窩底ノ前部ニシテ眼窩ノ上縁ヲ
 形成ス之ノ部ハ眼筋骨ニ由リ

前半部ニ分リ而シテ眼筋骨ニ由リ眼窩底ノ前部ニシテ眼窩ノ上縁ヲ
 其部ヲ分リテ上下ニ面、前内ニ面、外内ニ面、外外ニ面、内外ニ面、
 上面、後面、内面、外面ニシテ各隆起ニシテ指状隆起、眶隆起、

特殊状骨 以下

下部 眼窩の下方に陥凹滑沢ニテ眼窩ニ對シ之而於テ外前ニ

顆骨突起ニ近キ部ニ骨質ヲ有ス之ニテ滑脛骨 *Xoana lacrymal*

トシテ又内前ニテ淚腺骨ニ相對スニ一ニ高ク二ニ低ク *Alveolar*

骨 *Xoana trachlearia* 骨 *Spina trachlearis*

トシテ骨質トシテハ鈎状ニテ一凹ニテ滑車鈎 *Hamulus trachlearis*

トシテ

前後ニテ且眼窩縁ニテ前頭部自之

右縁ニテ眼窩縁ニテ鑿窪ナリ而シテ眼窩骨ニ接ス

トシテ骨質トシテ

外縁ニテ顴骨縁ニテ形状ニ角ナリ鑿窪有之而シテ前部ニ顴骨

ノ眼窩前頭部ニ接ス

内縁ニテ顴骨縁 *Mazga* *Stenoidalis* ニテ前頭部ニ接ス

トシテ外ニ接シテハニ接シテ骨質トシテ内ニ眼窩ノ口ニテ前部

ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

前後部ニテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ
骨質トシテ眼窩骨質トシテ

ニテ前部ニ骨質トシテ前部ニ接ス *Stenoidalis* *ant* *et post* *am*

自前部 *Os nasalis* 骨質トシテ鼻骨ニテ鼻骨ノ前部ニテ鼻骨ノ前部ニテ

骨質トシテ前部ニ接ス

起ルニテ下部ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

鼻骨 *Os nasalis*

鼻骨ニ骨片ニ長ク形ノ骨ニテ且眼窩前頭部起リ前部ニ接ス

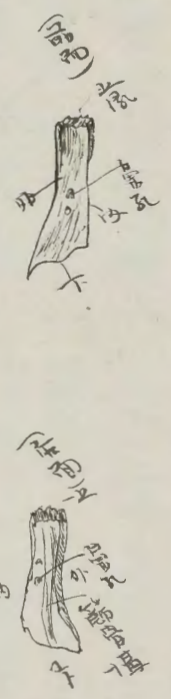
鼻骨ニ骨片ニ長ク形ノ骨ニテ且眼窩前頭部起リ前部ニ接ス

前部ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

骨質トシテ前部ニ接ス

市初、鼻骨、向と柄中央、筋ヲ綴ぎ、浅溝アリ、之ヲ筋骨溝 *canaliculus*
ethmoidalis と云フ、筋骨神ヲ通ズ、(其溝中ニ二筋面、理ハ鼻骨取用ス)



上縁 前縁 *margo frontalis* 下縁 比スルハ狭クシテ、骨ニ脈生シ
 有シ前頭骨ノ鼻骨取用ト接合ス

下縁 前縁 *margo anterior* 比スルハ廣クシテ、鋭利ナリ、骨
 木狀溝ノ上界ヲ示ス、而シテ三角形、鼻骨軟骨ニ附着ス

内縁 對側ニト相接合ス、且、接合部ニ上部、鼻棘下部、筋
 直柄ノ前上部、接合ス

外縁 上顆縁ト云々、最マ長クシテ、顆骨ノ前部ニ取用ト連ス
 淚骨 *os lacrymale*

淚骨、柄方形、骨格ニシテ、且、形狀ハ爪甲ニ類ス、故ニ爪狀骨 *unguis*
 トモ云フ、其骨ハ、筋骨紙板ニ上顆骨ノ前部ニ取用ト、眼窩面、間ニ位ス

眼窩内壁ノ前部ヲ綴ス、之ヲ鼻骨ヲ示ス、内、外ニ相、前、左、下、向、縁ニ区
 別ス

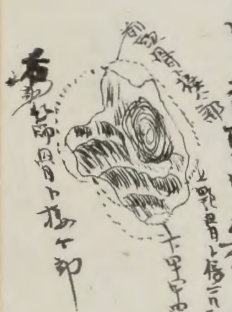
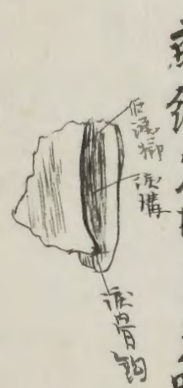
内面、粗粒ニシテ、多ク、蜂窩ヲ生シ、筋骨贅高ノ前部ヲ被シ、覆フ

外面、眼窩面ニシテ、而、淚腺 *lacrimalis* 由ラ、前部ニ部ニ分ツ
 且、淚腺ノ下端ニ前テ、彎曲ニシテ、筋狀トシテ、之ヲ淚骨筋 *musculus*
lacrymalis と云フ、筋、前淚腺ヲ移行ス、且

前部ニ縱溝ニシテ、之ヲ淚溝 *sulcus lacrymalis* 云フ、且、上
 顆骨ノ前部ニ取用ト、眼ノ前淚腺、右方、同名溝ト相合シ、淚囊

窩 *trava lacrymalis* ヲ形成ス、且、鼻骨ノ鼻骨、淚管、由ラ、下鼻骨
 道ニ交通ス

右部、右淚腺ヲ右ニ滑注シ、テ、前部ニ、廣ク、眼窩内壁ノ
 部ヲ形成ス



前縁ハ、骨ノ上ニ、顆骨ノ前部ニ取用ト、右縁ニ連ス

右部ニ取用ト、右部ニ取用ト

多又之、顔面、前部、眼、口、鼻、耳、の、各、部、の、骨、を、
 示す、*Insulara nasalis* 鼻、*Insulara pyriforana*
 梨、
 口、

顔面 *Superficies temporum* 下部、*Superficies infra-*

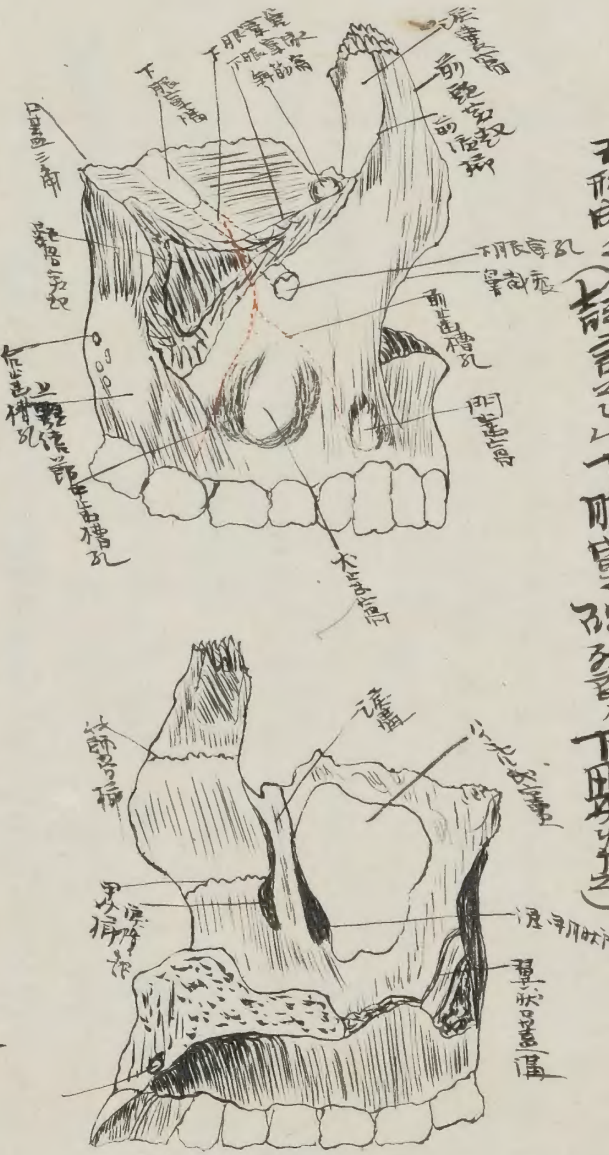
temporum 下部、*Insulara nasalis* 梨、*Insulara pyriforana* 梨、
 相、*Tuber maxillaris* 梨、*Foramina alveolaria* 梨、
 部、*Foramina alveolaria* 梨、*Foramina alveolaria* 梨、
Foramina alveolaria 梨、*Foramina alveolaria* 梨、
 及、*Foramina alveolaria* 梨、*Foramina alveolaria* 梨、
 三角、*Foramina alveolaria* 梨、*Foramina alveolaria* 梨、
 状、*Foramina alveolaria* 梨、*Foramina alveolaria* 梨、
 口、*Foramina alveolaria* 梨、*Foramina alveolaria* 梨、

眼窩 *Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、
 状、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、

内、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、
 眼、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、

前、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、
 提、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、

而、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、
 形、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、



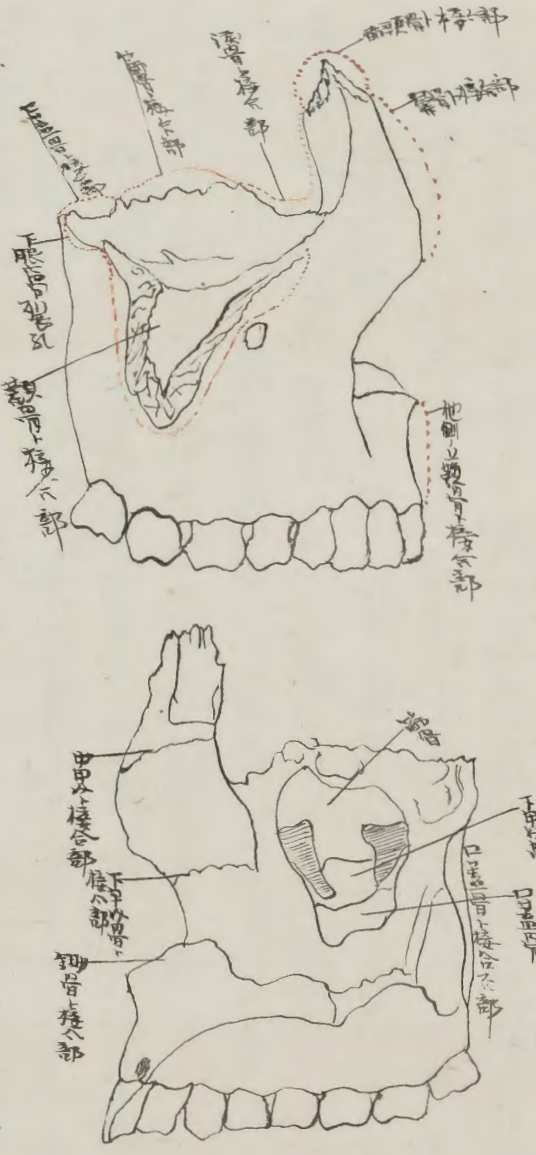
其、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、
 溝、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、
 管、*Superficies Orbitalis* 三角、*Superficies Orbitalis* 三角、

下腹管の用口より鼻管の前部より管の有る之の前
 方の中道槽管 *Canalis alioforos ant of median*
 前より前の方より一の高口より一科の筋 *Keera Obliqua*
 下斜筋の起る部より

鼻腔内面

其洞の少シク隔出シテ鼻腔に相對シテ且ノ鼻腔の側壁より之の面
 下方より直下ニ口蓋突起ニ物行スル方ニ於テ不正方形ノ大孔シテ
 之ヲハトモル孔 *Apertura Highmori* ナリ且ノ孔ノ下甲骨
 上顎突起は前骨の物状突起ニ口蓋骨ニ由リ一部ヲ狭クセラレ且
 孔ノ前ニ縦筋ノ深溝アリ之ヲ深溝 *sulcus lacrymalis* 且溝
 下甲骨骨ノ深窓起りノ深窓ノ下縁ニ相會ハシ管ヲ構成ス之ヲ
 淚管ニ管 *Canalis nasolacrimalis* 且池溝ノ前
 方ニ於テ横徑ノ隆起ヲロムコトヲ甲骨 *Orbita teclinialis*
 フ目柄ノ骨ト前頭突起更々ナリ且ノ隆起ノ深溝ノ向テ突起
 之ニテテ淚管起トスノ隆起ニ對シテ深溝ハ之ニ突起アリ之ヲ
 淚管ノ隆起トス又之を亦テ對テ大溝アリ之ヲ泪管起トス

溝 *Sulcus pterygo-palatina*



前頭突起 *Proc frontalis* 且 鼻管 *Proc nasalis*

老突起ニ傳、且上部より下方ニ向テ突起ニ突起ニ内外二面前後ニ縁
 区別ス

内面ノ粗粒ニシテ鼻腔ニ向テ且上部方ニ於テ横隆線ヲ呈ス之ヲ鼻骨柄
Crista ethmoidalis ナク、且甲骨柄ノ上部ニ位シテ年

行之之ニ此節骨中申々、接スル所ナリ

外側ニ額面ニ移行之支面ニ於テハ、後線高ニ對シテ彎曲ニ幽微構アリ
之舞馴、直線ヲ之ニテ不正縱線トシテ、ウエツク、微構トシテ、時中溝ニシテ

前後ニ粗槌、銳利ニテ、鼻骨ト接接ス

右縁ニ廣クニニ齒、銳利ナル鼻骨ト接接ス

右方縁ヲ後鼻骨 *Morga lacrymalis* トシテ、淚管ト接接ス

側方縁ヲ前淚腺 *Crista alba lacrymalis* トシテ、下眼窩

縁ニ移行之ニ、前淚腺ト鼻骨縁ノ間ニ淚溝トシテ、鼻骨

ノ向各溝ト相合シテ、淚管窩ト構成ス

上縁(先端)ニ、強クニ銳止齒狀ニシテ、前頭骨白鼻、或ハ痕ト接合ス

顴骨突起 *Proe zygomatico*

呈突起ニ、角形ニシテ、外方ニ外上方ニ突出ス、突起ノ下隅ニ滑沢ニシテ

上颧骨縁、銳面ニ突起ス、骨呈、先起ニ由テ、額面、脛脛面ニ區別ス、右隅

ニ、上ノ方ニ突出ス、規則ニシテ、下眼窩、硬骨、外縁ヲ界ス、内隅ニ

骨、シテ、鼻骨ト前内方ニ突起ス、之ニシテ、一、段突起 *Proe Nasale Ant*
ト突起、下眼窩、溝ト跨ル

齒槽突起 *Proe alveolaris*

呈突起、俾下部ヲ下方ニ向テ、突出ス、弓形ニ突起ナリ、而シテ、内外ニ極ナリ

成ル、見、之形、突側、外方ニ向テ、又突起、遊離縁(止齒槽縁)ハ、八齒、齒

槽 *alveolaris* 有之、而シテ、中ハ、八齒、齒身ヲ入ル、見、齒槽ニ平行スル

内外兩極、之ニ列ス、七、齒、齒、骨、極、成ル、又、止齒槽、突起、外面

止齒槽、邊、之、各、齒槽、縁、は、起、ス、之、止齒槽、縁、*Inga alveola*

ト、之、之、外部、骨、解、知、ス、ハ、之、後、メ、齒、根、ノ、形、状、ヲ、推、測、ス、ル、ハ、シ、テ、

齒槽、縁、中、間、齒、ノ、入、部、ハ、止齒槽、部、ト、シ、噴、乳、筋、物、ノ、特、別、骨、

即チ、*Incisivum* 或ハ、*Incisivum* 或ハ、*Incisivum* 或ハ、*Incisivum* 或ハ、*Incisivum*

口蓋骨 *Proe palatinum*

呈突起、俾、内、而、下、部、ニ、向、テ、平、突、起、ス、ハ、不、等、方、形、ノ

突、起、ナリ

上面ニ、鼻、腔、ニ、對、シ、折、反、シ、テ、隔、凹、滑、沢、ナリ

下面ニ、粗、粒、ニ、シ、テ、口、腔、ニ、向、テ

口、蓋、骨 *Morga palatinum* トシテ、鏡、面、狀、ニ、シ、テ、口、蓋、骨

ノ地手部ト結合ス

外縁ハ歯槽窩起ニ由リテ

内縁ヲ上顎縁 *maxilla maxillaris* トシテ 粗造ニシテ 背側ニシテ

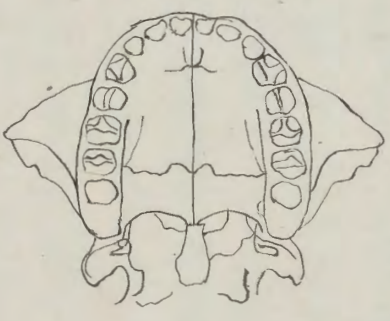
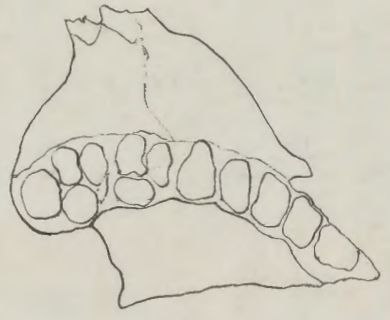
ニ結合シテ 格合部ニ 縫隙理ニシテ 口唇縁 *cutura*

palatum トシテ 上顎縁ニシテ 空生ニシテ 鼻部ニシテ 前部

高シテ 鼻部ニシテ 鼻骨 *semicrurata* *maxilla* トシテ 前部

高シテ 鼻部ニシテ 鼻骨 *semicrurata* *incisivium* トシテ 鼻

骨 *maxilla* トシテ 相合ニシテ 鼻骨 *Crura maxilla* ニシテ 形成ス



ノ歯槽窩ニシテ 背側ニシテ 相合ニシテ 鼻骨 *Crura incisivium*

ノ形成ス 而シテ 前部ニシテ 鼻骨 *Crura incisivium*

maxilla *ant* トシテ 下鼻骨 *Spina maxilla inferior*

トシテ 鼻骨 *maxilla* 右部ニシテ 鼻骨ト結合ニシテ 前部

ノ前部ニシテ 前鼻棘ニシテ 鼻中隔軟骨ト結合ニシテ 鼻骨ト結合

ニシテ 内縁ニシテ 鼻部ニシテ 孔ニシテ 鼻骨ト結合ニシテ 前部

ノ前部ニシテ 鼻部ニシテ 鼻骨ト結合ニシテ 鼻骨ト結合

Canalis incisivium トシテ 鼻骨ト結合ニシテ 鼻骨ト結合

Foramen incisivium トシテ 鼻骨ト結合ニシテ 鼻骨ト結合

Foramen ant トシテ

口蓋骨 *os palatinum*

上顎骨ノ右方ニシテ 顎骨ト結合ス 顎骨ト結合ス 顎骨ト結合ス

右部ニシテ 顎骨ト結合ス 顎骨ト結合ス 顎骨ト結合ス

二枚ニシテ 骨板トシテ 鼻骨ト結合ス 鼻骨ト結合ス

地平部 *pars horizontalis* (口蓋部) *pars palatinum*

各部と顎骨、口蓋突起、舌骨之位と之形状、楯四角形より楯七角形ノ
 右部之位

上面は陥凹滑沢にして骨鼻腔下底ノ一部ヲナシ

下面は粗粒にして口腔を二分ノ一部ヲナシ
 前縁は鋸齒状にして顎骨口蓋突起ノ右縁ト聯合シ隆起ヲ成ス之ヲ楯
 口蓋隆起ト云フ

右縁は鋸刺にして遊動し而シ硬口蓋ノ右縁ヲ之布シテ舌部ニ軟口蓋鼻附
 二部

母縁は鋸齒にして對側ノモト聯合し而シテ聯合部ニ上方ノ向テ之ヲ定ス

之ヲ口蓋平楯 *semicriata palatina* ト云フ之ヲ對側ノモト合シテ

Ossa 楯 *Criata palatina* ト云フ之ノ口蓋楯ノ鼻楯ノ連續ニシテ

鼻楯ノ右部ヲ形成ス且右端は短鈍ノ尖端ヲナス之ヲ鼻楯

Spina nasalis postica ト云フ之ニモ手楯相合シテ全轉シテ之ヲ

外縁は鋸直接ノ下縁に附着し而シテ鼻ノ底着スル部ヲ右外角部

と云フ右外方ノ向テ突起スルニ側錐体狀、突起ヲ呈ス之ヲ錐体突起
Pec pyrarnidialis ト云フ其突起は蝴蝶骨如異狀或腹中ニ捲入ス外
 側は鋸齒狀にして顎骨鼻腔面、右下部ニ連リ而シテ内鼻狀口蓋骨
 下部ヲ被シ之ヲ管ニ穿セシメ之ヲ管ニ各ニシテ内鼻狀口蓋管ト云
 フ又其管中ニ流ニ來ル別管ヲ生ズ而シテ副管ニ錐体突起ノ下端開口ニ
 具ニ副管ノ右ノ口蓋管 *Canalis palatina nasolterior* ト云フ
 錐体突起ノ下側ニ於テ、兩側ノ孔ヲ口蓋具、孔ヲ結構シテ右ノ口蓋具
Foramina palatina postica 具、孔ヲ前方ニテ之ノ孔蓋具口蓋
 管ノ先端ニシテ右ノ孔蓋具、副管ノ右ノ口蓋管ノ先端ニシテ



又口蓋具ヲシテ前ニテ之ノ孔ノ大ニ是血孔トモ云フ、其ノ孔ヲ口蓋血
 孔ト云フ

顴骨 os zygomaticum

顴骨、眼窩下方より上顎骨、顴骨、前頭骨との関節骨である、
 間に合してなる骨、諸骨と聯絡して自己の位置を固く保つて
 Ossa (接着意義) たる諸骨の接合骨 os jugale とも云ふ或は頰部を構
 成する故に頰骨 os malare とも云ふ骨は頰骨の基部、眼窩の
 顴骨窩の一部の形を有する形状の骨である、
 顴骨 (區別)

体

Corpus: 不正方形の後面の後縁は凹面 (眼窩面、頰面、顴骨面)
 下面 (眼窩、顴骨) となる

眼眶面: superficies orbitalis

陥凹部は、半月状の凹面を有する眼窩、其基部は外壁の前
 部を形成するものである、
 foramen zygomatico-orbitale となる、
 Canaliculus zygomaticum: 此孔より眼窩の頰面管となる、
 頰面管の開口は、
 頰面管の開口は、
 頰面管の開口は、

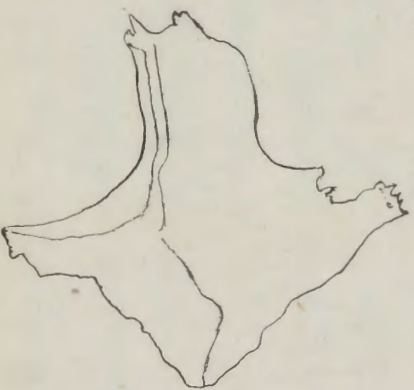
Canaliculus zygomatico-temporalis

頰面 (上面) superficies facialis

此は凸隆の上面、
 foramen zygomatico-faciale となる

顴骨面 (下面) superficies temporalis

此は曲陥凹の顴骨窩の前部を構成する、
 Canaliculus zygomatico-temporalis: 此孔より眼窩の頰骨管の開口となる



上縁(眼窩縁) *margo Orbitalis*

其内ニ弓形ノ上下眼窩縁ノ外縁ヲ指ス

下縁(頬窩縁) *margo molaris of maxillaris*

其内ニ粗粒ノ上ニ骨ノ一縁部ハ *eminencia tubercularis*

ト云フ(下顎骨ニ在リ)

内縁(頭窩縁) *margo sphenoparietalis temporalis*

其縁ノ上部凸ニシテ下部凹ナリ故ニ *Sphenoid* 形ヲナス而シテ凸部

形ノ最モ高ク尖ルニシテ *pyramidalis* 縁部(突起) *Proc. ma-*

xyrnalis 或ハ棘ニ尖ルニシテ *pyramidalis* 縁部 *Pyram. Sphenoid*

maxillaris

蝴蝶前頭突起 *Proc. sphenoparietalis*

此方ノ位ニ突起ニシテ銀歯状ナリ前頭骨ノ突起多ク蝴蝶骨大

骨ト接合ス

上顎突起 *Proc. maxillaris*

此方ノ前下部ニ凸ニシテ三角ナリシ銀歯状ナリ上顎骨ノ突起多ク下

接合ス

顳顎突起 *Proc. temporalis*

此方ノ方ニ尖出スルニシテ顳顎骨ノ突起多ク接合ス而シテ

是ノ骨ノ突起ヲ *arcus zygomaticus* 或ハ *arcus zygomaticus*

zygomaticus ト稱ス

其關節ニ於テ往々植隆線ニ由リ上下ニ部分ニ分ル然レモ之

ニ重関節 *Zygomatic duplex* ニシテ又斯クニシテ下部

ニシテ副顎骨 *as zygomaticum cuneiform* ト云フ如斯

クニシテ殊ニ多種ニ分ル

下顎骨 *as mandibula*

下顎骨ニ急而骨中強クシテ他ノ頭骨トニ同ノ圍部由リ連

リ且ニ全形ハ殆ト馬蹄形ヲシテ顔面ノ下部ニ接シテ顔面ノ

下部側面ノ骨ヲ形成ス骨ノ弯曲ニハ板部ト板部ノ骨ヲシテ各尖

出ス此部トニ部ヲ一或ハ彎曲ニ板部ト骨トシテ骨ノ上ニ尖出

ス此部ト板ト云

骨 *Corpus mandibula*

俾の彎曲して水平位に而して且、上縁に止齒牙ヲ支フ且突側の前方に向
又支俾の扁平ヲ帶フ故に前角ニ而して下二縁ニ區別ス

前角 一名外面ト多習記スル一側ヲ他側ニ突隆ニ而して中線部ニ於て柄之
角形ノ隆起ヲ呈スニシテ關節部(隆起) *Acrotuberculum montalis*

外關節 *Spina montalis externa* 又其隆起ノ側ニシテ
下縁に近キ部 ^(中側) 各縁部ヲ呈スニシテ關節部(柄部) *Tuberculum*

montalis トシテ且他側隆起兩側ノ部ニ高ク呈スニシテ關節部 *fovea*
montalis トシテ又其外面ノ上部ニ於テ齒槽隆起 *Juga alveolaris*

トシテ且隆起下部ニシテ第一或チ第二ノ臼齒ノ齒槽ニ相對シテ部ニ於テ
Dentura 關節 *Canalis montalis* 或チ前顎骨 *Canalis man-*

diulane トシテ又其關節下部ニ下顎骨ノ枝ノ前縁ニ向テ(毎キ
ramus) 下二隆起 *Dentura* 外斜線 *Lamina obliqua externa*

トシテ
右面 外面ト多習記スル一側ヲ他側ニ向テ隆起ノ柄中央部ニ至ル
ニ至リ突側ニ向テ多クニ齒ニ對シテ列シテシテ内關節 *Spina man-*

talis *int* トシテ或チ四齒ニ對シテ一ツリ或チ二ツリトシテ齒ニ對シテ下部
ニ齒ニ對シテ又其關節兩側ニ於テ下縁に近キ部ニ高ク呈スニシテ

二腹高 *Xoana digastrica* トシテ二腹頸部ニ附着スル部ニ又内關節
兩側ノ上部ニ横波ノ高ク呈スニシテ下顎骨トシテ下顎骨ニ對シテ

部ニ且内二腹高ノ上部ニ右ト方ニ向テ走ル隆起ヲ呈スニシテ
内斜線 *Linea obliqua int* トシテ且内斜線ノ右下部ニ於テ

下顎骨ノ始メテ前下方ニ向テ走ル溝アリニシテ顎骨溝 *incus*
mylohyoidens トシテ且溝ノ右下方ニ於テ下顎骨ノ移行スル

部ニ於テ粗粒部ヲ呈スニシテ關節部 *tuberculum ple-*
goyidea トシテ内關節狀ガ助ノ附キ部ナリ

上縁ニ十五齒ノ齒槽ヲ有シ而シテ同數ノ止齒牙ヲ支持ス且齒槽
應ニ部ニ隆起スニシテ齒槽隆起トシテ

下縁ニ齒槽トシテ柄ナリ之ノ部ニ下顎骨ノ基底 *Basis mandibularis*
ナリトシテ其縁兩側ニC字形ヲ帶フ前部部ノ前部部

移行部 ^(トシテ) ^(トシテ)

枝 ^(トシテ) ^(トシテ) *Ramus Interbasilar of ascendens*
mandibularis

上頸部之關節較多(且頸下部之狹窄之點 Column 上之其他
 頸之前側之此一淺窩(窩)之此一頸椎骨 *Processus Condylaroides*
 或曰翼狀窩(窩)外、習骨狀節、附屬部(部)又鳥喙突(突)顆
 然其部(部)之半月狀(狀)齒痕(痕)呈(呈)之此一頸椎骨 *Incisura*
mandibularis 或(或)之半月狀(狀)齒痕(痕)ト多

顙面骨、第壹骨

聽小骨或耳小骨

椎骨

跗骨

蹠骨(馬蹠骨)

其骨之聽骨、屬之改(改)之五管(管)器(器)管(管)、第(第)於(於)端(端)ト

舌骨 *os hyoides (Sungenslein)*

舌骨之頸ト用狀軟骨(軟骨)間(間)之(之)而(而)之他、頸蓋骨(骨)ト、長軟
 帶(帶)由(由)連(連)之(之)舌骨軟帶 *Ligamenta stylohyoidium*
 ト多其(其)必(必)多(多)其(其)連(連)之(之)軟帶(帶)之(之)化(化)骨(骨)ト(ト)リ(リ) (軟帶(帶)之(之)或(或)ハ(ハ)中(中)之(之)
 舌骨ト多 (軟帶(帶)之(之)或(或)ハ(ハ)中(中)之(之)舌骨ト多) ト、舌骨(骨)之(之)結(結)核(核)形(形)ヲ(ヲ)今(今)之(之)ト(ト)分(分)リ(リ)

俤ト之角ト之角トス

俤 *Corymbus* 之(之)骨(骨)之(之)呈(呈)礎(礎)ト(ト)長(長)方(方)形(形)之(之)骨(骨)板(板)ト(ト)成(成)之(之)且(且)骨(骨)之(之)下(下)之(之)緣(緣)

前(前)之(之)兩(兩)方(方)之(之)端(端)ト(ト)区(区)別(別)トス

前(前)面(面)之(之)前(前)上(上)角(角)之(之)向(向)フ(フ)テ(テ)高(高)隆(隆)ス(ス)通(通)常(常)軟(軟)性(性)隆(隆)保(保)シ(シ)且(且)之(之)隆(隆)線(線)由(由)ノ

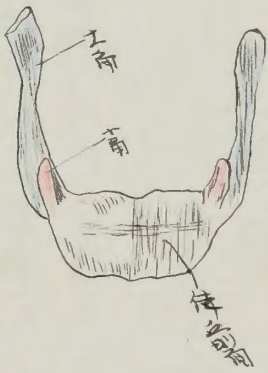
回(回)カ(カ)前(前)ト(ト)シ(シ)テ(テ)面(面)ト(ト)シ(シ)テ(テ)

右(右)面(面)之(之)下(下)方(方)之(之)向(向)隔(隔)凹(凹)滑(滑)泥(泥)シ(シ)故(故)ニ(ニ)每(每)一(一)枚(枚)必(必)有(有)ス

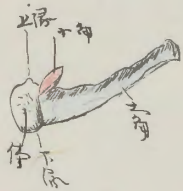
上(上)緣(緣)之(之)銳(銳)利(利)ト(ト)シ(シ)

下(下)緣(緣)之(之)銳(銳)利(利)ト(ト)シ(シ)

側(側)緣(緣)之(之)大(大)小(小)兩(兩)角(角)之(之)連(連)ル



(側(側)面(面))



大角 *Cornua majora*

大角(大角)之(之)角(角)ヲ(ヲ)大(大)ト(ト)シ(シ)長(長)ク(ク)四(四)柱(柱)狀(狀)ト(ト)シ(シ)俤(俤)之(之)側(側)緣(緣)ヲ(ヲ)右(右)方(方)之(之)向(向)テ(テ)平(平)行(行)ト(ト)シ(シ)

出之目、多端、内ク結帯状ニ終ル

小角 *Osma minor*

一角ニ角ヨリ起カシテシヤリ形状、内旋曲シヨクニ而シテ大角カ傳、連テ部ヨリ
上亦方、内シクカクニ長ク軟骨ニテ止ルコトモアリ

全頭蓋

全頭蓋ニ多ク頭蓋骨ヨリ成ル併シ頭蓋一々、就テ既ニ論セリ且、各頭
蓋骨ヲ聯接シテ全頭蓋ヲ形成シテ頭蓋ノ外面ヨリ見ルハ、接隆
部、亦テ種々、縫合ヲ呈ス而シテ全頭蓋ヲ論スルニ、縫隆、内外面ヨリ形状
ヲ論ズルナリ

全頭蓋ノ縫隆

縫隆ノ經過ハ生シ頭蓋骨ニ於テハ二條平行ス横縫隆ヲ曰マス

(一) 冠狀縫隆 *Sutura coronalis*

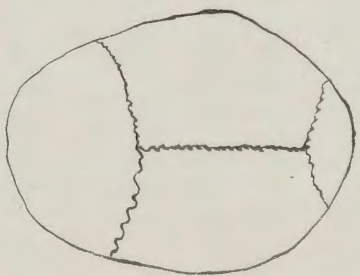
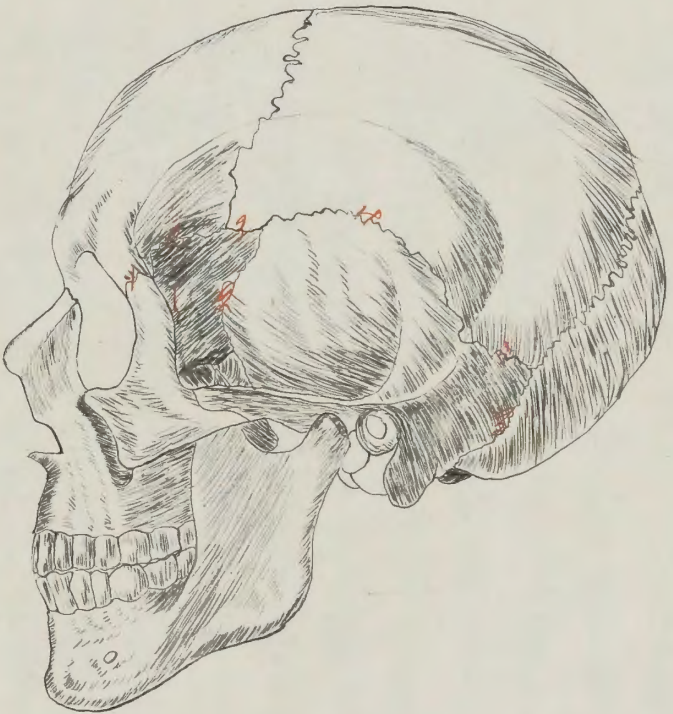
前頭骨ノ冠狀縁、顛頂骨ノ前縁、接隆ニ呈シテ故ニ前頭顛頂接隆

Sutura fronto-parietalis

(二) 三角縫隆 *Sutura lambdoides*

右頭骨ノ三角縁ト顛頂骨ノ右縁、接合間ニ現ル故ニ

右頭顛頂縫隆 *Sutura occipita-parietalis*トモ云フ



其他冠狀縫隆、中央部ヨリ三角縫隆、尖端、部ニ至ルハ、矢狀縫隆ニ合テ呈ス
之ヲ

頭蓋骨の前部
(類面)

顔面に於て額部下部に眼窩を呈し眼窩の後へ前頭骨、額骨と顎骨より成り其内眼窩部の間、斜に位し鼻腔ノ上蓋ヲシ其構成部ニ鼻骨、上顎骨、前頭骨、鼻部より之下部ニ梨状孔(鼻腔所孔)ヲ呈し其孔ノ直下部ニ上顎鼻棘ヲ呈し又孔ノ下部ニ門歯窩アリ眼窩下部ニ下眼窩孔、上蓋窩、シロエ目ノ側ニアテ、頰部が突出し且頰骨ノ下蓋窩骨ノ上蓋窩、顎骨多あり其他前下ろニ下顎骨及び舌骨ヲ以テ全

眼窩

眼窩、不正四側錐体形ニシテ顔面ノ上部位之内ニ視器ヲ含み今其ノ形状、随テ其位置、又端ニ區別ス
其上蓋ニ前ろニ位る眼窩口より之固固ニ前頭骨と顎骨、顎骨より形成し其ノ上縁ニ於テ、上眼窩蓋痕ヲ示シシテ
其端ニ少シク内方ニ向テ眼窩ノ軸ヲ延長スル所ニ於テ又又スベシ又其端ニ少シク内方ニ於テ一孔アリ之ヲ視神經孔トシテ

眼窩、四側錐体形ナリ故ニ四壁ニ區別ス即チ上、下、内外、壁トス即チテ内壁ニ著シキ後鼻棘ヲ下壁ニ特行シ眼窩ノ壁ヲ構成スル骨ニ其數七ニ計ナリ即チ前頭骨、蜘蛛骨、上顎骨、額骨、篩骨、上蓋骨、淚骨、

七骨ナリ

下壁、上頰骨、眼窩面、顴骨、眼窩面及び口蓋骨、眼窩突起より構成
セラル

上壁、前頭骨、眼窩面及び蝴蝶骨、口蓋骨、下面より構成

中壁、上頰骨、前頭突起、一部、淚骨及び篩骨、紙板より構成

（一、）壁、一、骨、ク、鼻、腔、ト、眼、窩、中、隔、ヲ、形、成、ス

外壁、蝴蝶骨、大翼、眼窩面及び顴骨、蝴蝶、前頭突起、一部より構成
且前頭突起、眼窩突起も致すカ形成ス

次、上、部、ト、眼、窩、其、四、壁、全、ク、骨、ヲ、閉、鎖、セ、ラ、シ、テ、即、チ、大、孔、ニ、由、リ、近、傍、
ニ、交、通、ス、其、二、大、孔、ヲ、眼、窩、破、裂、ト、名、ツ、ク、其、中、
上外隔、部、ト、理、レ、ル、

テ、上、眼、窩、破、裂、ト、多、形、ヲ、長、梨、子、状、ナ、リ、之、破、裂、ハ、蝶、骨、大、小、兩、翼、ヲ、
間、ニ、成、立、ツ、リ、テ、而、シ、テ、中、頭、蓋、窩、ト、交、通、ス、
下外隔、ト、理、レ、ル、ヲ、下、
眼、窩、破、裂、ト、名、ツ、ク、上、頰、骨、ト、蝶、骨、大、翼、（前、後、下、部）ノ、間、ニ、理、レ、ル、

而、シ、テ、下、頰、顴、窩、及、ヒ、口、蓋、窩、ト、交、通、ス、其、他、
頂、部、於、テ、ハ、
視、神、之、孔、ニ、依、テ、中、頭、蓋、窩、ニ、交、通、ス、之、孔、ハ、蝶、骨、大、翼、ニ、根、ノ、
間、ニ、理、レ、ル、又、
内、壁、ノ、前、下、部、ト、理、レ、ル、淚、窩、或、ヒ、淚、窩、窩、ト、鼻、腔、
管、ニ、由、テ、鼻、腔、ト、交、通、ス、又、
下、壁、ト、理、レ、ル、下、眼、窩、溝、及、ヒ、管、

内、上、隔、ト、理、レ、ル、縫、隙、ノ、部、ト、右、前、
外、壁、ト、理、レ、ル、顴、骨、眼、窩、
上、壁、ニ、ア、ツ、テ、前、頭、骨、顴、
骨、突、起、ノ、内、側、ノ、部、多、ク、淚、窩、窩、高、ヲ、口、蓋、窩、ニ、對、シ、テ、具、内、方、即、チ、前、頭、
骨、鼻、突、起、ノ、部、ト、隔、車、窩、ヲ、口、蓋、窩、ト、而、シ、テ、
下、壁、ト、理、レ、ル、鼻、腔、窩、高、ヲ、口、蓋、窩、

上部、頭部
下部、呼吸
部、呼吸

顔面、於、テ、下、眼、窩、孔、ニ、開、ロ、ス、
篩、骨、孔、現、レ、ル、之、ハ、前、頭、蓋、窩、ニ、交、通、ス、
孔、ハ、顴、骨、類、而、シ、テ、顴、骨、眼、窩、管、ト、ニ、此、管、ニ、由、テ、顴、骨、面、ノ、顔、面、ニ、開、
ロ、ス、或、ヒ、特、別、ニ、二、管、ヲ、以、テ、開、ロ、ス、レ、リ、
上、壁、ニ、ア、ツ、テ、前、頭、骨、顴、
骨、突、起、ノ、内、側、ノ、部、多、ク、淚、窩、窩、高、ヲ、口、蓋、窩、ニ、對、シ、テ、具、内、方、即、チ、前、頭、
骨、鼻、突、起、ノ、部、ト、隔、車、窩、ヲ、口、蓋、窩、ト、而、シ、テ、
下、壁、ト、理、レ、ル、鼻、腔、窩、高、ヲ、口、蓋、窩、

鼻、腔、ノ、顔、面、ノ、中、部、ト、位、シ、内、ニ、嗅、器、ヲ、含、ム、上、部、ハ、脳、頭、蓋、骨、ニ、連、シ、
下、部、ハ、口、腔、ノ、上、蓋、ニ、連、ス、尚、位、置、ニ、於、テ、細、言、ス、レ、バ、上、部、ハ、眼、窩、ノ、間、
位、シ、下、部、ハ、上、頰、骨、ノ、間、ニ、位、ス、鼻、腔、ノ、前、後、ニ、孔、ヲ、口、蓋、窩、孔、ヲ、結、甘、ク、充、
モ、レ、即、チ、鼻、腔、ノ、故、ニ、前、後、ニ、孔、ニ、而、シ、テ、前、部、ノ、孔、ヲ、梨、子、状、ト、シ、後、部、ノ、
孔、ヲ、白、鼻、孔、*Choanal*（是、前、部、ノ、孔、ト、シ、後、部、ノ、孔、ト、シ、意、義、ナ、リ、）ト、シ、テ、
又、鼻、腔、ノ、内、ニ、氣、ヲ、通、ズ、而、シ、テ、嗅、器、蓋、骨、ノ、内、方、ヲ、含、ム、孔、ニ、交、通、ス、例、ハ、ハ、
前、頭、骨、突、起、ノ、上、頰、窩、ノ、蝶、骨、窩、ト、交、通、ス、故、ニ、之、ヲ、鼻、腔、ノ、副、鼻、腔、
Sphenoidal sin *maxillary* 又、鼻、腔、ノ、中、隔、ニ、由、テ、右、左、ニ、部、ト、シ、
各、方、ニ、テ、鼻、腔、中、隔、ト、シ、保、シ、テ、其、者、必、ズ、中、央、ニ、位、シ、ル、モ、ニア、ラ、ズ、テ、何、レ、カ、

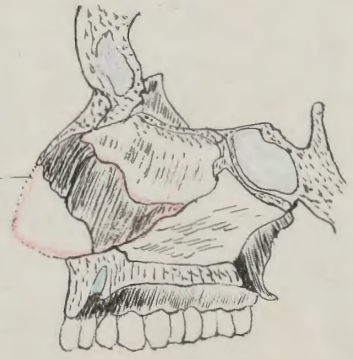
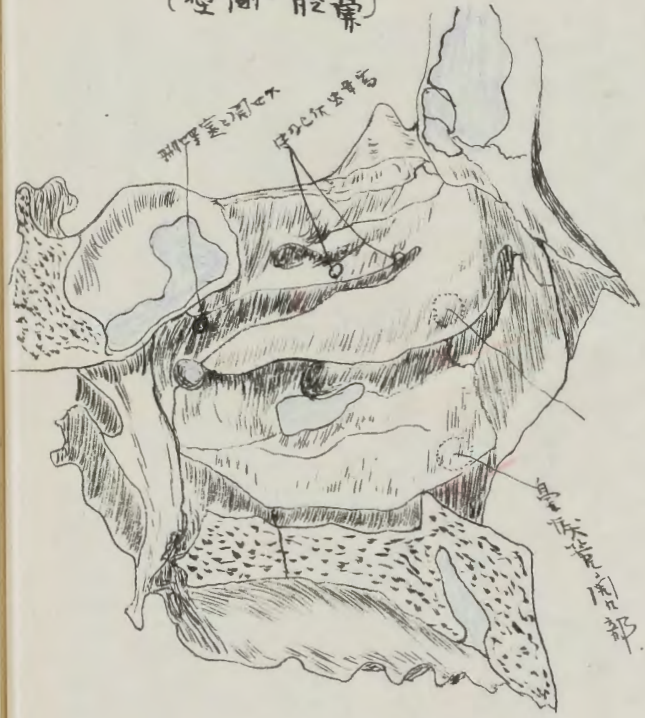
鼻、腔、ノ、内、ニ、氣、ヲ、通、ズ、而、シ、テ、嗅、器、蓋、骨、ノ、内、方、ヲ、含、ム、孔、ニ、交、通、ス、例、ハ、ハ、
前、頭、骨、突、起、ノ、上、頰、窩、ノ、蝶、骨、窩、ト、交、通、ス、故、ニ、之、ヲ、鼻、腔、ノ、副、鼻、腔、
Sphenoidal sin *maxillary* 又、鼻、腔、ノ、中、隔、ニ、由、テ、右、左、ニ、部、ト、シ、
各、方、ニ、テ、鼻、腔、中、隔、ト、シ、保、シ、テ、其、者、必、ズ、中、央、ニ、位、シ、ル、モ、ニア、ラ、ズ、テ、何、レ、カ、

白、鼻、腔

篩、骨、窩、特、異、ノ、副、
鼻、腔、ト、シ、

傾クモノナリ其ノ鼻中障ニ篩骨ノ篩直板・細骨・上顎骨等ハ口蓋骨自鼻
 掃ヨリナリ而シテ前方ニ鼻中障軟骨板ヲ以テ補ヒル而シテ右端ニ遊離シテ
 骸骨ニ終ル右鼻孔ヲ以テ前界・前鼻掃鼻中障軟骨ヲ以テ補成セリ
 (鼻掃鼻中障ナシハ前部ニ前鼻掃軟骨中障ヲ切取ラヨリ之)
 鼻腔ノ牀底側部ニ上蓋ニ種々ノ骨片ヲナシ上部ニ於テハ上師骨蜂
 窩ヲ呈シ下部ニ於テハ甲ヤリ口蓋ニ

(腔鼻、腔鼻)



牀底ニ上顎骨ハ鼻蓋突起・口蓋骨・地平部ヲ以テ之ク部ニ十字形
 ノ縦線ヲ呈ス之即チ口蓋縦線也口蓋横線線ナリ之牀底横線
 ニ凹ニテ穴状経ニ通ナリ

側壁ニ且前部ニ上顎骨鼻腔面ノ下部口蓋骨・篩直板・翼
 状突起内板ヲ以テ布部ニ境トス
 上部ニ上顎骨前頭突起・淚骨節骨・側塊部下部ハ骨

ヨリ成ル

天蓋ハ篩骨ノ篩板ノ前頭骨・鼻部ナリ尚之シテ前方ニ鼻骨ニ上
 顎骨前頭突起布部ニ蜘蛛骨体一部ヲ以テラズ

前鼻孔(鼻腔之前部) *Apertura pyriformis*

前壁ハ空ヲ缺除テ鼻孔ニ上顎骨体前縁鼻骨下縁ヲ圍擁セラリ
 之部ヲ梨子状孔或ハ前鼻孔トシ且鼻孔下部ノ中尖ニ前鼻棘

ヲ呈ス

右鼻孔 *Apertura nostrum posterioris* & *Sphenae*

鼻腔ノ右壁ハ蜘蛛骨体一部ヲ以テ構成ス然レモ下部大部分ハ全ク缺隆
 ナレシテ右鼻孔トシ又器面溝ニシヨマー子(滑腔) *Chamae* トシテ

鼻腔ノ側壁ハ多ク骨片延長セルモノニシテ而シテ具骨片ハ互ニ相連絡シテ具間ニ多ク腔隙ヲ呈ス故ニ鼻腔ノ而積ヲ増ス其骨片ハ前部甲ハ十骨片(即チ中甲外)及ヒ下甲外骨片又ハ中甲外及ヒ下甲外骨片ニ分テリ相並列シテ之ヲ對シテ散リ形成ス其各々散リ間ニ鼻道 *meatus maxium* ト多ク之ニ前部ニ在リ

上鼻道 *Meatus maxium sup*

中鼻道 *meatus maxium medius*

下鼻道 *meatus maxium inf*

鼻腔ノ交通孔

鼻腔ニ多ク孔有リ此等直隣種々ノ腔洞ト交通ス
 林液ニテハ門歯孔或ハ前頭骨^孔由テ口腔ニ通ス
 天蓋^孔ニテハ節眼或ハ節孔^孔由テ前頭骨蓋高ニテ交通ス
 側壁ニテハ

上鼻道ヨリ中及ヒ右部ノ節骨蜂窩及ヒ蜘蛛骨室^孔ニ交通ス其右部ニテハ蜘蛛骨蓋高ヨリ口蓋^孔ニ由テ前頭骨蓋高ニテ交通ス(蓋高ニテハ中甲外ノ右ニ在リ)

中鼻道ヨリ前部ノ節骨蜂窩及ヒ頭蓋骨^孔ニ交通ス(前部蓋高ニテハ前部蜂窩^孔中鼻道ニ連リ)

口腔

下鼻道ヨリ鼻後管^孔由テ眼眶ト交通ス
 口腔ハ鼻腔ノ直下ニ在リ下顎骨ノ運動ニ依テ其形狀ヲ變ス用口ニ在リ前方ヨリ見ルニ全口腔ヲ見ルニテ得而シテ其部ニ味覺器及ヒ咀嚼器ヲ藏ス其口腔ハ上及ヒ左右ノ兩壁ハ骨ニ依テ固確セラレ下及ヒ右方ニ開放ス其比下部ハ前骨^骨ニ依テ成形ス

上壁(即チ口蓋)ハ上顎骨ノ口蓋突起及ヒ口蓋骨^骨以テ手前ヲ成ル之

部ニ十字形ノ隆起ヲ呈ス之ヲ十字口蓋縫線トシテ而シテ上壁ノ陷凹ニ具シテ舌ノ上面ノ官腔ニ應ズ故ニ之ヲ硬口蓋天井ト稱ス

側壁(前及ヒ側壁)ハ下顎骨俤一部分及ヒ下ノ齒槽突起ヲ成ルニ交通孔

前方に上顎骨の口蓋骨が通る。上方に蝶形骨が通る。前方に翼状突起が通る。前方に口蓋骨が通る。

交通孔

- 蝶形口蓋孔(蝶形骨と口蓋骨)は後方鼻腔と鼻道を通る (上方)
- 翼状口蓋孔は前方口腔に通る (下方)
- 正凹孔は前方中頭蓋骨の高さを通る (前方)
- 下眼窩切孔は前方眼窩に通る (前方)
- パイプ状管は頭蓋骨に通る (前方)



頭蓋外面下部
即ち底部

外面下部は凸凹不平にして多量の管孔を有し。今底部を分つて觀て、而して頭骨咽喉部より顛部まで、乳嘴突起に向ふ第一想像線を描き、又斜に蝶形骨の翼状突起より前頭骨の顛部突起に向ふ第二線を描く。之より下部は前中頭蓋部と云ふ。

底部

此より大后頭孔より下方は、頭蓋下部の故に、底部と思ふ。上想像線より、是より下方は、見しごとく、底部、即ち頭蓋の頂面から、故に、頂面と云ふ。別論せず。

大后頭孔より下方は、外后頭骨及び之より経過する下想像線より、上想像線あり、之より、前中頭蓋部、大后頭孔の側方、翼状突起より、其の前側、舌下神経管(前蝶形孔)より、右側、舌骨状窩、孔、呈之、前外方、驛頭靜脈孔(右破裂孔下支)乳嘴截痕、右頭蓋部溝、ラロエ。

中部



中部の中央に吻骨体ヲ呈シ且、左に吻骨大翼若核部
 呈シ右に大翼部、即ち孔棘孔ヲ呈シ前部は吻骨体呈シ
 実表、外側側は翼状窩、吻骨管溝、又呈シ其他の前列孔(若
 存部空部、吻骨骨体、大翼トノ間)部、即ち、吻骨管、吻骨
 口呈シ孔ヲ示シ、吻骨若核部ニ連シ且、破裂ノ連続トナシ、而
 外方ニカワセハ破裂(數種破裂)トシ、同ハ破裂ノ、右方ニ呈シ
 起ラ呈シ且、右側ニ孔ヲ呈シ又破裂ノ前方ニ下顎管窩
 フラ呈シ其トノ前方ニ窩部ヲ呈シ又破裂ノ、右方ニ頤骨動脈
 管、外方ニ呈シ、外方ニ示シ、外方ニ岩部ニ窩ヲ呈シ且、外方ニ
 外方ニ示シ、又、吻骨大翼部、頤骨動脈管、
 起ノ根ヲ示シ、側方ニ示シ、又、中部、中央部、咽喉、口部、相
 多ク之、部ヲ示シ、*Palatopharyngeal* トシ、少シ、
 鼻腔ニ移行シ、中部、前側部、下顎管窩トシ、

前部

即ち、硬口蓋ナリ、而シテ、歯ヲ有ス、(之、顔面頤管ニ屬スルハ、
 已ニ硬口蓋ニ示シ、)

頭蓋の内面

即テ頭蓋腔

恥頭蓋骨ヲ圓椎ニ内ニ腔洞ヲナシ以テ脳髓ヲ容レ頭蓋骨頂部ニ
鱗様骨ヲ成ル底部即チ基礎部ニシテ諸骨基礎部ヲ成ル頂
部ヲ形成スル骨右ノリ一様ナリ之レニ反シテ底部ヲ構成スル骨右ノ薄
一様ニ之最モ之傳テ部ニ就テ前方ヲ以テ骨ニシテ節骨地平板即チ節
板次ニ眼窩上蓋頭蓋骨鱗様部中央部下顎関節、蝴蝶骨
置、上壁、額骨、天蓋、右方ニ右髁状窩カビハ恥窩部ナリ

上多ト側腔

穹隆ヲ帶ブテ各部ニ指狀壓痕、眶隆起、視座膜動脈溝等ヲ呈ス
底部

各部ニ於テハ前中央、三部分トス之ニ上部、平垣ナラズハ腦髓、底部ノ
形状ニ準テ即チ前部、前頭蓋窩、中部、中頭蓋窩、右部、右頭
蓋窩トス

前頭蓋窩

天蓋大脳前頭葉ヲ滿クテ部ニシテ各部ニ蝴蝶骨ハ骨ノ右

縁ヲ以テ中頭蓋窩ノ界トシ形状ニ帶内環形ニシテ前額骨、眼窩
面、節骨、地平板、蝴蝶骨、天蓋骨、上面カビテ体ノ上面ヲ形成ス
各部ニ呈スルハ先テ鵝冠、節孔、前角、節骨孔カビテ盲孔
ヲ呈シ側方ニ指狀壓痕、眶隆起ヲ示ス

中頭蓋窩

天蓋ニ於テハ中部ト側部トニ區別ス
中央部ニ蝴蝶骨、上面前方ニ蝴蝶縁以テ示シ右方ニ鞍檻ヲ
以テ境界トス

各部ニ口至ルハ土身古鞍、鞍隆起等ヲ示ス、視溝、視側
ニ視神經孔、前中央、床状突起アリ

側部ハ前中央方ニ擴張ス之部ハ天蓋ノ頭蓋骨ヲ充テ之故、噴凹ノ
各部ニ呈スルハ前方ニ上眼窩破裂孔、右方ニ顎動脈溝、舌前外方ニ
正円孔、側孔、前角、前額裂孔、右方ニ岩骨部、左端ニ
蝴蝶骨、骨、土身、右側、間ニ存在、其右側ニ云又神經之壓痕、外方
ニ額面神經管裂孔、岩骨部、顎動脈、視座、天蓋、岩骨
破裂孔、口至テ而シテ各部ニ岩骨部、上後方ニ右頭蓋窩ノ境界

市頭呈高

ト云

芝部、小脈、乃之、恥、恥橋、ヲ、孔、ス、部、ナリ、而、シ、テ、高、也、陷、凹、ス
 市、部、ニ、大、孔、頭、孔、ヲ、呈、シ、且、前、部、ニ、ブル、ン、バ、ク、科、基、側、方、ニ、
 奥、多、隆、起、一、舌、下、神、主、管、孔、而、其、側、方、ニ、頸、靜、脈、溝、也、突
 起、ヲ、ロ、モ、之、身、溝、ニ、而、髁、狀、孔、内、孔、ヲ、呈、シ、且、之、ヲ、内、側、ニ、頸、靜
 脈、孔、即、ケ、而、被、刺、孔、(連、傳、ト、シ、テ、其、名、アリ) 且、之、ヲ、内、方、ニ、下、岩、様、部、溝、ヲ、呈、シ、
 岩、様、部、右、面、ニ、内、耳、門、蝸、牛、導、水、管、外、孔、前、庭、導、水、管、外、孔、ヲ
 呈、シ、岩、様、部、上、縁、ニ、上、岩、様、溝、ヲ、呈、シ、大、右、頭、孔、而、部、ニ、内、耳
 頭、橋、乃、と、法、節、ヲ、呈、シ、而、シ、テ、十、字、隆、起、ノ、横、隆、傳、ヲ、也、テ、頭、蓋
 骨、下、後、上、之、内、耳、頭、橋、而、側、ニ、小、孔、高、而、呈、シ、
 頸、靜、脈、溝、連、傳、ニ、頸、髁、骨、ニ、状、高、ヲ、頸、髁、骨、下、隅、ニ、頸
 之、横、溝、ヲ、過、シ、右、頭、骨、横、溝、ニ、連、傳、シ、テ、状、高、ニ、孔、崎、孔、ヲ
 呈、シ、

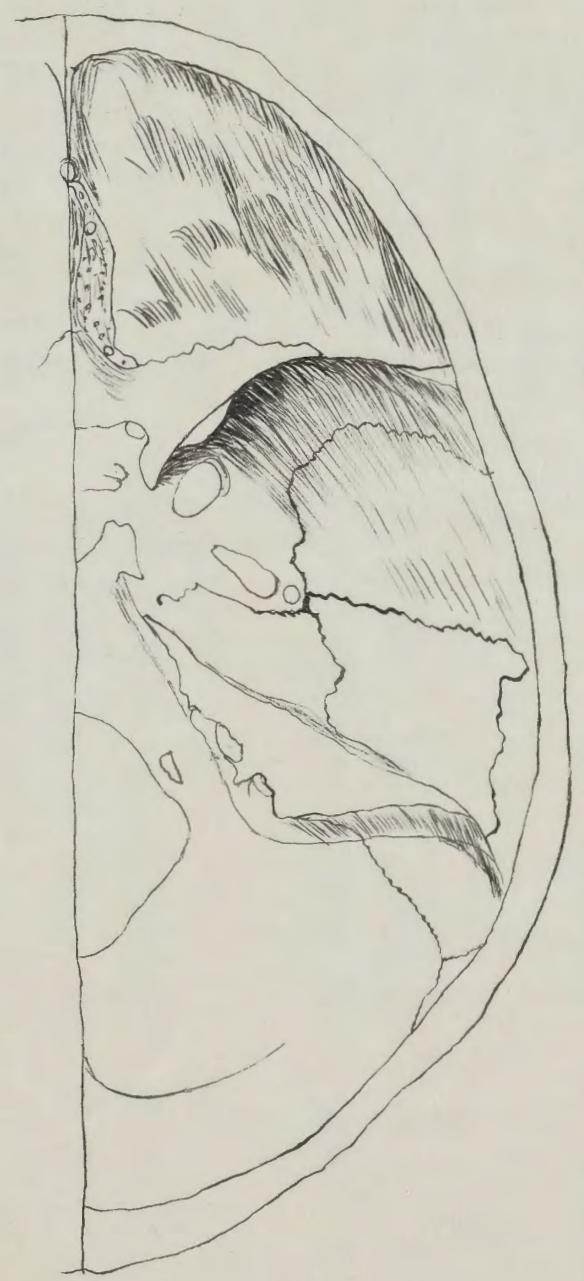
卵頭蓋、卵狀

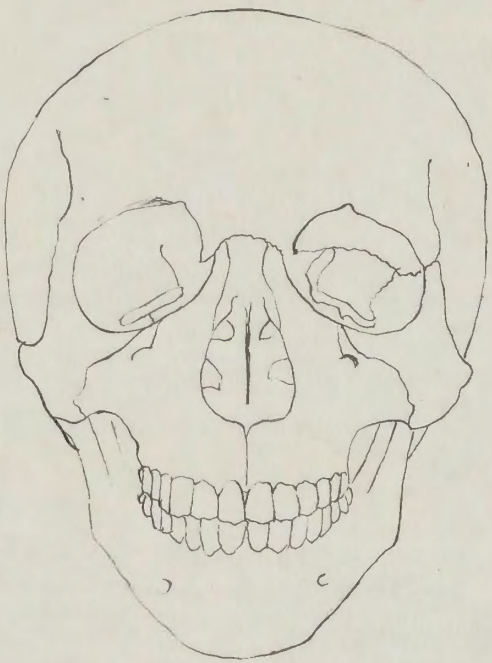
卵、形、ニ、テ、其、狭、部、ニ、前、方、ニ、對、シ、長、軸、少、ク、前、上、方、ニ、傾、故、ニ、

前、頭、呈、高、ニ、頭、呈、高、中、最、モ、高、ク、位、ス、

類、卵、頭、蓋、卵、狀

眼、單、眼、頭、呈、高、前、方、ヲ、下、方、ニ、突、出、ス、楔、狀、ナリ、少、ク、前、上、方、
 ニ、傾、ク、





II 四肢骨 *ossa extremitatum (humeri etc)*
 a 上肢骨 *ossa extremitatum superiorum*

上肢骨は三部あり肩胛帶、幹、手トス
 肩胛帶 *Cingulum humeri (scapulothorac)*

肩胛帶は右側骨ニ骨ヲナリ而シテ前ニ長骨ヲ鎖骨トシテ右ノ
 一編平ニ骨ヲ肩胛骨トス

幹 (二) *radius (ulna)*

幹部、肩ニ部アリ構成ニ其上ノ部、モリテ上膊骨トシ其下部
 ニモリテ下膊骨トシテ下膊骨ニ骨ヲナリ即尺骨、桡骨
 トス

手 *manus (Hand)*

手、外境ニ相接スル部即ニ母ノ骨ニシテ、部、腕ノ三部アリ
 一 手根骨 二 掌骨 三 指骨
 其三部ヲ後合シテ曰ヒ七骨トス

一 肩胛帶 *Cingulum humeri*
 一 肩胛骨 *scapula of omoplati*

肩胛骨、右と左の部は、同じ三角形にシテ、即骨より、骨と即骨の連之、今
 其形状、準シテ、前角の側面、外と内との縁、及び之の偶と、區別之
 前角の、胸郭側、即骨側

右側、即骨、同じ、偏凹、之より、肩胛骨、内窩、或は、肩胛骨、高 *Processus*
scapulae 上より、而下、高、之より、乃至、五葉、横線、或は、斜線、線、之より、
 之より、肩胛骨、線 *Linea subscapularis* 上より、肩胛骨、筋、起ル部、より

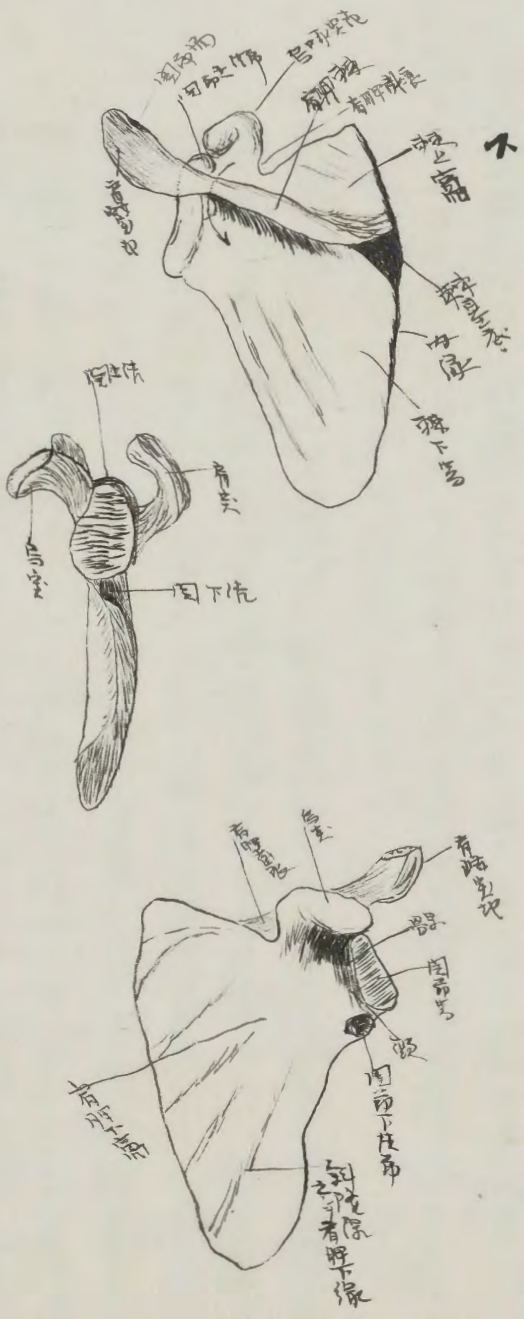
右側、背骨
 右側、背骨、隆、之より、肩胛骨、由、下、下、三部、區別、之より、部、上、高
Processus supraacromiatus 上より、下、大部、上、高 *Processus infra-pinnatus*
 上より、高、横、線、線、之より、起、部、より

肩胛骨 *Spina scapulae* 右側、上、三分、一、位置、アリ、骨、三、胸
 椎、對、之、三角、形、より、骨、外、上、右、方、向、空、出、之、具、形
 状、之、三角、形、より、起、肩、峰、起、之、移、行、之、具、起、肩、部、即、之、角
 形、根、部、上、棘、基、衣 *Processus spinosus*
 肩、峰、起、*Processus acromiatus* 肩、胛、骨、連、接、之、肩、胛、骨、最、為
 部、之、形、状、之、棘、状、之、上、而、直、下、内、下、位、し、下、而、滑、沢、之、肩、胛、骨

肩胛骨、上、高、
 上、高、之、部、より、
 上、高、之、部、より、

肩胛骨、上、高、
 上、高、之、部、より、
 上、高、之、部、より、

節、向、之、具、上、内、側、(骨、端、内、側) 卵、円、形、肩、胛、骨、上、高、之、上、肩、峰
 肩、胛、骨 *Processus acromiatus* 上、高、之、部、より、起、肩、部、即、之、角



右側、背骨、隆、之より、肩胛骨、内窩、或は、肩胛骨、高 *Processus*
scapulae 上より、而下、高、之より、乃至、五葉、横線、或は、斜線、線、之より、
 之より、肩胛骨、線 *Linea subscapularis* 上より、肩胛骨、筋、起ル部、より

外縁、一、名、下、縁 *margo acillaris* 之より、内、縁、比、之、短、且、直、之より、
 肩、骨、上、高、直、之より、起、之、相、連、之、部、之、之より、肩、骨、下、縁、之、部、之
 之より、二、條、之、行、之、之より、二、條、之、之より、之より、

右側、背骨、隆、之より、
 上、高、之、部、より、
 上、高、之、部、より、

上後ニ後中骨ニ短薄ニテ其外端ハ強骨、突起トシテ之ヲ色
 呼ビ起 *Proc Coracoideum* ト云々、突起トシテ之ヲ色
 次、前外方ニ何レ肩胛關節トシテ其骨、具内方ニ於テ一ツ、或ハ
 呈ニテ之ヲ肩胛腋痕 *Incisiona scapulae* ト云々

上外側ニ若骨中最モ大ニ部ニシテ其ノ骨體トシテ、關節面ニ呈ス
 之、白ニ部ヲ肩胛體 *Candylus scapulae* ト云々、體ハ外側ニ
 於テ卵円形ノ淺窩ヲ呈スニテ、關節窩 *Caritis glenoidica* ト云々
 之ニ上膊骨頭トシテ、部ナリ又其部ニ於テ肩胛體ニ前平部トシテ、移行
 部間ニ狹窄部ヲ呈スニテ之ヲ肩胛頸 *Collum scapulae* ト云々、其ノ内
 側ニ着シテ深ク溝状トシテ之ヲ肩胛腋痕 *Incisiona scapulae* ト云々
 其ノ他關節窩、上部ニ於テ一、淺窪ヲ呈スニテ、關節上縁部ト云々

上内隔ニ薄クシテ之ヲ内形ヲ帯フ
 下隅ニ上内隅ヲ有スニテ、粗粒ナリ而シテ、筋肉ニ附着スル所ナリ
 其他若骨ニ於テハ、管孔ヲ呈スニテ、棘ト棘トシテ呈スル、最モ多ク呈スルハ、肩
 胛體ノ部ナリ

鎖骨 *Clavicula*

鎖骨、横ニ胸骨ノ上端ヲ肩峰、突起ニ達スル骨ニシテ、而シテ、殆トシテ
 字形ニ彎曲シ、其ノ中ニ一、空側ヲ前方ニ向ケ、其ノ外ニ一、空及ツル方ニ向ケ
 而シテ、形状、薄ク、俾、兩端ニ區別ス

俾ハ、上ノ高キヲ帯フ故ニ、上ト下ト前中ニ縁トシ、而シテ、外端、同ク高平
 ナリ、内端ニ之ニ及シテ、前中ニ而シ、有ス
 上而ニ於テハ、内端ニ近キ部ニ一、淺窪ヲ有スニテ、之ヲ胸鎖乳頭筋ノ部ト云々
 其ノ同名筋、起ル部ナリ、而シテ、空及ツル前中ニ向フル部ニ一、粗粒部ヲ
 呈スニテ、之ヲ胸鎖筋ト云々、其ノ粗粒部、鎖骨頭ノ起ル部ニ而シテ、四
 側ニ前中ニ向フル部ニ一、粗粒部ヲ呈スニテ、之ヲ胸鎖筋ト云々、
 角ハ、筋ノ起首部ナリ

下部ニ於テハ、淺溝ヲ有スニテ、之ヲ鎖骨下溝ト云々、鎖骨下筋、附着
 部ナリ、之ニ上ノ方ニ一、管孔ヲ呈スニテ、又内方ニ於テ一、淺窪ヲ有スニテ、
 助骨筋ノ部 *Incravitas costalis* ト云々、其ノ助骨(鎖骨)ニ附着
 部ナリ、又外方ニ於テ一、長径、粗粒ナル筋部ナリ、之ヲ肩胛筋
Tuberculus acromialis ト云々、其ノ筋部(鳥喙鎖骨)ニ附着部ナリ
 其ノ端ニ、胸骨端

強直三角形にして其上部に凹部有るを以て之を凸凹(凹部)と
 して之を四角形に近之を角形と云ふ之を肩骨、鎖骨切痕と接
 合す



外端有肩峰端
 希平(上下)ミテ末端ニ卵円形、小凹部ヲ呈ス之を肩峰突起)

肩峰突起而ト接合す
 肩 肱骨 Collum humeri (Anatomieum)

上肢中最之骨ミテ上膊前部、湾り上膊、基礎ヲ以テ之ニシテ

骨幹及び下ニ端ト之

上端一名頭端トシテ強直ミテ上方ニ向テ膨脹スル圓形頭終ル之ヲ
 上膊頭ト名ク而シテ之を球形(二球)ノ圓形而テ有之其頭下ニヤク
 狭窄ス之ノ部ヲ上膊骨解剖頸(Collum humeri anatomieum)
 ト云フ之ニ由リ他部(即解剖頸ト建スル頭)下部、於テ前ニ外及テ於テ
 一側、後部ニシテ其ノ前側、呈シテ後部ニヤク之ヲ外科頸ト云フ外
 及ニOlecranonト云フ之ヲ大枝部 Tuberculum majusト云フ其大枝部
 ニ於テハ肋骨、附ク者此ニシテ而リ呈ス又大枝部部ニ骨幹ニ向テ之レ
 隆起アリ之レシニハシテ棘 Spina tuberculi angini et minoris
 ト云フ其棘、間ニテシテ長溝ニシテ之ヲ結節間溝 sulcus intertubercu
 larisト云フ其後部下部ニヤクニ狭窄ス之ヲ外科頸(Collum humeri
 chirurgicum)ト云フ

体ニ上部ニ内柱状下部ニ三角状形ミテ故ニ傳テ於テ、内外右三角骨ト前
 丹外ニ三角ニ分ツ

内面ニ凸凹の中ニ於テ下ニ相クニ隆起孔ヲ呈シ其身ニ中ニ部ニ二ツツ粗
 糙部ヲ呈ス之ヲ烏喙隆起部ト云フ同右以助、併ニ肩ニシテ

外科頸、外科的、骨、
 切斷部ニ分ツ
 本誌骨、大、胸、骨、
 上、肢、骨、一、調、骨、第、
 一、内、外、骨、ト、云、フ、
 骨、
 骨、
 骨、

卷五ノ三ノ部ニテ

外面ニテモ中坐部ニ相推ナリ前アリ之ヲ上膊筋部 *Tuberculus humeri*
anterior 三角筋部 *Tuberculus humeri anterior* ト云フ三角筋部 附着部

ナリ

右面ニテ中坐部ニテ目ヨリ外下方ニ至リシ線溝ヲヨミ之ニテラ螺状状
溝 *sulcus spiralis* ト云フ核骨神ニ至リ浮在膊筋部ヲ通シ

前隔 *Chingulus anterior* : 内外ニ面シ果シ上部ニ上肢筋部 移行シ下
端ニ前高ニ達ス

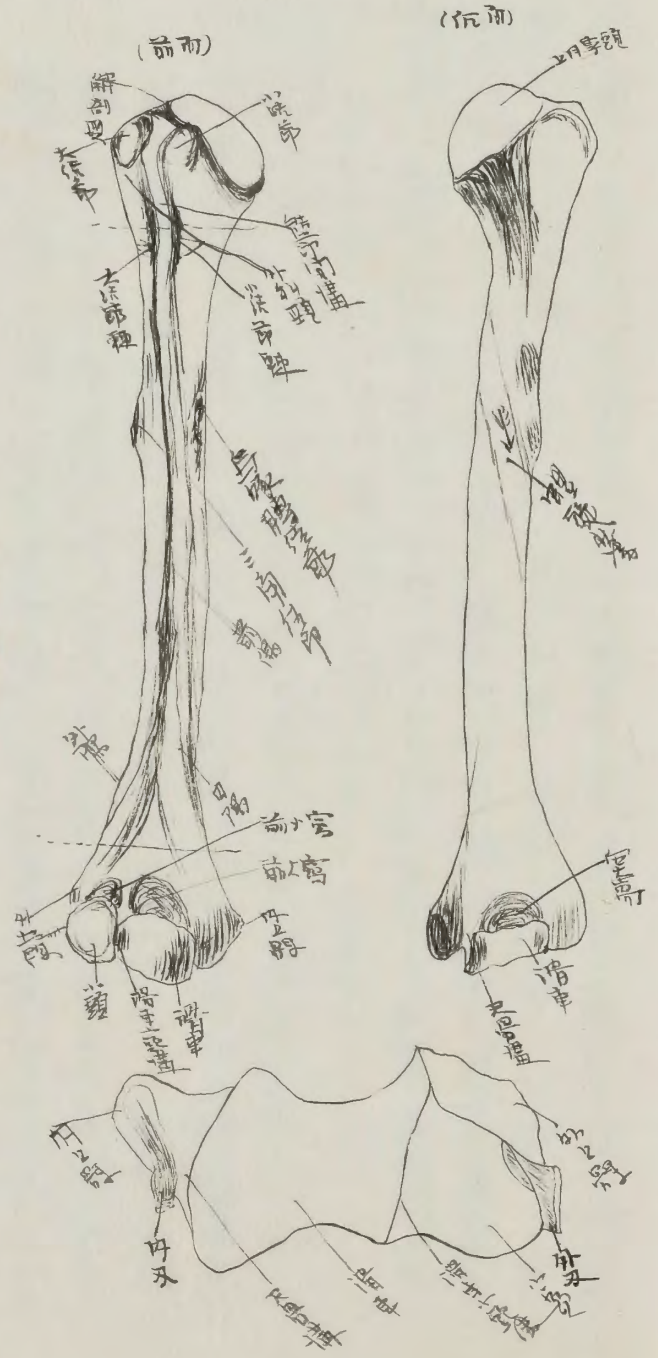
内隔 *Chingulus medialis* : 内面ト外面ト果シ内隔ト而シテ上部ニ上肢
筋部 移行シ下部ニ内上器ニ達ス

外隔 *Chingulus lateralis* : 外面ト外面ト果シ上部ニ上肢筋部 移行シ
下部ニ下部ニ外上器ニ達ス (註ニテハ後述ス)

下端ニテ肘部ニテ器状部

前介ノ壓扁ノルカ故ニ扁平ニシテ上端ニ比シテ薄シ併シ廣シ而シ
テ膨隆ニシテ果シテ前膊骨ト同部ニ保シ果シテラテラテラ肘部ニ起リ
台アリ肘部ニ起リ二個ノ同部面ニ有リ其内方ニ位スルニテナリ

(右ノ可骨)



滑車 形状ニテモ之ニテ上膊筋部 *Trochlea humeri* ト云フ外方モ

マシラシテ上膊筋部ノ頭部ニハ膨隆起トシテラテラテラ滑車ノ同ニ溝
ヲ呈ス之ニテ滑車ニテ溝 *Sulcus capitula Trochlea* ト云フ

滑車ノ前膊ノ尺骨ノ頭部ニテ上端ト接合シテ頭ノ核骨ノ頭部 (即チ部)
ト同部ニテ又肘部ニテ前側ニテ滑車ニテ頭部ニテ高ニ呈ス而シテ
滑車ノ上ニ位スルニテナリ

Tenax major & *supratrachlearis anterior* 鳥咬窩(冠狀窩)より頭上へ位置するハカシシ之ノ前ノ窩可成核骨ト云ハ高トシテ

核骨ト云ハ又前上高ノ前膊屈折ノ後ヲ尺骨ノ鳥咬窩表

ニ在リ右側ニ於テハ一ツノ大窩ヲ有ス之ノシテ核骨嘴窩ニ在リ骨上

窩 *fovea olecrani* & *supratrachlearis post.* 伸屈ノ中ノ

骨嘴窩ニ在リ度ノ其他内外両側ニ粗粒ノ突起ヲ有ス之ノ

内ニ在リ上ノシシ内ニ在リ(カシシカシ)骨上ノ内ニ在リ *Epicondylus*

medialis トシテ又尺骨脚トシテ(前膊皮膚物ニ在リ)又内ニ在リ骨上

ノ内ニ在リ上ノシシ内ニ在リ(カシシカシ)尺骨脚 *ulna ulnaris* ト

シテ尺骨脚ノ直路ヲ外方ニ出スルニシテ(カシシカシ)外ニ在リ *Quadratus*

ulnae lateralis 或ハ核骨脚トシテ(前膊内外諸筋ノ起點部)

又前膊骨 (*Interosmenus*)

前膊ニ二個ノ長骨ヲ成ス一ツハ尺骨一ツハ核骨トシテ尺骨ノ内側(カシシカシ)

核骨ノ外及ハ核骨及ニ在リ又ニ骨ノ上下ニ部ヲ有シ相互ニ連接シ

其他ノ部多ク骨間又帶ノ後ヲ連シ尺骨ノ上端ニ強クシテ上膊骨ト滑

車關節トシテ下端ニ之ノ反シテカシシカシ(前腕骨)核骨トシテ核骨ト尺

骨トシテ其ノ下端ニ強クシテ手根骨トシテ上端ニ強クシテ上膊骨

トシテ頭トシテ

A 核骨 *Radius (spezifisch)*

前膊ノ外側即ハ核骨側ニ在リ尺骨ニ比シテカシシカシ短カシ今ニシテカシシ骨

体ノ上下ニ端ニ區別シ

上端ニ下端ニ比シテカシシカシ形状ノ円形ナリ上端ニ一ツノ關節面ヲ有ス之

部多ク核骨ノ頭 *capitulum radii* トシテ其ノ上端ニ一ツノ關節面ヲ

有シ頭上高トシテ其ノ上端ニ一ツノ關節面ヲ有シ又カシシカシノ周圍ニ

輪ニ在リ上ノ其ノ内方部ニ於テハ平環状ノ關節面ヲ有ス之ノ尺骨ノ

カシシカシノ關節面ニ在リ核骨關節輪 *circumferentia articularis radii* トシテ又カシシカシノ下部ニカシシカシノ核骨頭 *Capitulum ha-*
olivi トシテ

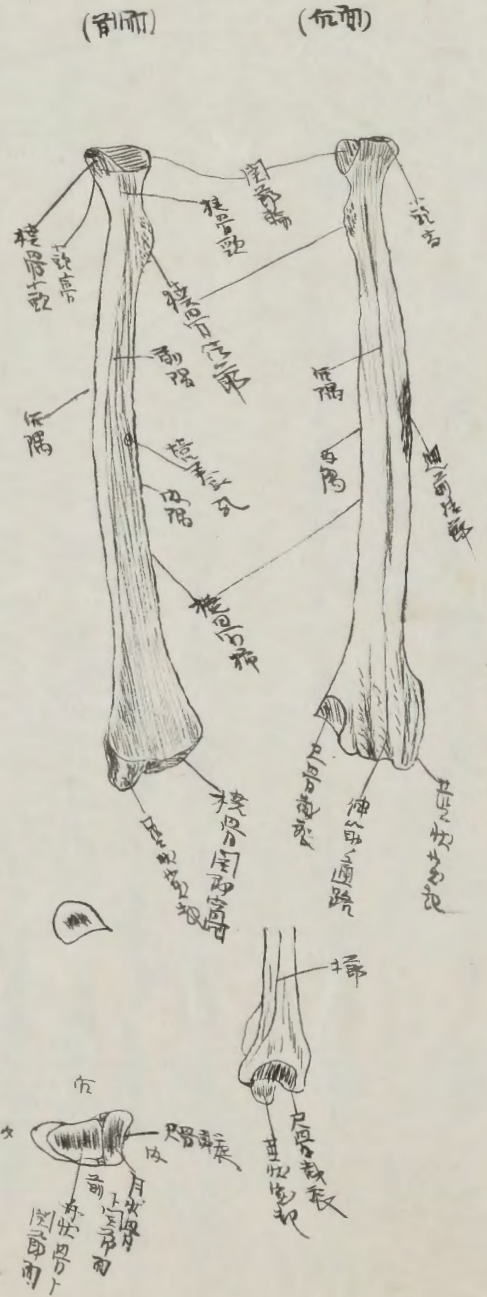
体ノ上部ノ円柱状下部ニ三角状柱状ニシテ云形ヲ帯フ宝尺ノ外方ニ向ク

今カシシカシノ前在外ノ三面ノ前内ノ三面ニ區別シ

前面ニカシシカシノ陷凹ニ在リ上ノカシシカシノ挿入ニ在リカシシカシノ(前腕骨)部

其他ノ上面ニ在リカシシカシノ粗粒部ヲ有ス之ノ核骨結節 *tuberos*

ulnae humeri 上より頭部、附着部より



後面に少く隔凹し

外面に袖中央部、粗雑部を有し、前部は前筋 Tuberositas pronatorum ト多廻前筋、附着部あり

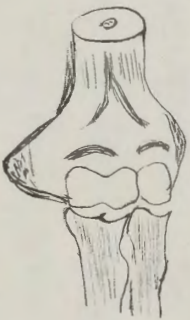
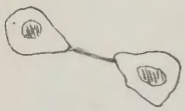
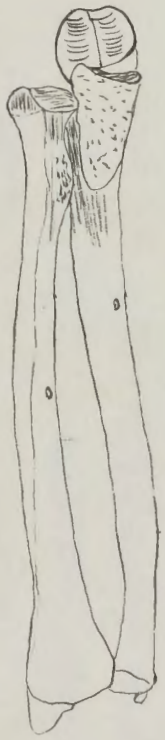
前隅より向隅に少く方形を帯ぶ

内隅に鋭利な尺骨棘に相對して、横骨棘 Crista radialis シテ骨間叉帯、附着部あり、前隅骨間腔ノ界ニ

下端は強急にして殆ど方形を帯ぶ、其末端に凹部を有す、(殆ど三角形)

之を横骨間節窩 Caritus glenoidalis radialis ト名する、其

中央部、於て二前角、並し、隆起を有す、此より内外三部と區別せらる、内中部は方形にして半月状骨と関節の外中部は三角形にして舟状骨と関節の其他内側、於て直に位する半月形、関節面を有す、之は尺骨の頭、関節之を、横骨、尺骨棘、Tuberositas ulnaris radialis 或は半月状骨、ト多外尺、於て、此を、於て、之を、横骨、其之、於て、Pars styloideus radialis ト名す、尺、於て、三条、縦溝、有す、之を、伸筋、腕、前、筋、(ト多廻筋) 之を、部、あり、之を、外、尺、隆、起、(長、伸、筋、節、溝)



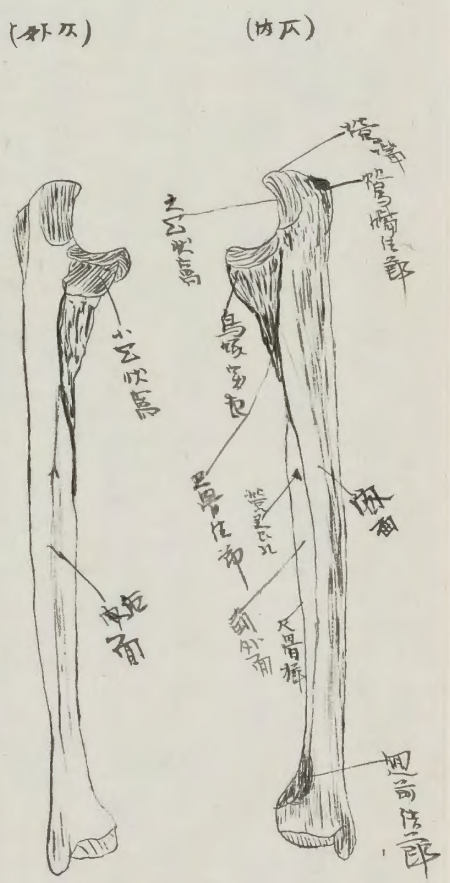
B 尺骨 Ulna

前膊骨中最大にして、其の形、(即ち指爪)に似し、上端、強固にして、下端、より形、
状、S字形、その口を区別して、二体の内端トス

上端、強固にして、前、下、端、(即ち指爪)に似し、上端、強固にして、下端、より形、
状、S字形、その口を区別して、二体の内端トス

之、大、区、状、高、或、尺、骨、上、膊、骨、上、部、或、大、月、骨、高、ト、云、之、高、
、於、中、央、部、後、降、保、リ、呈、之、有、三、部、区、別、之、或、横、降、保、横、溝、
口、より、より、又、高、上、部、高、上、部、先、端、曲、り、前、方、向、(折、返、状)之、を、管、
吸、*Olecranon Bone* *Malconemus* ト、云、之、口、尺、骨、若、し、粗、糙、有、之、部、也、(即ち)

嘴、*Tuberculum olecrani* ト、云、之、又、其、部、より、真、管、嘴、
ト、云、之、高、下、降、部、於、之、前、方、向、之、を、管、嘴、ト、云、之、
弱、之、先、端、上、方、向、之、を、鳥、喙、と、云、之、
鳥、喙、ト、云、之、粗、糙、部、ト、云、之、
又、其、月、骨、高、ト、云、之、
又、其、月、骨、高、ト、云、之、
Ulna *Ulna* ト、云、之、



体、之、大、核、在、其、上、部、S字、状、を、呈、之、前、外、尺、骨、内、之、面、有、之、前、外、
三、隅、ヲ、区、別、ス

前、外、面、之、縦、径、隔、凹、之、上、部、廣、ク、下、部、狭、シ、而、シ、ト、云、之、部、ト、云、之、
柳、入、ス、之、管、嘴、孔、ノ、口、呈、之、下、方、(下、降、部、)ト、云、之、粗、糙、部、ノ、口、呈、之、上、方、
前、外、部、ト、云、之、廻、前、方、ト、云、之、

内、面、之、滑、沢、ト、云、之、上、部、隔、凹、(大、核)ト、云、之、
右、面、之、不、平、ト、云、之、殊、ニ、其、口、甚、シ

前、隅、之、内、滑、ナリ
右、隅、之、内、滑、ナリ、直、下、ト、云、之、

部
不
受
腕
隆
起
部
腕
骨
隆
起
部
腕
骨
隆
起
部

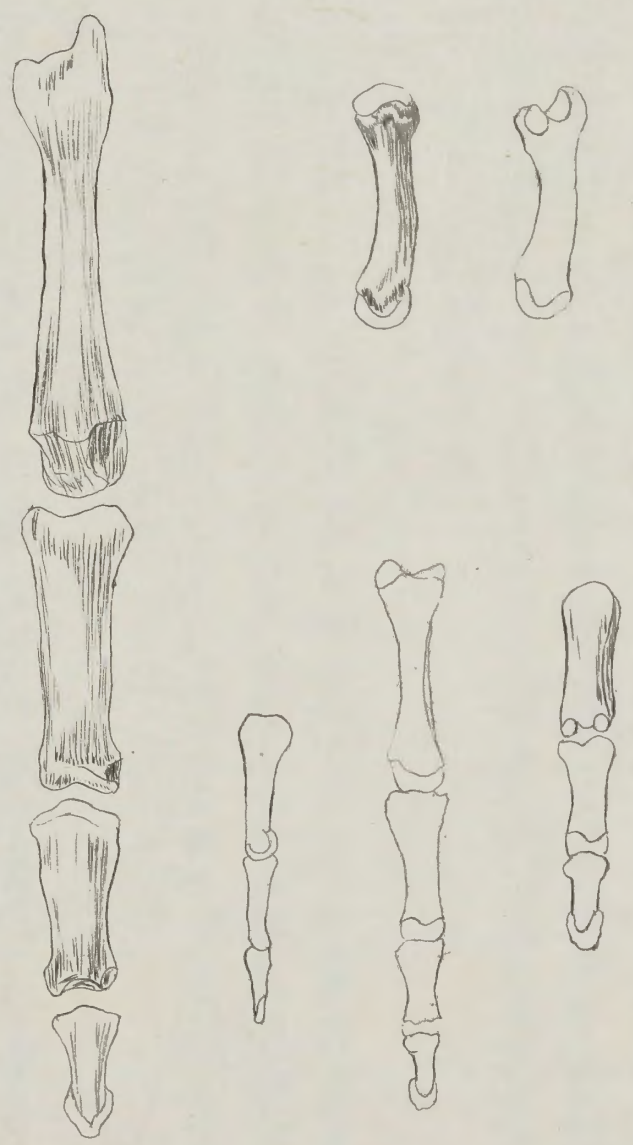
以上論せしが如く腕骨は掌骨と階四の背而に突隆する故に以下二列共に具突
 倒り背方に向てなり骨は形ヲナシ而してその前縁に著しく骨手相突出之故に
 腕骨の内外両端に各二個の隆起を呈す具外方に呈するは接腕隆起
 下各二骨の内方に呈するは尺腕隆起ト稱之而して其在するモノヲト接腕
 隆起ト多し隆起の形状骨は階四又在下に下接腕隆起ト多し
 之れは多接腕起の隆起ト多し又尺腕隆起は在下にモノヲト尺腕隆起ト多
 して腕骨の隆起は在下に下尺腕隆起ト多し之れ物也骨物多
 形或は丸形(助骨)之類は階四の骨多し而して二個の骨なり

又腕骨

掌骨又腕前骨ト多し之五個ノ長骨ヲナシ一列ヲナシ腕骨ト指骨ノ間
 位に呈し呈るは初接者なり下縁及び初離間之接は毎骨間之隆起ヲ
 呈す又拇指掌骨は最離間之隆起を隆起し骨手骨中間隆起ト各ナク
 初接骨は如斯く五個ノ骨ト部ト接して下縁に離間し極小なる故に之
 レニ年極 *Pecten manus* ト各ナク
 各骨は長骨なり其の体は兩端に區別の
 上端(基骨) (身骨) 下部

粗雑にして箱四角形(楔形)にして其上と側と於て圓形而して有之
 之は腕骨同節而して多し而して腕骨ト同節之具他は尺腕及之
 同し同節而して多し之は骨手骨同節ト多し之は隣骨ト同節之節
 骨手骨の腕骨の極小部なり

(例骨)



体之及様種形ニテ腕形ヲ帶ブ而テ凸凹ニ背及内ニ凹及
骨ノ及向ノ荷具形ニ就テ精論スルハ其ノ中ニ腕ノ骨隆ニテ掌及手
生部ニ經路係リヨリ

下端 (身後遠部)

掌骨ハ頭ト球内ニ關節有之即チ而凸凹ニ節而
リ之ニ指骨ト相聯接ス又腕ノ於テニ何ノ隆起ト具隆起ヲ具
スニ凹窩ヲ呈スニテ凹窩ヲ鑿高ト多ク之ヲ鑿ハ階第ニ部ナ
リ

第一 拇指骨

metacarpal

骨ハ他骨ニ比テ大クシテ短カシト滿ニ腕中關節有之其ノ様
骨ト關節ス而シテ之ニ他骨ニ比テ運動自在ナリニ其ノ形ナリ
体ハ大ク扁平形ヲ帶ブニ而シテ別ニ背面ニ平頂ニ掌骨ト相
節ニ節内形ノ關節有之而側ニ何ノ隆起ヲ呈スニテニ何ノ種
子骨ト節ス

第二 示指骨

其骨ハ掌骨中骨ニ長クシテ

基底ハ高ク位シ而シテ何ノ關節有之其關節中中央ハ多様
骨ト關節ス而シテ之ニ之様骨ハ有之骨ノ一部ハ關節
節ニ其關節有之深ク隆起ス

第三 中指骨

之骨ハ示指骨ノ柄々短カシ

其骨ハ上外隆起トシテ之ニ隆起スルニ其隆起ト節ニ
至リ關節有之柄々形ニテ有之骨ト關節ニ其隆起ハ内ノ關節
而シテ骨ト關節ス

第四 環指骨

其骨ハ示指骨ノ少シクナリ

其骨ハ頭ニ而シテ外ニシテ之ニ隆起スルニ其隆起ト節ニ
内ニシテ關節有之關節ニ而シテ隆起ト關節ス

第五 小指骨

其骨ハ五骨中骨ニナリ

其骨ハ關節有之關節有之關節ニ而シテ關節有之隆起ト關節有之其
隆起ト關節有之隆起ト關節有之隆起ト關節有之隆起ト關節有之隆起ト

ト符ニ

3 指骨 或ハ手指節

其數十四個ニテ所謂トモ、指節ヲ成ル何レモ骨ニシテ指節ニ節ヲ有ス
虽モ其數四個ニ比シテ節ヲ備フ而シテ向シモ経路ニ連續シテ五指ノ基
礎ヲナシ又指骨ハ腕節ノ末節ニ向テ漸ク大ニ長短ヲ減ス而シ
テ其ノ各節ノ相離ル部ニ節出テ之ニシテ即モ Metacarpals ト名
ル、各節ヲ接間骨 Interphalangeal 骨ト名ル故ニ長骨ニ屬ス俾
テ兩端ニ區別ス

第一列 即モ趾

俾ニテ形ヲ帶グ具骨及ニ沿ヒ、シテ左右ニ凸ナリ具骨及ニ靴鞋ニシテ

四ナリ、後尺兩片ニ沿縁ヲナシ(之ニ骨片及骨片、合セシモノ)

上端ハ其ニ卷ニ有クテ、横卵内形、同節而シテ骨片骨片ト

同節ニ

下端ハ柄ニシテ一構ニ同シニ骨片ニシテ沿ヒ、シテ骨片如キ同節而シテ

又又兩片、於テハ骨片骨片同シテ一ツノ骨片ニシテ側端トシテ

第二列 即モ中節

上端ハ縱隙隙ニ依テニ骨片ニシテ、四個、四圍節トモトモニシテ

一列、下端ト同節ニ

下端ハ一列、下端ト同シ(保シ指ノ骨片如シ)

俾ニテ一列、俾ニテ

第三列 終節 或ハ爪節

上端ハ一列、上端ト同シ、骨片ニシテ、近ク掌面ニ於テ靴鞋部ニシテ

シテ屈筋隆起トシテ長層筋筋ニシテ

下端ハ靴鞋扁平トシテ、腕節ノ末ニ骨片、依テ有テ之ヲ爪隆

起ニシテ終隆起ト名ル

B 下肢骨

下肢ニシテ區別シテ骨盤帶、幹部、足骨、ニ部ニトス

1 骨盤帶

骨盤帶、薦骨、左右兩側ニ位スル坐骨或ハ骨盤骨 *Os Sacrum*
Os Ilium *Os Pubis* ト名ル、殊ニ坐骨不正、骨片ヲ構成スル而
シテ骨ノ前部ニ中線、部、於テ互ニ結合シテ盆部ハ開放開ク如シテ

哺乳動物中骨は七層構成
三種の骨質を有する
骨質

其部之薦骨多ク充之即薦骨、押入セラルル故ニ全骨盤ヲ成ス
故ニ骨盤ニ充テ、骨質骨層骨質ニ尾圍骨ニ由リ形成セラルル係ニ尾
圍骨ニ骨盤ニ入リ居スルニ非ズ候ニ人ニ體ノ骨盤中ニ入ル

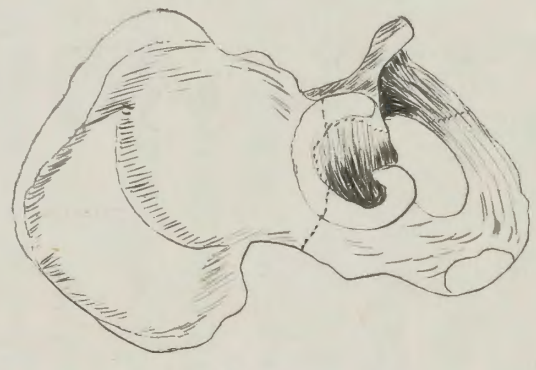
坐骨

Os ischiacum & *Coxae*

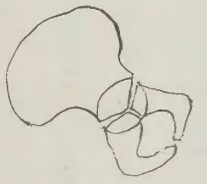
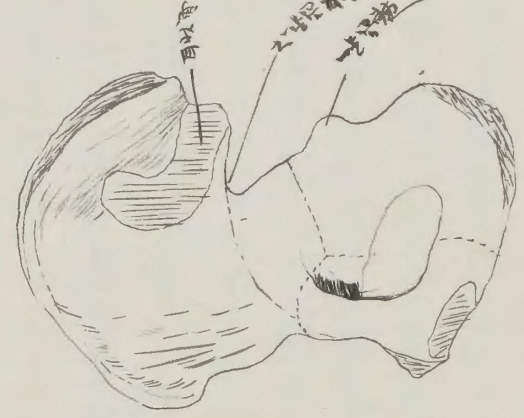
坐骨、前部ニ部、多ク候ニ部多ク其ノ廣ク擴張之候ニ部多ク、後
部ニ狹窄ニ其部ニ、尾圍骨高ク居マシメ身部ニ廣クシテ、内
方ニ、二前下方ニ、屈曲ニ前部、廣ク部多ク、内方ニ、屈曲ニ而シテ、自身
中深ク部ニ於テ、結合ニ其ノ他前部ニ於テ、大ナル一孔ニ有スルニ、孔ニ
織維膜ヲ以テ、強トシテ、固ク閉鎖セラルルニ、**鎖圍膜** *Membrana* *acti-*
malata トシテ、如斯ニ坐骨ニ、之ニ、坐骨ノ、相應ニ、形成セラルルニ、
故、初生ノ、モ、ア、骨、未タ、癒フ、者、セ、テ、軟骨、依リ、互ニ、相連シ、之ニ、
骨、乃、腸骨、坐骨、耻骨、リ、之、即、骨、骨、結、合、形、成、セ、リ、
腸骨、上、方、位、シ、坐骨、下、方、位、シ、耻骨、内、方、位、シ、テ、如、斯、ニ、骨
ノ、相、應、者、ニ、少、ク、於、テ、之、固、軟、質、ヲ、有、ス、ル、ニ、骨、質、*Os* *acetabuli*
bum トシテ、又、若、年、ノ、モ、ア、骨、質、骨、質、中、ニ、骨、質、が、現、ル、之、ニ、骨、
癒、着、痕、跡、ナリ、又、耻骨、ト、坐骨、間、ニ、孔、ヲ、有、ス、ル、ニ、テ、**鎖圍孔**

Foramen obturatorium 骨盤 *os ale* 骨盤

(圖外骨坐骨子男)



(圖内) 骨坐骨子男



之ヲ鴨骨前上棘 *Spinae ant sup scim* トシテ在下、チリ鴨

骨前下棘ト名シクニ棘ノ間ニ半月状ノ軟痕ヲ有ス之ヲハ鴨骨軟

痕 *publucra illica minor* 或チ軟痕トモ稱之又前下棘

ノ下方ニ軟クモ一ノ軟痕ヲ有シ之ヲ大鴨骨軟痕トシテ其也前下棘

ノ下ニ於テ同條高クシテ部ニ軟棘部トシテ之ヲ軟棘部トシテ

直股部トシテ部トシテ

右縁ニ鈍ニシテ短クシテ之ニ於テモ二洞ニ鈍立起リ口ニ在リ之ヲ鴨骨前

上棘 *Spinae occis scim part sup* トシテ在下ニシテ鴨骨前下棘

Spinae occis scim part inf トシテ在下ニシテ鴨骨前下棘

ニシテ之ノ向テ半月状軟痕ト有シ又前下棘ノ下方ニ半月状軟痕ノ初部

ヲ有シ之ヲ著クシテ鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

其把舞句、トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

此骨棘ト稱之ヲ鴨骨前上棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

下行枝 *ramus decedens* 或チ上枝トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

下行ノ具余ト則チ亦有テ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

radialis トシテ

内面ノ滑沢トシテ

外面ニ軟棘ナリ

前後ニ軟棘トシテ同條ノ一部ニ軟棘トシテ

頸部ノ軟棘トシテ之ヲ鴨骨前上棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

内縁ニ軟棘トシテ

外縁ニ軟棘トシテ

前後ニ軟棘トシテ

頸部ニ軟棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

トシテ鴨骨前上棘トシテ

上行枝下行枝、境界、隔シテ

趾骨 *os pedis* (*os chamberlini*)

趾骨：体、地平枝、下行枝、ト區別

体 *Corymbus*：趾骨中、下部、強ク、部、ト、脚、白、前下部、攝成、之、而、シテ

後、鵞骨、接、之、部、於、一、階、故、*articulationis* 鵞趾隆起 *Emurientia*

ilium pediforme 或、鵞趾隆起 *tuber ilium pediforme* 云々

向、骨、着、合、之、痕、跡、ナリ

地平枝 *ramus horizontalis* *os pubicis* 或、上肢 *ramus superior*

体、ハ、連、接、シ、テ、体、ヲ、前、由、方、向、シ、地、平、ニ、キ、レ、枝、ノ、形、状、ハ、之、乃、接、接、

状、状、ラ、呈、シ、ル、之、而、シ、縁、シ、区、別、ス

前上而：僅カ、突、リ 前下而：僅カ、凹、陷、シ、且、外、部、於、テ、

凹、陷、部、前、由、方、向、シ、之、に、溝、シ、テ、鵞趾隆起 *tuber ilium ad*

horizontalis 云々

右而：平、地、ナリ

上縁：銳利、シ、テ、隆、起、ヲ、大、ク、趾骨隆 *Costa os pubicis* 云々

之、端、ハ、鵞骨、弧、形、隆、起、一、系、ナ、リ、而、シ、由、方、向、シ、趾骨隆起 *tuber*

上行枝下行枝、境界、隔シテ

趾骨 *os pedis* (*os chamberlini*)

趾骨：体、地平枝、下行枝、ト區別

体 *Corymbus*：趾骨中、下部、強ク、部、ト、脚、白、前下部、攝成、之、而、シテ

後、鵞骨、接、之、部、於、一、階、故、*articulationis* 鵞趾隆起 *Emurientia*

ilium pediforme 或、鵞趾隆起 *tuber ilium pediforme* 云々

向、骨、着、合、之、痕、跡、ナリ

地平枝 *ramus horizontalis* *os pubicis* 或、上肢 *ramus superior*

体、ハ、連、接、シ、テ、体、ヲ、前、由、方、向、シ、地、平、ニ、キ、レ、枝、ノ、形、状、ハ、之、乃、接、接、

状、状、ラ、呈、シ、ル、之、而、シ、縁、シ、区、別、ス

前上而：僅カ、突、リ 前下而：僅カ、凹、陷、シ、且、外、部、於、テ、

凹、陷、部、前、由、方、向、シ、之、に、溝、シ、テ、鵞趾隆起 *tuber ilium ad*

horizontalis 云々

右而：平、地、ナリ

上縁：銳利、シ、テ、隆、起、ヲ、大、ク、趾骨隆 *Costa os pubicis* 云々

之、端、ハ、鵞骨、弧、形、隆、起、一、系、ナ、リ、而、シ、由、方、向、シ、趾骨隆起 *tuber*

costum pedis ト名、ル、多、ク、移、行、ス、之、ハ、結構、ト、係、ル、也

端、ハ、趾骨隆起、外、ニ、セ、シ、ケ、メ、ト、シ、部、理、ハ、之、ハ、示、シ、テ、部、ハ、

シ、ブ、レ、ト、成、ル、由、テ、内、端、ハ、附、ク、有、ル、部、ナリ

前縁：鈍、圓、シ、テ、之、由、方、向、シ、趾骨隆起、ニ、連、ル、之、縁、ヲ、名、ケ、テ、閉鎖

溝 *Costa obturatorium* 云々

下縁：鋭、利、シ、テ、脚、白、及、シ、且、之、而、シ、テ、縁、ハ、脚、白、の、向、テ、突、出、ス、リ、隆

起、シ、リ、且、之、に、シ、テ、閉鎖、ト、シ、テ、部、ハ、

下行枝 *ramus descendens* 或、下枝 *ramus*

之、ハ、地平枝、内、端、ヲ、趾骨、上、行、枝、向、テ、斜、メ、外、折、方、向、テ、突、出、ス、リ

部、ハ、其、形、ハ、扁、平、シ、テ、上、部、ハ、寬、ク、下、部、ハ、狭、シ、且、其、端、ハ、坐、骨、上、行

枝、ト、連、接、ス

前而：僅カ、凹、リ 右而：僅カ、凸、ナリ

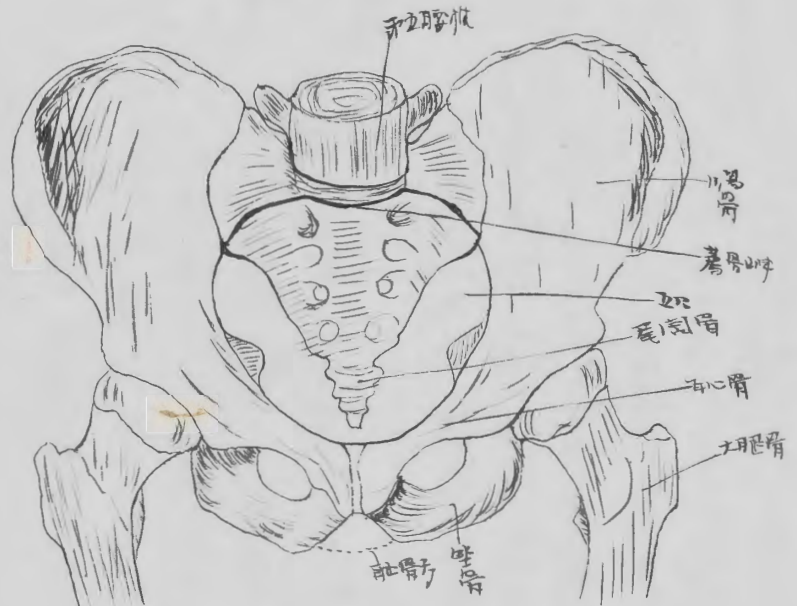
外縁：銳利、シ、テ、脚、白、の、向、テ、突、出、ス

内縁：鈍、平、シ、テ、且、上、部、於、テ、粗、粒、ナシ、縦、横、ニ、長、卵、形、而、シ、且

之、而、軟、骨、ニ、接、合、シ、テ、骨、對、側、ト、接、合、ス、之、ハ、各、ク、軟、骨

骨合面 *fovea synsiphialis* 此、具、ハ、下、部、ハ、坐、骨、ニ、

(盤骨子男)



(盤骨子女)



全ク能ク之ノ部ニ竹助ヨリシラ補成ニ故ニ大骨盤腔ニ暗腔下
部ヲシテ蓋々極大ナラシム

骨盤

女子ニ於テハ廣径(上下)ハ狭クテ高ニ内筒物ナラシム
トシ且内筒ハ稍骨ヲ圍擁セラルルニテ介部ハ高ク位シ居
骨尾周骨ヲ成ルニ前庭ニ依リテ耻骨軟骨隆起ヨリ
恥骨下行枝隆起ト上行枝ヨリ
側庭ハ中葉ノ骨ニシテ腸骨下部坐骨トモトモ骨軟
骨尾周骨ハ前葉ヲ成ル

下口 *Apertura pelvis*

形状ハ男子ニ於テハ薦骨脚ガ多ク寛出スルニ葵ノ形ナラシ
女子ニ於テハ卵円形ナラシ

下口

ト口ヲ稍ハシシキセハ尾周骨ハ側深クハ薦骨ハ前葉ヲ成ル
殊ニ帯ヨリ坐骨ト上行枝耻骨下行枝ヨリハ別形又帯ヨリ
圍擁セラルル其形状ハ男女共ニ葉状ヨリ呈スルニテ、其端ハ耻

七骨盤 *Pelvis major (Graciosa Becken)*

1 横径: 腸骨中間線より對側中間線ノ中央部ヲ引ク Diameter transversa
男子 二百五十七ミリメートル
女子 二百五十七ミリメートル

2 横径: 又腸骨前上ノ線ヲ對側前上ノ線ニ向テ引ク
二百四十四

二百四十四

二百四十四

3 矢状径: 耻骨軟骨後縁中點ヨリ中層骨板(坐骨結核)ニ向テ引ク
Conjugata & Diameter recta
二百

二百

八骨盤 *Pelvis minor*

1 矢状径: 耻骨軟骨後縁中點ヨリ尾骨脚ニ引ク (Greater Durchmesser)
百零八

百零八

百零八

2 横径: 坐骨結核ノ中央部ヲ對側中央部ニ引ク (Querdurchmesser)
百二十八

百二十八

百二十八

3 斜径: 一側腸耻結核ヨリ他側腸骨結核部ニ引ク (Schräger Durchmesser)
百三十二

百三十二

百三十二

4 周圍

四百六

四百四十七

内腔

A 矢状径: 第一三層骨間距離ヨリ耻骨軟骨中央部ニ引ク
百零八

百零八

百三十二

B 横径: 髌臼内径ヨリ他方同位ニ引ク
百三十二

百三十二

百三十五

C 横径: 一尺ノ坐骨棘ヨリ他方同位ニ引ク
八十一 (八十五)

八十一 (八十五)

九十九 (五十)

D 斜径: 鎖肛腔ノ中央ヨリ他方坐骨結核ノ中央部ニ引ク
百三十二

百三十二

百三十二

E 周圍

三百五十五

四百二十

下口

1 矢状径: 耻骨軟骨下縁ヨリ尾骨骨ノ先端ニ向テ引ク
七十五

七十五

九十

又坐骨ノ尾間骨ノ移動ニ易キヨリ又此ノ矢状径ノ移動ニシテ

二矢状三線 耻骨軟骨、下縁より尾尾關節(薦骨下縁)引く

九十五

百十六

三種三線 一、尾骨後部(尾骨)より他方、同各部引く

八十一

百〇八

二斜三線 耻骨坐骨ノ下板、薦骨部より他方、薦骨後部及坐骨連引

八十一

百〇八

五周圓

二百八十四

三百廿五

尾關節骨ヲ除キ他方、同シク周圓徑ヲ得ル也、此ノ

ニリ 三百三十五

三百六十五

此上等ヲケル矢状三線ノ中、部ニ於テ一線ヲ後方ニ引ク之、其形ヲ是具、四尺ノ前、

向ク之、骨盤軸ト稱ス之、之ヲ後導線ト稱ス(即チ腹背ノ中心線也)

軸ニ上行ノ部ヲ於テ、觸線ト稱ス之、其長クハ上部ノ膺ニ達シ下部ノ尾關節

ノ至端ニ達シ下行ノ觸線ヲ其長クハ上方ノ尾關節ニ達シ下方ノ下股ノ

間ニ達ス

軟骨接隆ノ高ク(男)五十四 (女)四十五

骨盤ノ厚ク(薦骨岬より尾關節ノ至端)ノ高ク(男)百四十二 (女)百二十八

耻骨前壁(耻骨軟骨接隆より高ク)ノ厚ク(薦骨岬より尾關節ノ至端)ノ厚ク、依テ此ノ兩側ノ矢状三線ハ地平ニアラズシテ斜ナリトスル也、地平線ニ交ラシムル角度ヲ之ニ曰フ、此ノ地平線ニ於テ傾斜ヲスル其ノ傾斜ノ骨盤傾斜ト稱ス其傾斜ノ依テ成スル角度ヲ斜角ト名ケル其角度ノ *inclination* 也

(男)五十五度 (女)六十度乃至六十五度

骨盤腔内、以テ平線ニテ尾尾關節下縁より耻骨軟骨接合部ノ上縁ナリ

尾關節ノ耻骨接合(耻骨)ノ下縁より尾尾關節ノ上縁ニ(女子モ同シ)以テ地平線ノ

間ニ於テ角度ヲ之ノ角度ニ

(男)六乃至十度 (女)二十度乃至三十度

薦骨尾關節(薦骨後部)ニ於テ薦骨曲ニ殊ニ力ニ薦骨ノ部ニ甚シ故ニ指節ヲ腔内ニ抑グニ時ニ觸知スル得ハシ

又耻骨軟骨接合部ニ於テ尾尾關節連シテ部ニ指節ヲ以テ觸知スルヲ得之ヲ

此線 *diagomalempygata* トスル(男子)十三度(女子)十二、九度知アリ

耻骨弓ノ角度(男)七十五度 (女)九十五度ナリ

尾關節ノ至端ニ於テ保チ、上方ノ至十、八、三、二、一、トナルニナリ

么 幹部

上眼より下眼、二部を別之

大腿骨

femur = os femoris (Schambein)

大腸骨は全骨中最長之骨、大腸骨は骨髄ありて之、骨髄は上肢、上腕骨に著し而して大腸骨の全部に流し之、上端、髌骨の骨股関節に著し其の上端骨の直下部分に有るは二軟骨ありて骨盤より下部に下内方に向つて膝関節に連るは下端、骨髄は又女の骨盤を廣く開くは其の骨盤よりありて骨髄は又大腸骨に他長骨に著し其の骨髄は上内方ニ著す

上端の内方、向つて突出す其の骨髄は同方より内方、突出す其端は

骨盤に著す之を大腸骨頭と稱す下部は軟骨に著す之を幹部と稱す

頭は二つの球に之を軟骨に被り而して骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す之は又其の中部に軟骨に被るは一は骨髄に著す之は頭骨頭と稱す之は内方骨の骨髄に著す

頸は軟骨に被りて骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

股関節の骨髄

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

内方、外限、内限

体

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

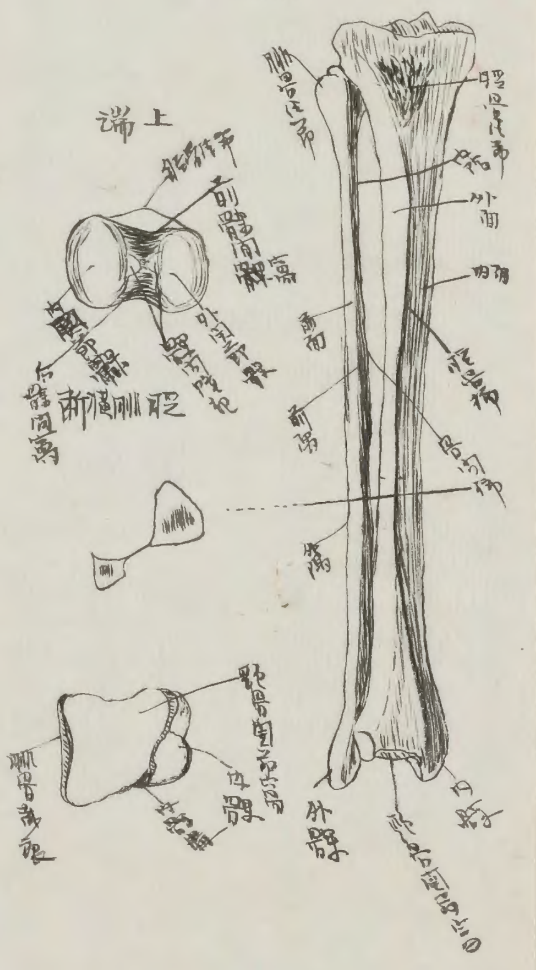
骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

骨髄は骨髄の骨髄に著す其の骨髄は連りて骨髄の中、偏つてありて骨盤の関節に著す

譯多

其他可證、同於之前、其地較險、保其工之、化之、此外
 一器、日多也、元之、其地保、附用降、起 *Chimantia intusca*
nylosidea、ト多其後、起、其地、通、利、多、路、ト多、保、又、其、具、
 其地、前、在、陷、四、之、四、高、其、子、子、前、在、附用降 *laeva*
intercomphidea ant of *noct* ト多、又、上、端、之、於、同、前、降、下
 部、同、攝、之、距、五、十、八、兩、段、ヲ、各、々、テ、テ、送、下、緣、ト、各、々、ト、
 子、外、周、前、降、外、之、於、之、針、之、外、在、下、方、之、向、之、同、前、而、之、*noct*
 之、附、用、降、上、之、同、之、即、之、之、附用降 *superficia ant-*
icularis fibularis、ト多、其、地、上、端、前、及、之、前、而、降、後、合、之、
 尖、部、ヲ、出、之、下、之、附用降 *tuber* *tuber*
Culam Tibiae 或、附用降 *tuberculum patella*
 ト多、膝、蓋、骨、帶、之、前、部、ト、其、部、ト、其、部、ト、其、部、ト、其、部、ト、
 其、及、後、極、狀、之、外、在、之、前、而、外、之、附用降 *patella*
內用、附用降、之、前、之、傾、之、而、之、一、尺、一、尺、一、尺、一、尺、一、尺、一、尺、一、尺、一、尺、
 二、尺、之、

(前) 右



(前) 左



外側、沿此之方之隅四之下部、少シテ前方ニ特轉之
 後面、沿此之方之隅四之上部、少シテ前方ニ特轉之
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

前隅、脛骨 *Crista tibiae* 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

外隅、脛骨 *Crista tibiae* 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

下端、脛骨 *Crista tibiae* 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

脛骨 *Tibia* (Caischenbein)

脛骨、脛骨 *Tibia* (Caischenbein) 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

脛骨、脛骨 *Tibia* (Caischenbein) 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*
 下方、下方ニ對シテ、膝脛線 *Linea patellaris*

ト骨ニニ股股筋膝ノ附著スル所ナリ

伸ニ反接在形ニシテ下方ニ至リニ後ニ自軸ヲ迴接スル部ノ内面

下部ニ於テ前方ニ傾キ上部外面ノ内面ニ傾キ内面ノ内面ニ傾キナリ

内面ニ脛骨ニ向ヒ而シテ長キ縫線ヲ呈スルニシテ同前同様 Crista

interossea ナリ

外面ニ即チ前外面ニシテ突隆滑沢ナリ

後面ニ中央ニ於テ方ニ送ラレテ脛骨蓋カニ呈ス

前隅ニ腓骨極 *Crista fibularis* ナリ且下部ニ送ラレテ脛骨蓋カニ呈シ

左陽ニ内外ニ面シテ呈スルナリ

内乃ニ外陽ニ多クニ發利ナリ

下端ニ反接在形ニシテ外陽ヲ *Malleolus lateralis* ナリ形成ス且外陽ニ内側

ヲ長クシテ屈曲シテ下方ニ強ク突出ス外陽内及ノ上部ニ三角状體ニシテ

脛骨蓋カニ接連シ下部ニ三角形同前而シテ之ニ距骨ト同前ニ

外及ニ距體ニシテ下方ニ位シ且其之端ニ下方ニ多ク突出ス(短足靴ニシテ)

ニシテ外陽極 *Spur malleolus lateralis* ナリ且反及ニ距體ニシテ

下方ニ位シ且其之端ニ下方ニ長ク突出ス且其之端ニ外陽極 *Tuberculum malle-*

oli lateralis ナリ長短腓骨筋ニ連リ通シ且其下方ニ脛骨ノ筋

内及ノ間ニ脛骨ノ筋ニ連リ通シ且其之端ニ下方ニ脛骨

ノ筋トナリ

ノ足骨 *Knochen des Fußes*

足骨ヲ分テテ跗骨(足根骨) 趾骨 趾骨是ナリ

ノ跗骨 *ossa tarsus (Fußwurzelknochen)*

跗骨ニ七箇ノ骨ヲ成シ而シテ同骨ニ手根ト同シテ二列ニ呈シ且上列ニ距

骨及趾骨ヲ成シ下列ニ脛骨及ノ骨ヲ成シ第一ニニニ楔状骨及

散子骨ヲ成ル而シテ前及ニ列ニ同シテ第一ニ中間骨ヲ成ルニ即チ舟状骨

ナリ(而シテ脛骨ノ筋ヲ比較解剖ニシテ同骨ノ筋ニ示ス)

此ノ諸骨ノ上ノ形状ニ異ナリ脛骨ノ如ク向テ處ニ就ク右ニ面シテ別ニ

趾ノ趾反 又 趾反 3 趾骨反 4 脛骨反 5 後面 6 前面

ノ形トス

(一) 上列

上列ニ距骨趾骨ノ骨ヲナリ而シテ是ニ骨ニ相並列セシテ相並置ニシテ

距骨ノ趾骨ノ上ニ加馬カシフトクナリ

A 距骨 Talus & Calcaneus (Springer)

距骨、跗骨中最上高之位、
下腿ノ跗骨ト同節ニシテ、
跗骨中、只ニ骨トシテ、
體ノ一部トス

體ノ形、
骨ノ被タル同節トシテ、
骨ノ圓節高ト同節ニシテ、
骨ノ圓節高ト同節ニシテ、
骨ノ圓節高ト同節ニシテ、

左ニ四ノ身他切、前方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、

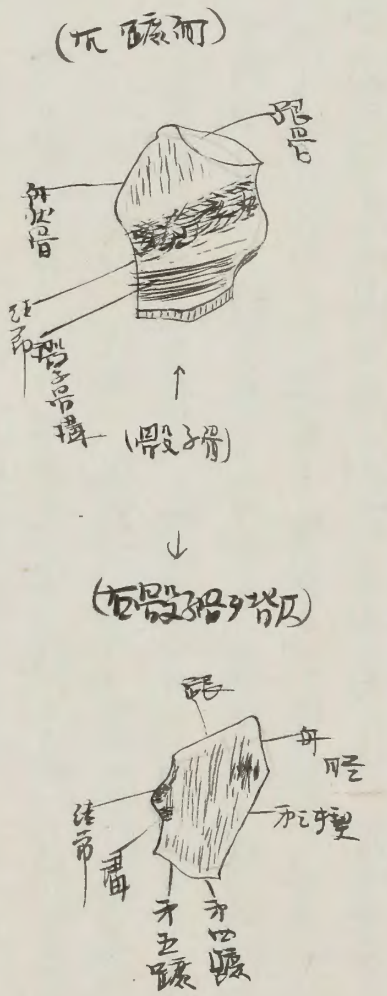
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、

四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、

四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、

四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、

四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、
四方ニ有テ、



四部ニ傾如ク前部ニ劣劣セテ各部ヲ成之且シニ才ニ鑿骨ニ身衣ニ並カク

第一楔状骨 (Os uncinatum) (P. Peilben)

此骨ニ鑿骨中最大ニシテ身衣ニ鑿骨ニ向テ楔状ニ骨及ニ向テ及ニ
 前部ニ四角形ニ向テ及ニ其頂部ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 之ニ形ノ鑿骨形ニ向テ及ニ才ニ鑿骨ニ身衣ニ並カク

方ニ粗粒不平等ニテ階段ニ而シテ前部及ニ後部ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 之其後ニ向テ及ニ前部ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 前部ニ才ニ鑿骨身衣ニ並カク一部ト前部ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 前部ニ鑿骨及ニ凹凸粗粒ニシテ其部ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 之ニ前部骨節ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 方ニ凸隆粗粒アリ

第二楔状骨 (Os uncinatum secundum) (K. Kellern)

此骨ニ最々トシテ身衣ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 右方ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 前部ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ

内外即脛腓兩方ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 此方ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ

此骨ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 此骨ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ

第三楔状骨 (Os uncinatum tertium) (P. Peilben)

此骨ニ鑿骨中最大ニシテ身衣ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ
 此骨ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ向テ及ニ

何フ
 尻及、二四之兩形、固多細多者、是也、下方、向ク之、舟状骨、方之固
 節、舟状骨、固節之

前及、^{三節}凸、固節、舟状骨、方之、固節、舟状骨、固節之

脛骨及、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之、固節、舟状骨、固節之

此二節、舟状骨、固節、舟状骨、固節之

脛骨及、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

皆、脛骨、固節、舟状骨、固節之

骨 跗骨 *os cuboideum*

骨、形、跗骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

脛骨及、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

此骨、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之

跗骨及、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之

跗骨、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之

os subcuboidale 舟状骨、固節、舟状骨、固節之

os naviculare 舟状骨、固節、舟状骨、固節之

長跗骨、固節、舟状骨、固節之

又、跗骨 *os metatarsi* (Metatarsophalanx)

舟状骨

跗骨、二通、舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

舟状骨、固節、舟状骨、固節之

膝骨と関節

前指は変形した球状形をとり、その骨の頭は、**凸**の面をとり、
骨の趾骨と関節は、**凹**の面をとり、**骨の頭**は、**凸**の面をとり、
一箇の凸凹の面をとり

第一跗骨

第一跗骨は、其の骨の頭部は、**凹**の面をとり、**狭**く下をへ廣くし、**而**して跗
反して、**一**の骨の頭部をとり、**踏**及して、**節**とす

第二跗骨

第二跗骨は、**呈**て、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

第三跗骨

第三跗骨は、**呈**て、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

第四跗骨

第四跗骨は、**呈**て、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

膝骨の頭部は、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

第五跗骨

第五跗骨は、**呈**て、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

趾骨 Phalanges digitorum pedis

足指骨、足指骨 (Zehnglieder)

趾骨は、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

第一跗骨は、**呈**て、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

種子骨 ossa sesamoidea

種子骨は、**呈**て、**球**状の骨の頭部をとり、**呈**て、**而**して、**骨**の
頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり、**骨**の頭部をとり

